

北海道立帯広美術館年報
平成23年－24年度

北海道立帯広美術館年報
平成23年－24年度



目次

目次	3
展覧会事業	
コレクション・ギャラリー一覧	4
神々の物語	5
自然へのまなざし	7
美術のみ・か・た　くらべてみれば	9
コレクションのあゆみ	10
具象と抽象	12
十勝の美術	13
田園に謳う	14
拡張する“版”	16
特別展一覧	17
無限迷宮　M.C.エッシャーの全貌	19
十勝の美術クロニクル	24
巨匠たちの饗宴	30
シャガール、パスキンとエコール・ド・パリの綺羅星たち	35
プリントアートの魅力	41
画家の素顔　パレット&絵画	45
棟方志功展	51
オブ・アート展	56
ベル・エポックのポスター	61
山に魅せられた画家たち	66
教育普及事業	
美術講演会	72
アーティスト・トーク等	73
特別展セミナー	74
ギャラリー・ツアー	74
ミュージアム・カレッジ	75
ミュージアム・ミステリー	76
キッズ・ツアー	77
キッズ・ミュージアム	78
ワークショップ等	79
映写室	80
コンサート	81
サマー・ミュージアム	82
芸術週間	83
おびひろ氷まつり協賛事業	84
団体オリエンテーション	86
セルフガイド（クイズ）	87
博物館実習	88
教員研修プログラム	90
出張アート教室	91
学校教育との連携	92
他団体との連携	93
美術作品の収集	
平成23年度作品収集状況	94
受贈	94
平成24年度作品収集状況	95
受贈	95
図版目録	96
美術作品の貸出	101
美術作品の修復	106
特別観覧	107
名簿	108
館内案内図	109
建築概要	110
設備概要	110
沿革	111
観覧者数一覧	112

コレクション・ギャラリー一覧

平成23年度

No.	展 覧 会 名	会 期	開催日数	備 考
1	顔・かお・カオ ～描かれた心のかたち～	4月 1日(金)～ 4月13日(水)	11	平成22年度より継続
2	神々の物語	4月22日(金)～ 6月22日(水)	53	
3	自然へのまなざし - バルビゾン絵画と写真	7月 1日(金)～ 9月 7日(水)	59	
4	美術のみ・か・た くらべてみれば…	9月16日(金)～ 11月 7日(月)	46	
5	開館20周年記念 コレクションのあゆみ	11月22日(火)～ 3月31日(土)	101	

平成24年度

No.	展 覧 会 名	会 期	開催日数	備 考
1	開館20周年記念 コレクションのあゆみ	4月 1日(日)～ 4月11日(水)	9	平成23年度より継続
2	具象と抽象	4月20日(金)～ 6月20日(水)	53	
3	十勝の美術	6月29日(金)～ 8月29日(水)	53	
4	田園に謳う - バルビゾン派の眼差し	9月 7日(金)～ 11月 7日(水)	54	
5	拡張する“版” プリントアートの展開	11月16日(金)～ 3月24日(日)	99	

神々の物語

会期＝平成23年4月22日(金)－6月22日(水) 53日間
主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般170(140)円、高大生100(70)円

中学生以下、65歳以上の方、高校の教育活動としての
観覧、身障者手帳をお持ちの方などは無料

高校生は、毎週土曜日、こどもの日(5/5)は無料

()内は10名以上の団体の割引料金

洋の東西を問わず、神々の物語は古くから芸術の主要な題材のひとつとなってきた。ギリシャ神話やキリスト教の聖書、日本の古事記やアイヌの神話など…。人々の生活にとって宗教が重要な役割を果たしていた時代には、敬虔な信仰の表れとしての宗教画があり、一方で人間臭いエピソードの数々で彩られた古代の神話は、人間よりも人間らしい姿の戯画として、絵画や彫刻に取り上げられてきたのだ。

現代に至って宗教が生活や精神にそれほど密着しなくなっても、神々の物語はよく知られた魅力あるエピソードの集まりとして、芸術家の創作意欲を刺激し続けている。既知の存在として神々の姿を表現・解釈し、時には戯画化やデフォルメをすることで、既存のイメージを共有したり揺さぶったりすることが出来るのである。

本展覧会では、当館コレクションの中から神々の世界を自在に表現した作品を紹介した。



会場風景

出品目録

No. 作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)
1 ジャン＝バティスト＝カミーユ・コロー	ひざまづくマгдаラのマリア	1858	クリシェ＝ヴェール、紙	16.5 × 11.4
2 レンブラント・ファン・レイン	羊飼いに現れた天使	1634	エッチング、紙	25.2 × 21.5
3 レンブラント・ファン・レイン	エマオのキリスト	1654	エッチング、紙	20.9 × 15.7
4 多賀 新	風天	1986 (昭和61)	エッチング、紙	45.5 × 36.5
5 多賀 新	合体図	1976 (昭和51)	エッチング、紙	48.0 × 36.5
6 多賀 新	夢神	1993 (平成5)	エッチング、紙	29.5 × 52.0
7 多賀 新	飛来	1977 (昭和52)	エッチング、アクアチント、紙	48.0 × 36.5
8 多賀 新	スフィンクス (土方巽氏に捧ぐ)	2000 (平成12)	フォトエッチング、紙	30.5 × 44.5
9 増田 誠	ギリシャ神話 ゼウス	1976 (昭和51)	リトグラフ、紙	34.9 × 26.6
10 増田 誠	ギリシャ神話 プロメテウス	1976 (昭和51)	リトグラフ、紙	33.3 × 24.6
11 増田 誠	ギリシャ神話 ヘラクレスとクレタの牡牛	1976 (昭和51)	リトグラフ、紙	24.5 × 33.0
12 増田 誠	ギリシャ神話 トロイの馬	1976 (昭和51)	リトグラフ、紙	33.5 × 24.9
13 増田 誠	ギリシャ神話 ゼウスとエウロペ	1976 (昭和51)	リトグラフ、紙	25.0 × 33.1
14 松樹路人	コタン・クル・カムイの詩	1988 (昭和63)	油彩、キャンバス	181.8 × 227.3
15 増田 誠	旧約聖書 紅海	1976 (昭和51)	リトグラフ、紙	24.5 × 33.5
16 増田 誠	旧約聖書 十戒	1976 (昭和51)	リトグラフ、紙	33.0 × 24.3

No. 作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)
17 増田 誠	旧約聖書 金の子牛	1976 (昭和51)	リトグラフ、紙	24.5 × 33.5
18 増田 誠	旧約聖書 ダビデ王	1976 (昭和51)	リトグラフ、紙	33.8 × 24.6
19 増田 誠	旧約聖書 ソロモン王 〈ダビデ王の子〉	1976 (昭和51)	リトグラフ、紙	33.1 × 24.0
20 矢柳 剛	最後の晩餐	1985 (昭和60)	シルクスクリーン、紙	51.1 × 72.8
21 矢柳 剛	古事記 II	1976 (昭和51)	油彩、アクリル絵具、キャンパス	162.0 × 130.7
22 中谷有逸	レダ (71-2)	1971 (昭和46)	シルクスクリーン、紙	45.0 × 62.7
23 中谷有逸	碑 (出エジプト)	1989 (平成元)	凹凸併用版、紙	32.5 × 59.8
24 中谷有逸	碑 (聖衣に)	1989 (平成元)	凹凸併用版、紙	58.3 × 40.7

*寸法は縦×横。

*作品はすべて北海道立帯広美術館蔵。

自然へのまなざしーバルビゾンの絵画と写真

会期＝平成23年7月1日(金)～9月7日(水) 59日間
主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般170(140)円、高大生100(70)円

中学生以下、65歳以上の方、高校の教育活動としての
観覧、身障者手帳をお持ちの方などは無料

高校生は、毎週土曜日は無料

()内は10名以上の団体の割引料金

バルビゾンパリの南東60キロ、フォンテーヌブローの森のはずれにある小さな村だが、豊かな自然に恵まれたこの田園の村は、19世紀の中頃、風景画家たちの関心を集めた。1830年代から印象派誕生以前に、フォンテーヌブローの森あるいはバルビゾン村の周辺で自然の風景を描いた画家たちを総称してバルビゾン派の画家と呼んでいる。

本展では、コロー、ミレー、トロワイヨン、デュプレ、ドービニーら、バルビゾンの画家の油彩・版画・水彩、同時代のフランスの田園地帯を撮影した写真作品計41点によって、19世紀フランスの自然と芸術家たちの関わり的一端を紹介した。



会場風景

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)
1	ジュール・デュプレ	ベリー地方の農家	1830代	油彩、キャンバス	45.7 × 67.3
2	ジャン＝バティスト＝カミユー・コロー	イタリアの思い出	1863	エッチング、紙	29.5 × 22.0
3	ジャン＝バティスト＝カミユー・コロー	植林された平野	1866	エッチング、紙	10.0 × 13.0
4	テオドール・ルソー	樫の木と岩	1861	エッチング、紙	12.7 × 17.2
5	テオドール・ルソー	ビオールのサクランボの木	1848頃	クリシェ＝ヴェール、紙	22.1 × 27.7
6	ジャン＝フランソワ・ミレー	裁縫する女	1855-56	エッチング、紙	10.5 × 7.4
7	ジャン＝フランソワ・ミレー	落穂ひろい	1855-56	エッチング、紙	19.2 × 25.0
8	ジャン＝フランソワ・ミレー	耕す人	1855頃	エッチング、紙	24.0 × 34.0
9	ジュール・デュプレ	イギリス風景	1836	リトグラフ、紙	12.9 × 20.7
10	ジュール・デュプレ	ノルマンディー地方の風景	1835	リトグラフ、紙	13.7 × 20.7
11	ジュール・デュプレ	水飲み場	19世紀後半	パステル、紙	80.0 × 98.8
12	フランソワ＝ルイ・フランセ	風景－丘陵の牛	1859	パステル、紙	54.7 × 82.6
13	カール・ボドメール	鳥の水場	19世紀後半	リトグラフ、紙	48.8 × 34.4
14	カール・ボドメール	鹿の呼び声	19世紀後半	油彩、キャンバス	101.0 × 81.0
15	アルフレッド・クニフ	春の水辺	1875頃	油彩、キャンバス	75.0 × 150.4
16	レオンス・シャブリ	羊の群れを連れ帰る羊飼い	1872	油彩、キャンバス	69.1 × 99.8
17	ギュスターヴ・クールベ	釣り人のいる風景	1870	油彩、キャンバス	60.0 × 73.0
18	ジャック・レイモン・ブラカサ	海辺の羊	19世紀中頃	油彩、キャンバス	49.0 × 65.0
19	コンスタン・トロワイヨン	牛のいる風景	19世紀後半	油彩、キャンバス	80.6 × 99.7

No. 作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)
20 アレクサンドル・ドゥフォー	農家の中庭	19世紀後半	油彩、キャンバス	40.0 × 68.0
21 レオンス・シャブリ	牧場と木々	1873	油彩、キャンバス	32.0 × 47.5
22 シャルル＝エミール・ジャック	森の中の羊飼いと羊の群れ	1865-70頃	油彩、キャンバス	81.2 × 65.0
23 シャルル＝フランソワ・ドービニー	羊の柵囲い	1860	エッチング、紙	18.4 × 34.3
24 シャルル＝フランソワ・ドービニー	オーヴェールのりんごの木	1877	エッチング、紙	14.0 × 23.9
25 アドルフ・アビアン	リヨン周辺	1879	エッチング、紙	14.1 × 23.3
26 アドルフ・アビアン	マントン近郊	1879	エッチング、紙	12.2 × 20.1
27 オーギュスト・アロンジェ	森の中	19世紀後半	水彩、紙	53.5 × 75.7
28 アンリ＝ジョゼフ・アルピニー	川辺	1912	水彩、紙	22.5 × 33.8
29 アンリ＝ジョゼフ・アルピニー	川辺の道	20世紀初頭	水彩、紙	23.9 × 33.7
30 アシーユ・キネ	自然の習作 家屋	1868頃	鶏卵紙プリント	24.2 × 19.7
31 アシーユ・キネ	フォンテーヌブローの森	1868頃	鶏卵紙プリント	24.9 × 19.3
32 アシーユ・キネ	自然の習作 水辺の樹木	1868頃	鶏卵紙プリント	19.5 × 23.5
33 アシーユ・キネ	自然の習作 羊	1868頃	鶏卵紙プリント	19.0 × 24.8
34 シャルル・ファマン	ダニョーの沼	1874	鶏卵紙プリント	19.3 × 25.0
35 シャルル・ファマン	荷馬車	1874頃	鶏卵紙プリント	12.0 × 17.4
36 シャルル・ファマン	羊の群れ	1874頃	鶏卵紙プリント	11.1 × 16.4
37 シャルル・ファマン	牛	1874頃	鶏卵紙プリント	11.7 × 16.7
38 シャルル・ファマン	雄牛	1874頃	鶏卵紙プリント	10.4 × 17.2
39 A・トーバン	岩場と樹木	19世紀後半	鶏卵紙プリント	11.8 × 16.8
40 A・トーバン	廃屋	19世紀後半	鶏卵紙プリント	18.0 × 23.9
41 A・トーバン	沼地	19世紀後半	鶏卵紙プリント	18.2 × 25.1

*寸法は縦×横。

*作品はすべて北海道立帯広美術館（Nos.6,14,18,19,22 は帯広市寄託）。

美術のみ・か・た くらべてみれば・・・

会期＝平成23年9月16日(金)－11月7日(月) 46日間
主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般170(140)円、高大生100(70)円

中学生以下、65歳以上の方、高校の教育活動としての
観覧、身障者手帳をお持ちの方などは無料

高校生は、毎週土曜日は無料

開館記念日(9/22)、芸術週間(11/1～11/7)
は観覧無料

()内は10名以上の団体の割引料金

美術作品を鑑賞する方法はいくつもあるが、複数の作品を比べその違いを味わうことも、そのひとつである。同じ画題を違った技法で描いた作品、同じ技法を用いながらまったく異なる表現へといたった作品。作品相互の類似点と相違点を挙げていくことは、それぞれの作品の特徴、そしてそれらが生み出された背景や作者の制作意図を読み解いていくヒントへとつながっていく。

この展覧会では、帯広美術館の所蔵作品よりさまざまなスタイルの油彩や版画を展示。各々の作品を比べながら見ていくことで、作品鑑賞のひとつの道筋を提案した。



会場風景

出品目録

No. 作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)
1 渋谷栄一	月明りのマリオネット B	1983 (昭和58)	シュガーアクアチント、紙	53.8 × 48.5
2 渋谷栄一	月明りのマリオネット C	1983 (昭和58)	シュガーアクアチント、紙	70.8 × 36.2
3 渋谷栄一	月明りのピエロ D	1983 (昭和58)	シュガーアクアチント、紙	51.7 × 49.6
4 能勢眞美	樹草	1973 (昭和48)	油彩、キャンバス	97.0 × 145.5
5 能勢眞美	草木の径	1973 (昭和48)	油彩、キャンバス	89.0 × 130.0
6 高坂和子	叢・秋の幻影	2004 (平成16)	油彩、キャンバス	130.7 × 162.1
7 小林満枝	叢原	1985 (昭和60)	紙本彩色	112.0 × 145.4
8 コンスタン・トロワイヨン	牛のいる風景	19世紀後半	油彩、キャンバス	80.6 × 99.7
9 神田日勝	人と牛 B	1968 (昭和43)	油彩、板	183.5 × 182.5
10 レオンス・シャブリ	羊の群れを連れ帰る羊飼	1872	油彩、キャンバス	69.1 × 99.8
11 レオンス・シャブリ	アレスの道 (ジロンド)	1870代	エッチング、紙	14.3 × 20.8
12 ジャン＝フェルディナン・シェニョー	草原の羊飼いの少女と羊の群れ	1863	油彩、キャンバス	65.4 × 100.4
13 ジャン＝フェルディナン・シェニョー	草原の羊飼いの少女と羊の群れ	1863	エッチング、紙	19.8 × 30.7
14 カッサンドル (アンドルフ・ジャン・ムーロン)	ノルマンディー号 — トランザトランティック総会社	1935	リトグラフ、紙	96.7 × 58.4
15 ジャック・ナタン(ジャック・ガラモン)	ル・アーヴル港復興公債募集	1945以降	オフセット (写真製版)、紙	78.0 × 58.5

*寸法は縦×横。

*作品はすべて北海道立帯広美術館蔵 (Nos.5,8,9 は帯広市寄託)。

開館20周年記念 コレクションのあゆみ

会期＝平成23年11月22日(火)－平成24年4月11日(水) 110日間

主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般170(140)円、高大生100(70)円

中学生以下、65歳以上の方、高校の教育活動としての
観覧、身障者手帳をお持ちの方などは無料

高校生は、毎週土曜日は無料

()内は10名以上の団体の割引料金

当館は平成23年に開館20周年をむかえた。美術館の特徴を語るうえで欠かすことができないコレクションは、平成23年10月末現在で690点。このうち、およそ4割が購入や委託制作により、また6割が寄付によって当館コレクションに加えられた。

コレクションの柱は、次の3つ。①「道東の美術」：十勝・釧路・根室・オホーツクの4圏域にゆかりの作家の作品。この地域からは、数多くの版画家を輩出していることが特色のひとつ。②「プリントアート」：版画やグラフィック・デザイン、写真、ポスター、その他複製技術を用いた表現による作品。近現代を主とし、国内外の版画作品を中心に収集している。③「西洋の美術」：フランス19世紀のバルビゾン派の作品を核に、田園風景や農村風俗を主題とした作品。農業を基幹産業とする十勝地域の特性に基づいたテーマである。

本展覧会では、こうしたコレクションの特色を存分に伝える作品を厳選し、併せて昨年度・平成22年度に新収蔵された作品も紹介した。



会場風景

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)	
■ 西洋の美術						
1	ジャック＝レイモン・ブラカサ	海辺の羊	19世紀中頃	油彩、キャンバス	49.0 × 65.0	帯広市寄託
2	ギュスターヴ・クールベ	釣り人のいる風景	1870	油彩、キャンバス	60.0 × 73.0	帯広美術館振興会寄贈
3	アルフレッド・ド・クニフ	春の水辺	1875頃	油彩、キャンバス	75.0 × 150.4	
4	ジュール・デュプレ	ベリー地方の農家	1830年代	油彩、キャンバス	45.7 × 67.3	帯広美術館ボランティア「しらかばの会」寄贈
5	ジャン＝フランソワ・ミレー	落穂ひろい	1855-56	エッチング、紙	19.2 × 25.0	帯広美術館建設協力会寄贈
6	シャルル＝エミール・ジャック	雄鶏と雌鶏	19世紀後半	エッチング、紙	12.1 × 17.0	帯広美術館建設協力会寄贈
7	アシーユ・キネ	自然の習作 水辺の樹木	1868頃	鶏卵紙プリント	19.5 × 23.5	
8	シャルル・ファマン	ダニョーの沼	1874	鶏卵紙プリント	19.3 × 25.0	
■ プリントアート						
9	カッサンドル	北極星号ーフランス北部鉄道	1927	リトグラフ、紙	105.7 × 75.4	
10	デイヴィッド・ホックニー	グランド・キャニオンの北側を見る 1982年9月	1982	フォトコラージュ (写真、印画紙)	114.0 × 252.7	
11	アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック	エグランティーヌ嬢一座	1896	リトグラフ、紙	59.0 × 79.0	帯広美術館建設協力会寄贈

No. 作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)	
12 小林敬生	陽はまた昇る 一緑の星・08D—	2008 (平成20)	木口木版、紙	100.0 × 257.5	帯広美術館ボランティア「しらかばの会」寄贈
13 小林敬生	蘇生の刻 一緑の星—	1990 (平成2)	木口木版、紙	85.6 × 80.0	帯広美術館ボランティア「しらかばの会」寄贈
14 野田哲也	日記 1987年9月22日 柏市亀甲台	1987 (昭和62)	木版、シルクスクリーン、紙	57.0 × 110.0	帯広美術館ボランティア「しらかばの会」寄贈
15 島 州一	ゲバラ	1974 (昭和49)	シルクスクリーン、布	104.2 × 121.3	帯広美術館ボランティア「しらかばの会」寄贈
16 栗谷川健一	麦わら帽子	1968 (昭和43)	オフセット、紙	103.1 × 73.1	栗谷川健一氏寄贈

■ 道東の美術

17 能勢眞美	疎林初秋	1967 (昭和42)	油彩、キャンバス	97.0 × 162.0	帯広美術館建設協力会寄贈
18 神田日勝	画室 D	1967 (昭和42)	油彩、板	163.3 × 183.0	帯広美術館建設協力会寄贈
19 佐藤克教	愚者の船 (一)	1995 (平成7)	木版、紙	166.0 × 128.0	帯広美術館ボランティア「しらかばの会」寄贈
20 池田良二	Time of frozen ground (凍土の時)	1990 (平成2)	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ドライポイント、メゾチント、紙	114.0 × 180.0	
21 高坂和子	叢・秋の幻影	2004 (平成16)	油彩、キャンバス	130.7 × 162.1	高坂一氏寄贈
22 手島圭三郎	しまふくろうの夢・古木	1982 (昭和57)	木版、紙	53.0 × 75.0	手島圭三郎氏寄贈

* 寸法は縦×横。

* 作品はすべて北海道立帯広美術館蔵。

具象と抽象

会期＝平成24年4月20日(金)－6月20日(水) 53日間
主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般170(140)円、高大生100(70)円

中学生以下、65歳以上の方、高校の教育活動としての
観覧、身障者手帳をお持ちの方などは無料

高校生は、毎週土曜日、こどもの日(5/5)は無料
()内は10名以上の団体の割引料金

現実の形態から出発し、それを反映または再現する具象表現と、そこから離れて感情や感覚など形のないものや、あるいは色彩や形そのものを追求する抽象表現。具象表現は美術の古代からの役割、つまり記録や祈り・願望の表現といったものから始まり、一方抽象表現は装飾などにその傾向は古くから存在していたものの、自覚的に追求され始めたのは20世紀に入ってから表現形式と言える。

対象を写實的に再現し、あるいは自身の思考や感情、心象を投影した「具象」と、現実には捕らわれないがゆえに、かえって物の本質を呈示する「抽象」とは、今日、表現を大別するひとつの指標として広く認識され、その中間的な表現も無数に存在する。また、「具象」「抽象」とひとくくりには出来ないほど、そのヴァリエーションは豊かだ。本展覧会では、所蔵作品を具象／抽象という視点から取り上げ、その類似と差異を紹介した。



会場風景

出品目録

No. 作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)
1 福井正治	没陽一野一	1986 (昭和61)	油彩、キャンバス	162.5 × 162.2
2 森 健二	光年のメロディー No.3	1968 (昭和43)	油彩、キャンバス	130.5 × 162.5
3 小林敬生	蘇生の刻 一緑の星一	1990 (平成2)	木口木版、紙	85.6 × 80.0
4 佐藤克教	囲われた1日	1999 (平成11)	木版、紙	75.0 × 100.0
5 多賀 新	バイオリニスト I	1992 (平成4)	エッチング、紙	33.0 × 36.5
6 中谷有逸	碑 (柔かい重なり)	1988 (昭和63)	凹凸併用版、紙	42.5 × 64.2
7 伽井丹彌	人形譚	1996 (平成8)	桐塑、アクリル絵具	高さ 110.5
8 中江紀洋	HAHA (祈り)	1994 (平成6)	木 (スプルース)、金属	107.2 × 91.5 × 156.0
9 寺島春雄	堅穴	1942 (昭和17)	油彩、キャンバス	130.3 × 97.1
10 寺島春雄	赤の原野	1959 (昭和34)	油彩、キャンバス	131.3 × 194.3
11 寺島春雄	深淵の声	1961 (昭和36)	油彩、キャンバス	130.7 × 162.5
12 渋谷栄一	吟遊詩人 A	1975 (昭和50)	エッチング、シュガーアクアチント、紙	36.5 × 20.3
13 渋谷栄一	宙 No.2	1990 (平成2)	カラーコピー、紙	48.0 × 74.3

*寸法は平面作品が縦×横、立体作品が高さ、または幅×奥行×高さ。

*作品はすべて北海道立帯広美術館蔵 (No.1 は帯広市寄託)。

十勝の美術

会期＝平成24年6月29日(金)－8月29日(水) 53日間
主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般170(140)円、高大生100(70)円

中学生以下、65歳以上の方、高校の教育活動としての
観覧、身障者手帳をお持ちの方などは無料

高校生は、毎週土曜日は無料

() 内は10名以上の団体の割引料金

北海道は、明治になって蝦夷地から北海道と改称され、政府による開拓・近代化が始まった。十勝ではまず沿岸部から開墾が進み、その後、札幌と釧路をつなぐ鉄道の開通などもあり、帯広が十勝の拠点都市となっていく。帯広市が誕生したのは、1933(昭和8)年、北海道で7番目の市だった。

帯広では、1927(昭和2)年、最初の公募団体となった平原社が第1回展を開催した。それ以降、多くの作家が、この十勝から生まれ、多彩な創作活動を展開している。

当館が開館20周年を迎えた2011(平成23)年、十勝の作家の作品12点と資料1点が新しく収蔵された。本展では、これら新収蔵作品を中心に、十勝で活躍した作家の作品を紹介した。



会場風景

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)	
1	能勢真美	初秋池畔	1942(昭和17)	油彩、キャンバス	96.5 × 106.0	
2	菅野 要	温室の見える風景	1941(昭和16)	油彩、キャンバス	38.2 × 45.6	新収蔵
3	伊藤隆二	池のほとり	1931(昭和6)	油彩、キャンバス	72.8 × 91.0	
4	小林守材	風景	1948(昭和23)	油彩、板	58.0 × 79.0	新収蔵
5	能勢真美	涼夏	1972(昭和47)	油彩、キャンバス	96.8 × 145.5	
6	長尾栄三	緑樹池畔	1985(昭和60)	油彩、キャンバス	162.2 × 130.6	新収蔵
7	中西堯昭	凍林	1988(昭和63)	油彩、キャンバス	130.3 × 162.1	新収蔵
8	寺島春雄	柵と人	1957(昭和32)	油彩、キャンバス	162.2 × 130.7	
9	武田伸一	凍土	1966(昭和41)	油彩、キャンバス	182.0 × 229.0	
10	富谷道信	アデラの記憶	1980(昭和55)	木(イチイ)	115.0 × 30.3 × 50.0	
11	おとおひでお	喰魂鬼(イ)	1977(昭和52)	油彩、胡粉、板	131.6 × 162.1	新収蔵
12	熊代弘法	シャボン玉	1964(昭和39)	油彩、キャンバス	112.3 × 144.9	新収蔵
13	神田日勝	画室D	1967(昭和42)	油彩、キャンバス	163.3 × 183.0	
14	中谷有逸	鳥の碑(白)	1963(昭和38)	木版、紙	79.2 × 54.7	
15	中谷有逸	碑(祖)	1965(昭和40)	凹凸併用版、紙	67.2 × 46.0	
16	佐野まさの	作品	不詳	ミクストメディア、板	91.0 × 61.0 × 5.3	新収蔵
17	佐野まさの	意識の装置	1995(平成7)	ミクストメディア	径35.9 × h14.5	新収蔵
18	高橋英双	proto plast(原形体)	1988(昭和63)	木	45.3 × 92.0 × 15.3	新収蔵
【資料】						
	寺島春雄	スケッチブック	昭和30年代	鉛筆、コンテ、紙		新収蔵

*寸法は縦×横。

*作品はすべて北海道立帯広美術館(Nos.1,3,9は帯広市寄託、No.5は個人寄託)。

田園に謳うーバルビゾン派の眼差し

会期＝平成24年9月7日(金)ー11月7日(水) 54日間
主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般170(140)円、高大生100(70)円
中学生以下、65歳以上の方、高校の教育活動としての
観覧、身障者手帳をお持ちの方などは無料
高校生は、毎週土曜日は無料
開館記念日(9／22)、芸術週間(11／1～11／7)は
観覧無料
()内は10名以上の団体の割引料金

パリの南東約60キロ、広大なフォンテーヌブローの森のはず
れに位置するバルビゾン村には、19世紀後半、数多くの画家や
写真家が集い、自然の景観や田園の風俗を描き写した。風景画
の隆盛、写真技術の発達、銅版画技法の再発見といった時代背
景のもと、これらの美術家たちは眼前に広がるありのままの自
然と真摯に向き合い、作品に残していった。
本展では、バルビゾンに集った画家や写真家の作品を、取り
分けその視点の取り方に着目しながら紹介した。近接した視点
から対象の細部まで精緻に捉えた作品、離れた視点から広がり
ある景色の全体像を捉えた作品、近景と遠景、明部と暗部のコ
ントラストに着目し画面を構成した作品…。油彩画、版画、写
真の各分野を比較しながら、バルビゾンを拠点に活躍した作家
たちの眼差しのあり方を探った。



会場風景

出品目録

No. 作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)
■クローズアップー対象を凝視する				
1 アシーユ・キネ	自然の習作 雄牛	1868頃	鶏卵紙プリント	18.3 × 24.8
2 シャルル・ファマン	雌牛	1874頃	鶏卵紙プリント	10.4 × 17.2
3 コンスタン・トロワイヨン	牛のいる風景	19世紀後半	油彩、キャンバス	80.6 × 99.7
4 シャルル＝エミール・ジャック	オランダ牛	19世紀後半	エッチング、紙	11.0 × 17.9
5 シャルル＝エミール・ジャック	雄鶏と雌鶏	19世紀後半	エッチング、紙	12.1 × 17.0
6 アレクサンドル・ドゥフォー	農家の中庭	19世紀後半	油彩、キャンバス	40.0 × 68.0
7 ジエグレース	農家	1870代	鶏卵紙プリント	21.3 × 26.7
8 アシーユ・キネ	自然の習作 農夫	1868頃	鶏卵紙プリント	19.2 × 24.3
9 ジャン＝フランソワ・ミレー	落穂ひろい	1855-56	エッチング、紙	19.2 × 25.0
10 ジャン＝フランソワ・ミレー	耕す人	1855頃	エッチング、紙	24.0 × 34.0
11 シャルル・ファマン	羊の群れ	1874頃	鶏卵紙プリント	11.4 × 16.4
12 アシーユ・キネ	自然の習作 羊	1868頃	鶏卵紙プリント	19.0 × 24.8
■ロングショットー風景を遠望する				
13 ジャン＝フェルディナン・シェニョー	草原の羊飼いの少女と羊の群れ	1863	油彩、キャンバス	65.4 × 100.4
14 ジャン＝フェルディナン・シェニョー	草原の羊飼いの少女と羊の群れ	1863	エッチング、紙	19.8 × 30.7

No. 作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)
15 シャルル=フランソワ・ドービニー	羊の柵囲い	1860	エッチング、紙	18.4 × 34.3
16 A. トーバン	沼地	19世紀後半	鶏卵紙プリント	18.2 × 25.1
17 アルフレッド・ド・クニフ	春の水辺	1875頃	油彩、キャンバス	75.0 × 150.4
18 シャルル・ファマン	ダニョーの沼	1874	鶏卵紙プリント	19.3 × 25.0
19 シャルル=フランソワ・ドービニー	オーヴェールのりんごの木	1877	エッチング、紙	14.0 × 23.9
20 テオドール・ルソー	ビオーの平原	1862	クリシェ=ヴェール、紙	21.8 × 27.7
21 ウジェーヌ=アントワーヌ・ラヴィエイユ	村の眺め	19世紀後半	油彩、板	32.8 × 56.0
22 A. トーバン	岩場と樹木	19世紀後半	鶏卵紙プリント	11.8 × 16.8
23 ウィリアム=H. ハリソン	フォンテーヌブローの森	1870頃	鶏卵紙プリント	17.4 × 19.5
■コントラスト・遠近・明暗を強調する				
24 シャルル=エミール・ジャック	森の中の羊飼いと羊の群れ	1865-70頃	油彩、キャンバス	81.2 × 65.0
25 アシーユ・キネ	自然の習作 水辺の樹木	1868頃	鶏卵紙プリント	19.5 × 25.0
26 シャルル・ファマン	沼地	1874頃	鶏卵紙プリント	20.3 × 25.9
27 ジュール・デュプレ	水飲み場	19世紀後半	パステル、紙	80.0 × 98.8
28 テオドール・ルソー	檻の木と岩	1861	エッチング、紙	12.7 × 17.2
29 アドルフ・アピアン	マントン近郊	1879	エッチング、紙	12.2 × 20.1
30 レオンス・シャブリ	牧場と木々	1873	油彩、キャンバス	32.0 × 47.5
31 シャルル・ファマン	樹木	1874頃	鶏卵紙プリント	25.9 × 19.5
32 アシーユ・キネ	フォンテーヌブローの森	1868頃	鶏卵紙プリント	24.9 × 19.3

*寸法は縦×横。

*作品はすべて北海道立帯広美術館蔵（Nos.3,24 は帯広市寄託）。

拡張する“版” プリントアートの展開

会期＝平成24年11月16日(金)－平成25年3月24日(日) 99日間
主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般170(140)円、高大生100(70)円

中学生以下、65歳以上の方、高校の教育活動としての
観覧、身障者手帳をお持ちの方などは無料

高校生は、毎週土曜日は無料

()内は10名以上の団体の割引料金

プリントアートは、「版」および「型」を媒介とするさまざまな複製、印刷技術を用いた美術作品を指す。この分野では、20世紀後半以降今日まで、伝統的な版画の枠組みにとどまらない多彩な表現が試みられてきた。珍しい素材を版として用いた作品や新たな複製技術を活用した作品、複数性、複製性という版技法の特質を備えながらも独自の表現を展開した作品など、「版」という概念を拡張する多くの作品が生み出されているのである。

本展覧会では、そうした現代のプリントアートの展開を、当館コレクション17点により紹介した。



会場風景

出品目録

No. 作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)
1 一原有徳	スパナー	1980 (昭和55)	熱版、紙	38.2 × 32.2
2 一原有徳	SU90	1990 (平成2)	熱版、蛍光塗料、ステンレス	80.0 × 60.0
3 一原有徳	タガネ9	不詳	タガネ、インク、鉛	77.6 × 47.8
4 岡部昌生	オビヒロ・マトリックス 1991 の 10 ピース	1991 (平成3)	フロッタージュ、鉛筆、紙	各 50.9 × 39.4 (10点組)
5 島 州一	FINGER PRINT	1981 (昭和56)	粘土、フロッタージュ、和紙	73.0 × 63.5
6 島 州一	FINGER PRINT	1981 (昭和56)	粘土、段ボール、フロッタージュ、和紙	99.0 × 69.0
7 島 州一	新聞紙に新聞紙	1974 (昭和49)	シルクスクリーン、新聞紙	82.0 × 55.0
8 島 州一	指紋と木目	1976 (昭和51)	シルクスクリーン、角材	11.0 × 11.0 × 26.0 ほか (24点組)
9 奥野稔和	98V-0515X	1998 (平成10)	インクジェットプリント、ポリフィルム	80.2 × 222.0
10 太田三郎	Stamp map of Hokkaido "December 29, 1993"	1993 (平成5)	切手、消印	290.0 × 360.0
11 マイク・スターン ダグ・スターン	若い娘たち	1990-93	印画紙、透明フィルム、木	57.5 × 46.0 × 5.5 ほか (9点組)
12 渋谷栄一	H8-A	1996 (平成8)	凹版凸刷、透明水彩、紙	81.0 × 81.0
13 渋谷栄一	H8-C	1996 (平成8)	凹版凸刷、透明水彩、紙	40.7 × 40.4
14 渋谷栄一	H8-D	1996 (平成8)	凹版凸刷、透明水彩、紙	40.7 × 40.5
15 渋谷栄一	H8-F	1996 (平成8)	凹版凸刷、透明水彩、紙	40.7 × 41.0
16 長はるこ	B-cushion	1998 (平成10)	スキャナグラフ (NECO)、ネパールロクタ紙	153.1 × 211.2
17 百瀬 寿	Square-Vertical Blue to Magenta	1981 (昭和56)	スキャナグラフ (NECO)、キャンバス	180.0 × 180.2

* 寸法は縦×横 (×厚み)、または幅×奥行×高さ。

* 作品はすべて北海道立帯広美術館蔵。

特別展一覧

平成23年度

No.	展 覧 会 名	会 期	開催日数	主 催 ・ 後 援 ほ か	備 考
1	北海道立函館美術館・帯広美術館コレクション 風景画展 風景に、浸る。自然と、遊ぶ。	4月1日(金)～ 4月13日(水)	11	主催／北海道立帯広美術館 協力／北海道立函館美術館	平成22年度より継続
2	ハウステンボス美術館・博物館所蔵 エターナル・ラビリンス 無限迷宮 M.C. エッシャーの全貌	4月22日(金)～ 6月22日(水)	53	主催／北海道立帯広美術館、十勝毎日新聞社、 エッシャー展実行委員会、NPO 十勝文化会議 後援／帯広市、帯広市教育委員会、十勝町村会、 十勝管内各町村教育委員会、北海道高等学校校長協会十勝支部、帯広市校長会、十勝小・中校長会、帯広商工会議所、帯広市町内会連合会、十勝文化団体協議会、 帯広市民劇場運営委員会、NHK 帯広放送局、HBC 帯広放送局、STV 帯広放送局、HTB 帯広支社、帯広市シティーケーブル、FM-JAGA 特別協力／ハウステンボス美術館・博物館 協賛／医療法人社団博愛会、音更町十勝川温泉観光協会、帯広信用金庫、キクミ、第一生命、大成建設、畜大練成会、東洋印刷、中井会計事務所、日本興亜損害保険、日本生命、ホクレン農業協同組合連合会、北海道拓殖バス、三井住友海上火災保険	
3	開館20周年記念 十勝の美術クロニクル	7月1日(金)～ 9月7日(水)	59	主催／北海道立帯広美術館 助成／芸術文化振興基金	
4	ウッドワン美術館名品選 巨匠たちの饗宴 ー日本近代絵画ー	9月16日(金)～ 11月7日(月)	46	主催／北海道立帯広美術館、北海道新聞社、帯広市・帯広市教育委員会、ウッドワン美術館、巨匠たちの饗宴帯広展実行委員会	
5	開館20周年記念 北海道立近代美術館コレクションの華 シャガール、パスキンとエコール・ド・パリの綺羅星たち	11月22日(火)～ 2月1日(水)	57	主催／北海道立帯広美術館、北海道立近代美術館、帯広美術館振興会、帯広美術館ボランティア「しらかばの会」	
6	プリントアートの魅力	2月10日(金)～ 3月31日(土)	44	主催／北海道立帯広美術館	

平成24年度

No.	展 覧 会 名	会 期	開催日数	主 催 ・ 後 援 ほ か	備 考
1	プリントアートの魅力	4月1日(日)～ 4月11日(水)	9	主催／北海道立帯広美術館	平成23年度より継続
2	画家の素顔 パレット&絵画	4月20日(金)～ 6月20日(水)	53	主催／北海道立帯広美術館 企画協力／公益財団法人日動美術財団 助成／芸術文化振興基金	
3	棟方志功展 版に込めた思い	6月29日(金)～ 8月29日(水)	53	主催／北海道立帯広美術館、北海道新聞帯広支社 企画協力／財団法人棟方志功記念館	
4	オプ・アート展 眼の中で、うごく絵。	9月7日(金)～ 11月7日(水)	54	主催／北海道立帯広美術館 協力／北海道立近代美術館	
5	帯広美術館コレクション ベル・エポックのポスター	11月16日(金)～ 1月16日(水)	48	主催／北海道立帯広美術館	
6	山に魅せられた画家たち	1月25日(金)～ 3月24日(日)	51	主催／北海道立帯広美術館、帯広市・帯広市教育委員会、十勝毎日新聞社、NPO 十勝文化会議、山に魅せられた画家たち展実行委員会 後援／十勝町村会、十勝管内各町村教育委員会、帯広市校長会、十勝小・中校長会、帯広商工会議所、帯広市町内会連合会、十勝文化団体協議会、帯広市民劇場運営委員会、帯広勤労者山岳会、NHK 帯広放送局、HBC 帯広放送局、STV 帯広放送局、HTB 帯広支社、帯広市シティーケーブル、FM-JAGA、北海道教育庁十勝教育局 協賛／帯広信用金庫、キクミ、サカタインクス、札幌新聞輸送、第一生命、大成建設、竹川会計事務所、DIC グラフィックス、東京機械製作所、東洋印刷、中井会計事務所、中西印刷、日本興亜損害保険、日本新聞インキ、日本生命、富士フィルウグローバルグラフィックシステムズ、ホクレン農業協同組合連合会、北海道拓殖バス、三井住友海上火災保険	

ハウステンボス美術館・博物館所蔵

エターナル・ラビリンス

無限迷宮 M.C. エッシャーの全貌

会期＝平成23年4月22日(金)－6月22日(水) 53日間

主催＝北海道立帯広美術館、十勝毎日新聞社、
エッシャー展実行委員会、NPO十勝文化会議

後援＝帯広市、帯広市教育委員会、十勝町村会、十勝管内各町
村教育委員会、北海道高等学校長協会十勝支部、帯広市
校長会、十勝小・中校長会、帯広商工会議所、帯広市町
内会連合会、十勝文化団体協議会、帯広市民劇場運営委
員会、NHK帯広放送局、HBC帯広放送局、STV帯広放
送局、HTB帯広支社、帯広市シティーケーブル、FM-
JAGA

特別協力＝ハウステンボス美術館・博物館

協賛＝医療法人社団博愛会、音更町十勝川温泉観光協会、帯広
信用金庫、キクミ、第一生命、大成建設、畜大練成会、
東洋印刷、中井会計事務所、日本興亜損害保険、日本生
命、ホクレン農業協同組合連合会、北海道拓殖バス、三
井住友海上火災保険

観覧料＝一般900(700)円、高大生550(450)円、小中生250(200)円
小中高校の教育活動としての観覧、身障者手帳をお持ち
の方などは無料

() 内は前売り、リピーターおよび10名以上の団体の
割引料金

関連事業

美術講演会

「エッシャー—その作品と生涯」

講師＝安田恭子氏(ハウステンボス美術館・博物館館長代理(兼)
主任学芸員)

日時＝4月23日(土) 午後2時～3時30分

会場＝当館講堂(聴講無料)

特別展セミナー

「無限の探求—エッシャーの表現世界」

講師＝鎌田 享(当館学芸課長)

日時＝5月7日(土)、6月4日(土) 午後2時～3時

会場＝当館講堂(聴講無料)

キッズ・ミュージアム

「とびだすアート」

日時＝5月14日(土) 午後2時～4時

会場＝当館講堂(託児無料)

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館ボランティア「しらか
ばの会」

NPO十勝文化会議ワークショップ

講師＝中西堯昭氏、中谷有逸氏、瀧川秀敏氏(NPO十勝文化
会議美術部会員)

日時＝5月22日(日) 午後1時30分～3時30分

会場＝当館講堂(参加無料、応募制)



ポスター

関連記事

北雅貴「視覚揺さぶる 独特の世界」十勝毎日新聞／1月1日(土)

舟越麻里子「不思議な見え方を追求」十勝毎日新聞／4月13日(水)
深津啓太「無限迷宮への招待 M.C.エッシャーの魅力 上・中・下」十勝毎日新聞／4月18日(月)～20日(水)

北雅貴「謎に満ちたエッシャーの迷宮」十勝毎日新聞／4月21日(木)

鎌田享「無限迷宮 M.C.エッシャーの全貌 作品紹介 1～5」十勝毎日新聞／4月30日(土)～5月2日(月)、4日(水)、6日(金)

田口丞二、小野寺一彦、松浦美穂子、村上陽一「無限迷宮 M.C.エッシャーの全貌 十勝のファン魅力を語る 1～4」十勝毎日新聞／5月23日(月)～26日(木)

「M.C.エッシャー展 こども 座談会」Chai／2011年5月号
「バスに乗って エッシャー展を見に行こう！」Chai／2011年6月号

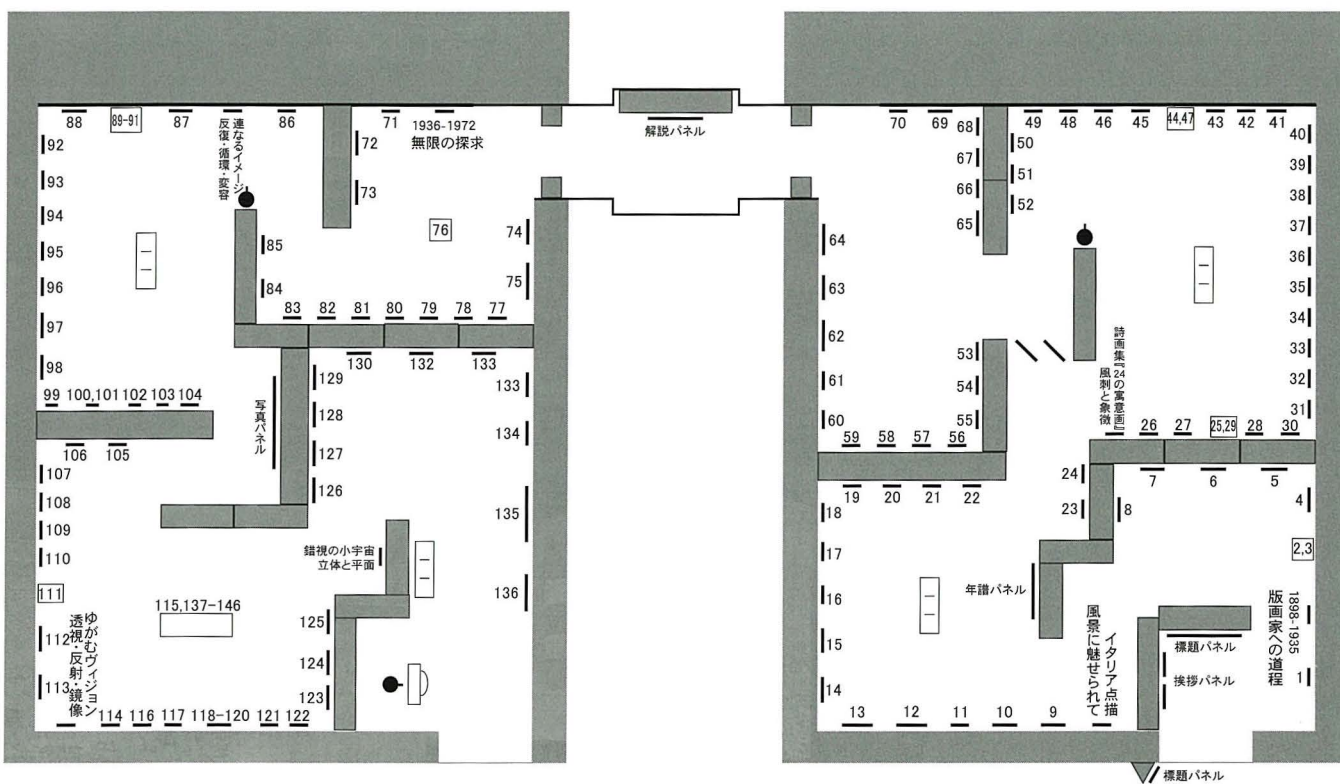
マウリッツ・コルネリス・エッシャー（1898～1972）は、オランダ北部に生まれ、美術学校で建築ついで版画を学んだ。卒業後はイタリアに滞在し、その風景や建物をとらえた数多くの版画作品を制作した。1935年にスペインを訪れたエッシャーは、この地のイスラム建築を飾るモザイク模様、複雑に絡まりあい連なっていく幾何学的な文様に感銘を受ける。そして、人間や動物などの形を連続させ変容させながら画面全体を隙間なく埋め尽くす表現に没頭していった。

理論上どこまでも広げることの出来るエッシャーの図様は、「無限」や「永遠」といった概念を独自のアプローチから表そうとしたものといえる。同時に、図と地が複雑に入れ替わったり、巧みな錯視を導入したりした彼の作品は、三次元の現実世界を二次元の絵画世界に写し取るためにさまざまな工夫を凝らしてきた西洋絵画の基本概念を、揺り動かすものでもあった。そしてこれらの特異な作品は、多くの美術ファンの関心と驚嘆を呼び起こすとともに、科学や数学、心理学などさまざまな分野からも注目を集めてきた。

長崎県佐世保市のハウステンボス美術館・博物館は、世界でも有数の質と量を誇るエッシャー・コレクションを収蔵している。この展覧会では同館の所蔵作品から146点を紹介し、エッシャーの生涯と表現の変遷を検証した。「無限迷宮」という展覧会タイトルになぞらえ、展示室内はあえて屈曲が多く見通しの効きにくい部屋組みにすることで、エッシャーの表現世界を探検するという印象を演出した。また、展示室外のロビーには錯視効果を含んだ「エイムズの部屋」を設置し、鑑賞者が展覧会を楽しむ一助とした。

謎と不思議に満ちたエッシャーの表現世界は多くの人々の関心を集め、会期中には19,948名と多数の来館者を数えた。

なお、本展覧会は、ハウステンボス美術館・博物館と当館との交流展として実現したものである。ハウステンボス美術館・博物館では、平成23年4月23日(土)から6月19日(日)まで「アートになった*花*展～ミュシャからリキテンスタインまで～」が開催され、版画・ポスター・写真など当館の所蔵作品63点が紹介された。



展示図面



会場風景



会場風景

出品目録

No.	作品名	制作年	技法ほか	寸法 (cm)
I	M.C.エッシャー 1898-1935 版画家への道程			
1	椅子に座っている自画像	1920	板目木版	19.5 × 16.8
2	赤ん坊	1917	リノカット (2色刷)	9.3 × 11.0
3	蔵書票 M.C. エッシャー	1917	リノカット	10.6 × 7.1
4	香水	1921	板目木版	12.0 × 9.0
5	兎	1920	板目木版	17.6 × 36.8
6	聖堂のパイプオルガン	1920	ドローイング	63.5 × 47.5
7	小鳥に説法する聖フランシス	1922	板目木版	50.9 × 30.7
8	八つの頭	1922	板目木版	32.5 × 34.0
■イタリア点描 — 風景に魅せられて				
9	イルカ	1923	板目木版	29.1 × 49.2
10	天地創造の二日目	1925	板目木版	27.9 × 37.4
11	妻、イエッタ・エッシャー (ウミカー) の肖像	1929	ドローイング	26.7 × 21.7
12	ソベリア (コルシカ)	1928	ドローイング	50.5 × 65.5
13	ヴォルトウルノの聖ヴァインセント修道院	1929	ドローイング	48.3 × 66.0
14	ゲネッツァノ	1929	ドローイング	60.8 × 45.7
15	スカンノの通り (アブルッツィ)	1930	リトグラフ	62.7 × 43.1
16	モラノ (カラブリア)	1930	板目木版	24.0 × 32.1
17	ペンテダッティロ (カラブリア)	1930	リトグラフ	19.7 × 25.5
18	フィオマーラ (カラブリア)	1930	リトグラフ	22.7 × 29.9
19	スティロのカトリック教会 (カラブリア)	1930	リトグラフ	22.6 × 29.7
20	シッラ (カラブリア)	1931	リトグラフ	29.7 × 22.6
21	トロベア (カラブリア)	1931	リトグラフ	31.3 × 23.5
22	サンタ・セヴェリナ (カラブリア)	1931	リトグラフ	23.2 × 31.0
23	アトラニの地下路地 (アマルフィ海岸)	1931	木口木版	18.0 × 12.9
24	アトラニの荒れ果てた家々 (アマルフィ海岸)	1931	リトグラフ	30.8 × 22.6
■詩画集『24の寓意画』—風刺と象徴				
25	『24の寓意画』	1932	書籍	23.1 × 20.3
26	『24の寓意画』のタイトルページ	1931	板目木版	17.7 × 13.8
27	『24の寓意画』の目次	1931	板目木版	18.0 × 14.0
28	花瓶 【『24の寓意画』 1】	1931	板目木版	18.0 × 14.0
29	花瓶 【『24の寓意画』 1 版木】	1931	版木	18.0 × 14.0
30	花 【『24の寓意画』 1 関連作品】	1931	板目木版	18.0 × 13.5
31	鉄床 【『24の寓意画』 2】	1931	板目木版	18.0 × 14.0
32	風 【『24の寓意画』 4 関連作品】	1931	板目木版	18.0 × 9.6
33	ブイ 【『24の寓意画』 5】	1931	板目木版	18.0 × 14.0
34	やしの木 【『24の寓意画』 6】	1931	板目木版	18.0 × 14.0
35	日時計 【『24の寓意画』 8】	1931	板目木版	18.0 × 14.0
36	日時計 【『24の寓意画』 8 関連作品】	1931	板目木版	18.0 × 14.0
37	蒸気ローラー 【『24の寓意画』 9】	1931	板目木版	18.0 × 14.0
38	火打ち石 【『24の寓意画』 10】	1931	板目木版	18.0 × 14.0
39	ろうそくの火 【『24の寓意画』 11】	1931	板目木版	18.0 × 14.0
40	標識 【『24の寓意画』 12】	1931	板目木版	18.0 × 14.0
41	蜜蜂の巣箱 【『24の寓意画』 13】	1931	板目木版	18.0 × 14.0
42	リス 【『24の寓意画』 15】	1931	板目木版	18.0 × 14.0

No. 作品名	制作年	技法ほか	寸法 (cm)
43 キノコ 【『24の寓意画』 16】	1931	板目木版	18.0 × 14.0
44 キノコ 【『24の寓意画』 16 版木】	1931	版木	18.0 × 14.0
45 天秤 【『24の寓意画』 17】	1931	板目木版	18.0 × 14.0
46 サイコロ 【『24の寓意画』 18】	1931	板目木版	18.0 × 14.0
47 チョウ 【『24の寓意画』 19 版木】	1931	版木	17.7 × 14.0
48 サボテン 【『24の寓意画』 20】	1931	板目木版	18.0 × 14.0
49 井戸 【『24の寓意画』 21】	1931	板目木版	18.0 × 14.0
50 隠れ家 【『24の寓意画』 22】	1931	板目木版	18.0 × 14.0
51 じょうろ 【『24の寓意画』 23】	1931	板目木版	18.0 × 14.0
52 南京錠 【『24の寓意画』 24】	1931	板目木版	18.0 × 14.0

53 『スコラスティカ』の挿絵 (5ページ)	1931	板目木版	22.9 × 16.8
54 『スコラスティカ』の挿絵 (11ページ)	1931	板目木版	22.9 × 16.8
55 『スコラスティカ』の挿絵 (15ページ)	1931	板目木版	22.9 × 16.8
56 『スコラスティカ』の挿絵 (19ページ)	1931	板目木版	22.9 × 16.8
57 『スコラスティカ』の挿絵 (21ページ)	1931	板目木版	22.9 × 16.8
58 『スコラスティカ』の挿絵 (25ページ)	1931	板目木版	22.9 × 16.8
59 ラヴェッロ広場のライオン噴水	1932	リトグラフ	21.3 × 32.3
60 サン・コシモ (ラヴェッロ)	1932	リトグラフ	31.3 × 22.2
61 トゥレッロの村 (南イタリア)	1932	リトグラフ	31.1 × 22.5
62 サン・ミケーレ・デイ・フリソーネ (ローマ)	1932	リトグラフ	43.5 × 49.1
63 ブロンテ付近のエトナ山 (から流出した古い溶岩) (シシリー)	1933	リトグラフ	21.7 × 30.7
64 カルビの松林 (コルシカ)	1933	板目木版	35.7 × 46.8
65 夜のローマ 小さな教会 (ヴェネツィア広場)	1934	木口木版	24.2 × 32.0
66 雪景色上の飛行機 (試摺り)	1934	板目木版	30.0 × 32.0
68 バッタ	1935	木口木版	18.1 × 24.2
69 コガネムシ	1935	木口木版	18.0 × 24.0
67 サン・ピエトロ寺院の内部 (ローマ)	1935	木口木版	23.7 × 31.6
70 母、サラ・エッシャー (グライヒマン) の肖像	1935	ドローイング	27.5 × 22.7

II M.C. エッシャー 1936-1972 無限の探求

71 三男ヤン・エッシャーの誕生通知カード	1938	板目木版 (青刷り)	11.7 × 7.7
72 昼と夜	1938	板目木版 (2色刷)	39.1 × 67.7
73 空と水 I	1938	板目木版	43.5 × 43.9
74 発展 II	1939	板目木版 (3色刷)	45.5 × 45.5
75 メタモルフォーゼ II 【部分】	1940	板目木版 (3色刷)	19.2 × 97.5
76 エッシャーノート	1938	ノート	
77 《平面の正則分割》の習作	1941	水彩、インク	24.4 × 24.0
78 《平面の正則分割》の習作	1942	水彩、インク	17.8 × 28.0
79 《平面の正則分割》の習作	1944	水彩、インク	26.5 × 20.2
80 《平面の正則分割》の習作	1953	水彩、インク	19.0 × 19.5
81 蔵書票 D.H. ロードハウゼン	1942	木口木版	8.0 × 6.0
82 蔵書票 A.M.E. ファン・デイスフック	1943	木口木版	8.0 × 6.0
83 蔵書票 J.C. デ・ブラウン	1946	木口木版	8.0 × 6.0
84 臨時アカデミーの修了証書	1945	板目木版	34.2 × 24.0
85 三つの球体 I	1945	木口木版	27.9 × 16.9
86 自画像	1943	スクラッチドローイング	25.5 × 25.5

■連なるイメージ反復・循環・変容

87 出会い	1944	リトグラフ	34.2 × 46.4
88 騎手	1946	板目木版 (3色刷)	23.9 × 44.9
89 騎手 (版木 1)	1946	版木	22.2 × 45.2
90 騎手 (版木 2)	1946	版木	23.0 × 45.2
91 騎手 (版木 3)	1946	版木	24.3 × 45.2
92 太陽と月	1948	板目木版	25.1 × 27.0
93 地、年賀状	1952	板目木版 (2色刷)	15.5 × 13.5
94 空、年賀状	1952	板目木版 (2色刷)	15.4 × 13.4
95 火、年賀状	1952	板目木版 (2色刷)	15.6 × 13.5
96 水、年賀状	1952	板目木版 (2色刷)	15.5 × 13.5
97 徐々に小さく (中心部の試摺り)	1956	木口木版、板目木版 (2色刷)	19.0 × 19.0
98 方形の極限	1964	板目木版 (2色刷)	34.0 × 34.0
99 馬と鳥	1949	木口木版	8.7 × 7.2
100 切手 (10セント)	1949	グラビア印刷	2.5 × 2.5
101 切手 (20セント)	1949	グラビア印刷	2.5 × 2.5
102 四人のグラフィックアーティスト	1952	板目木版	10.1 × 7.7
103 ロバの E	1953	木口木版	9.7 × 6.5
104 作品集『M.C. エッシャーのグラフィック作品とドローイング』のカバー	1959	書籍カバー	25.4 × 51.3
105 『平面の正則分割』【I】	1957	板目木版	24.0 × 18.0
106 『平面の正則分割』【II】	1957	板目木版	24.0 × 18.0
107 『平面の正則分割』【III】	1957	板目木版	24.0 × 18.0

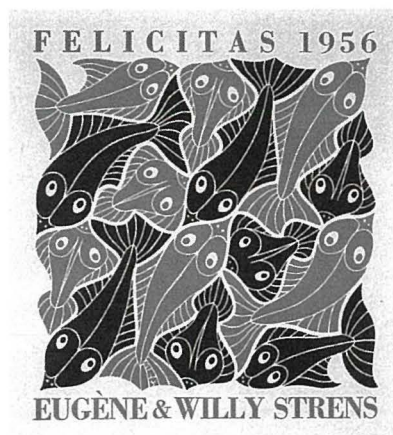
No. 作品名	制作年	技法ほか	寸法 (cm)
108 『平面の正則分割』 【IV】	1957	板目木版	24.0 × 18.0
109 『平面の正則分割』 【V】	1957	板目木版	24.0 × 18.0
110 『平面の正則分割』 【VI】	1957	板目木版	24.0 × 18.0
111 研究書『平面の正則分割』	1958	書籍	35.0 × 26.0
112 魚とうろこ	1959	板目木版	37.8 × 37.8
112 偏平虫類	1959	リトグラフ	33.8 × 41.2
■ゆがむヴィジョン—透視・反射・鏡像			
114 年賀状	1946	板目木版	11.8 × 10.1
115 年賀状 【版本】	1946	版本	11.8 × 11.0
116 もう一つの世界	1947	木口木版、板目木版（3色刷）	31.8 × 26.1
117 露滴	1948	メゾチント	17.9 × 24.5
118 貝殻	1949	ドローイング	10.8 × 15.7
119 貝殻	1949	ドローイング	10.8 × 15.5
120 貝殻	1949	ドローイング	10.8 × 8.8
121 貝殻	1949	メゾチント	16.0 × 10.9
122 写像球体の自画像	1950	板目木版	径 8.2
123 波紋	1950	リノカット（2色刷）	26.0 × 32.0
124 水たまり	1952	板目木版（3色刷）	24.0 × 31.9
125 三つの世界	1955	リトグラフ	36.2 × 24.7
■錯視の小宇宙—立体と平面			
126 クリスタル	1947	メゾチント	13.4 × 17.3
127 二重の惑星	1949	木口木版（4色刷）	径 37.4
128 同心円状の球面片	1953	木口木版	24.1 × 24.1
129 秩序と混沌Ⅱ	1955	リトグラフ	径 27.2
130 ベルバデーレ（物見の塔）	1958	リトグラフ	46.2 × 29.5
131 上昇と下降	1960	リトグラフ	35.5 × 28.5
132 滝	1961	リトグラフ	38.0 × 30.0
133 メビウスの輪Ⅰ	1961	木口木版、板目木版（4色刷）	23.8 × 25.9
134 《蛇》の習作	1969	板目木版（3色刷）	11.7 × 9.3
135 カーペット		ウール	228.0 × 162.0
136 タペストリー		ゴブラン織り	132.5 × 105.0
137 魚模様の球体	1940	木（つげ）	14.0 × 14.0 × 14.0
138 フェルブリファ缶	1963	ブリキ	14.0 × 14.0 × 14.0
139 空と水（展覧会の案内状）		カード	15.5 × 15.5
140 写像球体の自画像（展覧会の案内状）		カード	径 8.2
141 悪魔（展覧会の案内状）	1953	カード	9.7 × 5.9
142 木と動物（展覧会の案内状）	1954	カード	4.4 × 9.9
143 魚（カード 詩:H.R.ホルスト）	1954頃	カード	7.5 × 8.2
144 魚（展覧会の案内状）	1960	カード	8.1 × 8.1
145 立方体を持つ男（展覧会の案内状）	1965	カード	6.4 × 6.4
146 魚（カード 詩:H.R.ホルスト）		カード	10.9 × 10.9

*寸法は、平面作品が縦×横、または径、立体作品が幅×奥行×高さ。

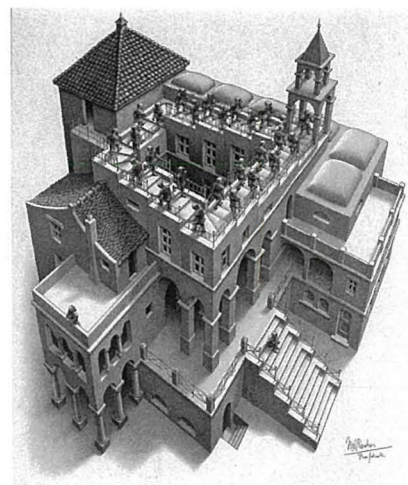
*作品はすべてハウステンボス美術館・博物館蔵。



28 「花瓶 【『24の寓意画』 1】」



96 「水、年賀状」



131 「上昇と下降」

開館20周年記念 十勝の美術クロニクル

会期＝平成23年7月1日(金)～9月7日(水) 59日間
主催＝北海道立帯広美術館

助成＝芸術文化振興基金

観覧料＝一般800(650)円、高大生500(400)円、小中生250(200)円
小中高校の教育活動としての観覧、身障者手帳をお持ちの方などは無料
()内は前売り、リピーターおよび10名以上の団体の割引料金

関連事業

美術講演会

「画布からの伝言 ― 伝えられた 空・大地・人―」

講師＝松井由孝氏（前帯広百年記念館館長）

日時＝7月9日(土) 午後2時～3時30分

会場＝当館講堂（聴講無料）

リレートーク

「自作を語る」

講師＝小室吏氏、米山将治氏、中村俊昭氏、加地保良氏、齊藤隆博氏、宮澤克忠氏、中西堯昭氏、渡邊禎祥氏、飯田和幸氏、中谷有逸氏（出品作家）

日時＝7月10日(日)、7月24日(日)、8月7日(日)、8月21日(日)、9月4日(日) 午後1時～、午後2時～、午後3時～（約30分～1時間）

会場＝当館主展示室、講堂（要観覧券）

キッズ・ミュージアム

「海のなかまたち！」

日時＝7月16日(土) 午後2時～4時

会場＝当館講堂（託児無料）

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館ボランティア「しらかばの会」

特別展セミナー

「クロニクル解説」

講師＝藺部容子（当館学芸員）

日時＝7月23日(土)、8月20日(土) 午後2時～3時

会場＝当館講堂（聴講無料）

サマー・ミュージアム

日時＝7月30日(土) 午前11時～午後3時

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館振興会、帯広美術館ボランティア「しらかばの会」

・グリーン・コンサート①管弦楽

出演＝北海道音高等学校管弦楽局

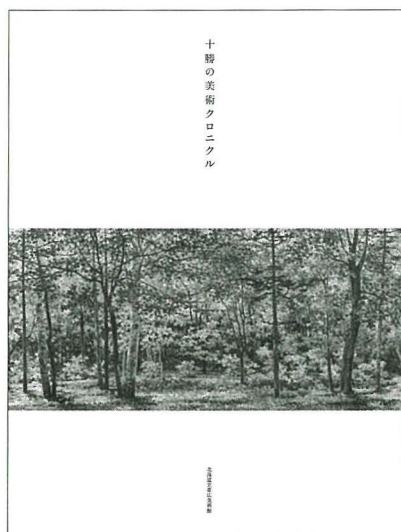
時間＝午前11時～

会場＝当館ロビー（入場無料）

・グリーン・コンサート②三味線



ポスター



図録

出演＝三味線集団Muじょん

時間＝午後2時～

会場＝当館ロビー（入場無料）

・ワークショップ「モビールをつくろう」

講師＝帯広美術館ボランティア「しらかばの会」

時間＝午前12時～午後3時

会場＝当館講堂（参加無料）

ミュージアム・ミステリー 2011サマー

「とかちのビジュツを知ろう」

日時＝8月6日(土)、8月13日(土) 午前10時～12時

会場＝当館講堂、主展示室（参加料200円、応募制）

図録

規格＝29.0×22.0cm／総頁数104ページ

構成＝ごあいさつ／蘭部容子「十勝の美術の流れ」／図版／作家略歴／年譜／出品リスト／参考文献

関連記事

蘭部容子「おびひろミュージアム通信 釧路と帯広のか・ん・け・い」釧路新聞／8月1日(月)

松井由孝「美術年代記」十勝毎日新聞／6月29日(水)

蘭部容子「ほっかいどうアート探訪 熊代弘法『ウペペサンケ山』」北海道新聞／8月8日(月)

蘭部容子「アートの潮流『十勝の美術クロニクル』展から 1～10」北海道新聞（夕刊）／8月8日(月)～12日(金)、16日(火)～19日(金)、22日(月)

蘭部容子「十勝の美術クロニクル ①～⑭」十勝毎日新聞／7

月22日(金)、23日(土)、28日(木)、8月2日(火)、3日(水)、10日(水)、17日(水)、20日(土)、21日(日)～24日(水)、26日(金)、28日(日)

1883(明治16)年の晩成社から本格的に始まった帯広・十勝地方の入植。大正期に入ると在住の愛好者により小規模ながら洋画展が開かれ、近代美術の萌芽が見られるようになる。1927(昭和2)年には現在まで続く「平原社展」が北海道拓殖銀行帯広支店で開催。その後は道展に複数の入選者を出すなど、着実に美術が浸透していくが、第二次世界大戦により途絶を余儀なくされる。戦後、1948(昭和23)年に能勢眞美が帯広に移住してきたことは、この地域の美術界にとって大きな出来事となった。日本画では、1953(昭和28)年に「萌木会」設立。昭和30年代に入ると平原社だけでなく、若い世代を中心にした「ボデス展」や教職員による美術グループ「荒土会」が創立され、そうした中で農民生活に根差した表現を追及する神田日勝が輩出されるのである。

1970年代に入ると絵画グループ「芽」、彫刻では「北彫会」が設立され、また「寺島春雄賞」が設けられる。1980年代には公募展にとらわれない現代美術のグループ展が盛んに行われるようになり、「1983－表出」、「サーキュレーション'85」などを開催。一方で1983(昭和58)年、所属団体を横断する「帯広美術関係者連絡協議会」が発足し、「安井賞展」の誘致や公共施設のモニュメント制作、後の帯広への道立美術館建設期成につながっていった。

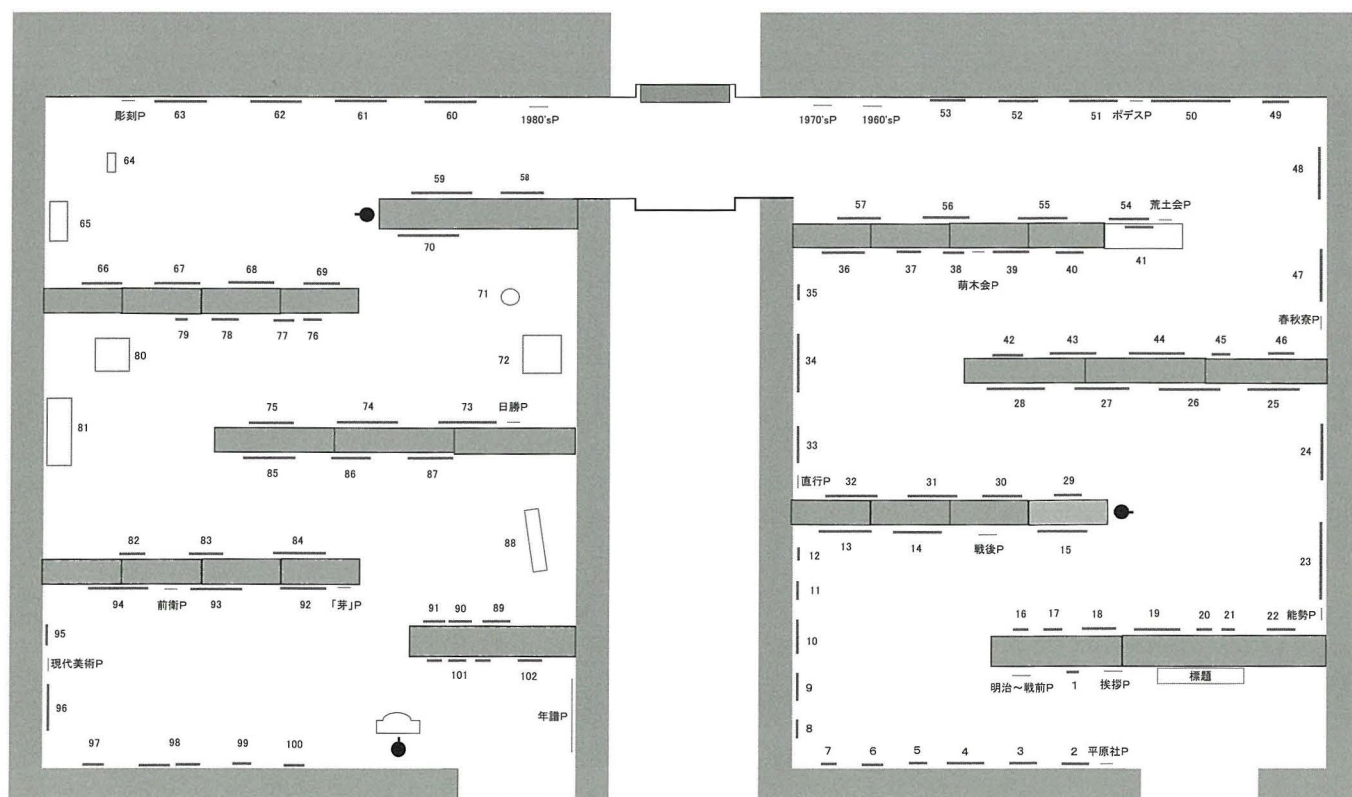
本展覧会では、昭和期を中心とした十勝の美術のクロニクル(年代記)を回顧していった。これまで本格的に取り上げることのなかった十勝の大系的な美術史に取り組み、会期中は5,246人の入館者を迎えた。



会場風景



会場風景



展示図面

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)	所蔵先
1	アーノルド・ヘンリー・サヴェジ・ランダー	[渡辺勝宅]	1890 (明治23)	油彩、板	14.6 × 24.0	帯広百年記念館
2	伊藤隆二	崖	1932 (昭和7)	油彩、キャンバス	53.0 × 72.7	帯広百年記念館
3	伊藤隆二	神社境内	1934 (昭和9)	油彩、キャンバス	72.7 × 90.9	帯広百年記念館
4	小荒井克己	有珠晩秋	1929 (昭和4)	油彩、キャンバス	79.9 × 99.7	札幌芸術の森美術館
5	菅野 要	温室の見える風景	1941 (昭和16)	油彩、キャンバス	38.2 × 45.6	菅野淳氏
6	菅野 要	[風景]	1951 (昭和26)	油彩、板	53.2 × 65.6	高田真紀子氏
7	菅野 要	十勝風景	1954-58 (昭和29-33) 頃	油彩、板	25.5 × 43.7	高田真紀子氏
8	八鍬一郎	阿寒		油彩、キャンバス	37.9 × 45.5	帯広百年記念館
9	八鍬一郎	糠平の風景	1956 (昭和31)	油彩、キャンバス	50.0 × 60.6	北海道立帯広美術館 (帯広市寄託)
10	森本三郎	北国夕景	1939 (昭和14)	油彩、キャンバス	67.0 × 82.0	帯広百年記念館
11	広瀬 進	[花]	1935 (昭和10)	油彩、キャンバス	57.5 × 47.5	帯広百年記念館
12	広瀬 進	[鰯]	1946 (昭和21) 絶筆	油彩、板	14.5 × 21.5	帯広百年記念館
13	高本暁堂	然別湖		絹本墨画、額	46.2 × 126.3	帯広百年記念館
14	高本暁堂	日高連峰と十勝平原 早春		絹本墨画、額	44.5 × 100.5	帯広百年記念館
15	眞田如神	二河白道	1960 (昭和35)	油彩、キャンバス	162.0 × 130.3	脇谷暁暢氏
16	松崎晩翠	小樽海岸	1951 (昭和26)	油彩、板	23.8 × 30.9	中西堯昭氏
17	松崎晩翠	裸婦 (立像)	1951 (昭和26)	油彩、キャンバス	53.5 × 41.0	帯広百年記念館
18	小林守村	プール	1954 (昭和29)	油彩、キャンバス	72.8 × 90.9	小林亨氏

No. 作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)	所蔵先
19 高倉龍璋	月見る布袋		紙本彩色、額	33.0 × 114.3	松井由孝氏
20 吉川章水	[小禽図]		絹本彩色、額	39.5 × 41.5	庄島彰氏
21 吉川章水	[ヤマメ]	1973 (昭和48)頃	紙本淡彩、額	27.0 × 24.0	庄島彰氏
22 能勢真美	うばゆり咲く	1952 (昭和27)	油彩、キャンバス	117.0 × 73.0	北海道立近代美術館
23 能勢真美	初秋の庭	1966 (昭和41)	油彩、キャンバス	98.0 × 227.5	北海道立近代美術館
24 竹山義雄	雪の眩野	1975 (昭和50)	油彩、キャンバス	130.3 × 162.1	帯広百年記念館
25 竹山義雄	秋の斜里岳	1974 (昭和49)	油彩、キャンバス	112.1 × 162.1	帯広百年記念館
26 長尾栄三	晩秋の高原	1979 (昭和54)	油彩、キャンバス	130.3 × 161.8	北海道立帯広美術館
27 長尾栄三	雑木林と高台遠望	1977 (昭和52)	油彩、キャンバス	130.3 × 162.1	帯広百年記念館
28 平塚義雄	[然別湖]	1970 (昭和45)	油彩、キャンバス	130.3 × 162.1	帯広百年記念館
29 北島銀二	橋のある風景	1952 (昭和27)	油彩、キャンバス	59.3 × 71.6	作家蔵
30 加地保良	開拓地	1953 (昭和28)	油彩、キャンバス	88.7 × 115.6	清水町教育委員会
31 中西堯昭	白樺林	1978 (昭和53)	油彩、キャンバス	130.3 × 162.1	作家蔵
32 中西堯昭	凍林	1988 (昭和63)	油彩、キャンバス	130.3 × 162.1	作家蔵
33 坂本直行	大丸山からみた楽古岳	1964 (昭和39)	油彩、キャンバス	59.0 × 89.0	広尾町教育委員会
34 坂本直行	十勝大平原と日高連峰	1960 (昭和35)	油彩、キャンバス	78.0 × 154.2	帯広百年記念館
35 坂本直行	ふきのとう	1951 (昭和26)	油彩、紙	23.4 × 26.5	広尾町教育委員会
36 伊藤 裕	郊外嚴冬	1981 (昭和56)	油彩、キャンバス	112.3 × 144.7	帯広市児童会館
37 高橋天岷	赤い壺	1967 (昭和42)	パステル、紙	38.2 × 45.8	NHK 帯広放送局
38 高橋天岷	ポピー		パステル、紙	32.3 × 41.2	榊十勝毎日新聞社
39 小林満枝	草炎の譜	1981 (昭和56)	紙本彩色、額	79.9 × 116.5	帯広百年記念館
40 小林満枝	木下闇	1977 (昭和52)	紙本彩色、額	62.3 × 74.4	帯広百年記念館
41 高木黄史	ダリヤ	1925 (大正14)	絹本彩色、軸	135.5 × 84.0	北海道立近代美術館
42 樺原梅子	海芋	1966 (昭和41)	顔料、キャンバス	116.5 × 91.0	NHK 帯広放送局
43 吉村さく	かれい	1977 (昭和52)	顔料、キャンバス	90.9 × 116.7	帯広百年記念館
44 日景竹堂	千疊くずれ	1983 (昭和58)	紙本墨画、額	177.0 × 166.0	帯広百年記念館



11 広瀬進「[花]」



34 坂本直行「十勝大平原と日高連峰」

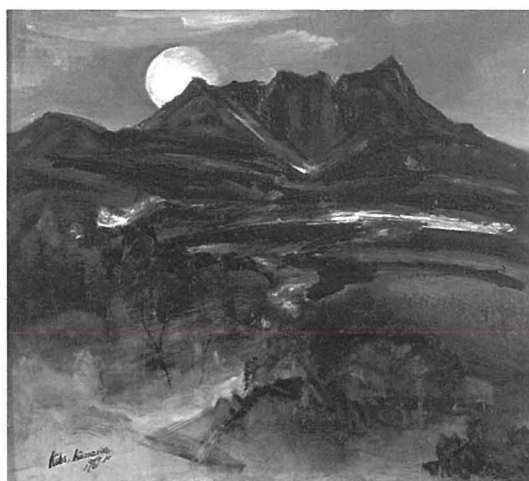
No.	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)	所蔵先
45	秋吉小萩	除雪	1988 (昭和63)	紙本墨画、額	60.6 × 50.0	帯広百年記念館
46	宮野 桂	雌阿寒岳とオンネトー		絹本淡彩、額	45.0 × 53.0	帯広百年記念館
47	寺島春雄	柵と人	1957 (昭和32)	油彩、キャンバス	162.1 × 130.7	北海道立帯広美術館
48	寺島春雄	吃り勲章陳情	1964 (昭和39)	油彩、キャンバス	162.0 × 130.8	北海道立帯広美術館
49	戸田吉三郎	手伝	1991 (平成3)	油彩、キャンバス	72.8 × 50.2	熊代弘法氏
50	岡田悟郎	[群像]	1955 (昭和30)	油彩、板	108.5 × 249.0	帯広市立緑丘小学校
51	神田一明	赤い室内	1961 (昭和36)	油彩、キャンバス	123.5 × 144.3	北海道立近代美術館
52	葛西新一	[牛と人 I]	1957/58 (昭和32/33) 頃	油彩、キャンバス	90.9 × 116.7	帯広百年記念館
53	葛西新一	[面 (つら)]	1957/58 (昭和32/33) 頃	油彩、キャンバス	60.6 × 80.3	帯広百年記念館
54	武田伸一	[抽象]	1985 (昭和60)	油彩、キャンバス	90.9 × 116.7	帯広百年記念館
55	武田伸一	森の記憶より	1972 (昭和47)	油彩、キャンバス	162.1 × 130.3	帯広百年記念館
56	熊代弘法	ウベベサンケ山	1969 (昭和44)	油彩、キャンバス	130.7 × 145.7	作家蔵
57	熊代弘法	シャボン玉	1964 (昭和39)	油彩、キャンバス	112.3 × 144.9	作家蔵
58	おとおひでお	太陽をとる王様	1965 (昭和40)	油彩、紙、板	160.9 × 129.0	作家蔵
59	おとおひでお	喰魂鬼 (イ)	1977 (昭和52)	油彩、胡粉、板	131.6 × 162.1	作家蔵
60	渡邊禎祥	郷愁	1965 (昭和40)	油彩、板	130.3 × 162.1	帯広百年記念館
61	渡邊禎祥	銅矢板	1966 (昭和41)	油彩、板	130.3 × 162.1	帯広百年記念館
62	齊藤隆博	開演	1970 (昭和45)	油彩、キャンバス	131.0 × 162.0	神田日勝記念美術館
63	霜村英靖	闘鶏	1970 (昭和45)	油彩、キャンバス	131.0 × 162.0	神田日勝記念美術館
64	富谷道信	Janus	1966 (昭和41)	木 (カツラ)、鉄	45.0 × 11.5 × 252.0	札幌芸術の森美術館
65	富谷道信	アデラの記憶	1980 (昭和55)	木 (オンコ)	115.0 × 30.0 × 50.0	北海道立帯広美術館
66	岡沼秀雄	北辺の夜〈赤い馬〉	1970 (昭和45)	油彩、キャンバス	162.0 × 131.0	神田日勝記念美術館
67	岡沼秀雄	北辺の夜	1969 (昭和44)	油彩、キャンバス	162.3 × 130.6	とかちプラザ
68	園田郁夫	カムイヌプリ岳展望	1970 (昭和45)	油彩、キャンバス	162.1 × 130.3	帯広百年記念館
69	園田郁夫	カサブランカの詩	1990代前半	油彩、キャンバス	72.5 × 90.6	とかちプラザ
70	宮澤克忠	オキヤクサマデス	1993 (平成5)	油彩、アクリル絵具、顔彩、 パステル、キャンバス	130.5 × 194.2	とかちプラザ
71	小室 吏	態 form 205	1987 (昭和62)	木 (オンコ)、黒粉で彩色	47.0 × 38.5 × 60.5	作家蔵
72	小室 吏	態 202	1978 (昭和53)	木 (カツラ)、黒粉で彩色	77.5 × 62.5 × 54.0	作家蔵
73	神田日勝	死馬	1965 (昭和40)	油彩、板	148.0 × 184.2	北海道立近代美術館
74	神田日勝	室内風景	1970 (昭和45)	油彩、板	227.3 × 181.8	北海道立近代美術館
75	徳丸 滋	女たち	1964 (昭和39)	油彩、キャンバス	91.2 × 116.6	個人蔵
76	太田ふみよし	雪炎	1985 (昭和60)	木版、紙	40.3 × 55.3	太田文隆氏
77	太田ふみよし	十勝川暮色	1984 (昭和59)	木版、紙	40.2 × 55.6	太田文隆氏
78	村元俊郎	アイヌ物語	1976 (昭和51) 頃	油彩、キャンバス	60.9 × 72.8	㈱十勝毎日新聞社
79	村元俊郎	ババイヤ	1984 (昭和59)	油彩、キャンバス	19.0 × 24.0	帯広百年記念館
80	中村俊昭	エメラルダ	1978 (昭和53) 頃	石膏直付け、彩色	73.0 × 29.5 × 74.1	作家蔵
81	中村俊昭	語らい	1991 (平成3)	石膏、彩色	(右) 26.8 × 16.2 × 42.0 (左) 26.6 × 16.2 × 41.8 (2点組)	作家蔵
82	古賀喜久男	限りなく漂流する者の夢	1980 (昭和55)	アクリル絵具、和紙、彩色、 板	90.0 × 68.5	帯広百年記念館
83	古賀喜久男	主宰者の前で欲望の夢を奪い合う二 匹のシャチ	1980 (昭和55) 頃	アクリル絵具、和紙、彩色、 キャンバス	91.5 × 116.0	帯広百年記念館
84	森 健二	光年のメロディー No.3	1968 (昭和43)	油彩、キャンバス	130.5 × 162.5	北海道立帯広美術館
85	森 健二	光年の導 「道」	1983 (昭和58)	油彩、キャンバス	130.0 × 162.0	北海道立帯広美術館
86	田川善立	北の紋 (季)	1980 (昭和55)	油彩、キャンバス	193.7 × 130.5	作家蔵
87	田川善立	北の紋 (季)	1982 (昭和57)	油彩、キャンバス	162.9 × 130.2	とかちプラザ

No.	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)	所蔵先
88	岡沼淳一	MONSOON	1988 (昭和63)	木 (ニレ)	185.0 × 44.3 × 190.0	北海道立帯広美術館
89	中谷有逸	三羽の鳥 (水辺の形)	1973 (昭和48)	シルクスクリーン、紙	33.9 × 50.4	北海道立帯広美術館
90	中谷有逸	碑 (柔かい重なり)	1988 (昭和63)	凹凸併用版、紙	42.5 × 64.2	北海道立帯広美術館
91	中谷有逸	碑 (見えざりし者たちの)	1988 (昭和63)	凹凸併用版、紙	38.8 × 58.2	北海道立帯広美術館
92	飯田和幸	北の精 B	1973 (昭和48)	油彩、キャンバス	90.9 × 116.7	作家蔵
93	飯田和幸	しづく	1989 (平成元)	油彩、キャンバス	130.3 × 162.1	作家蔵
94	米山将治	空間の開華	1970 (昭和45)	ラッカー、板	136.5 × 183.0	帯広百年記念館
95	米山将治	存在の溶点またはへその木登り	1966 (昭和41)	ミクストメディア、板	83.7 × 77.8	帯広百年記念館
96	佐野まさの	100本のマッチの中で最も美しい1本	1979 (昭和54)	油彩、キャンバス	130.1 × 161.7	佐野ひとみ氏
97	佐野まさの	[作品]		ミクストメディア、板	91.0 × 61.0 × 5.3	佐野ひとみ氏
98	佐野まさの	意識の破片	1988 (昭和63) 頃	金属、木、アクリル、絵具、石膏、金属板	46.0 × 86.0 × 8.5 45.5 × 65.5 × 8.0 (2点)	佐野ひとみ氏
99	檜原北悠	work '83・酷	1983 (昭和58)	セメント、墨汁、ペンキ、有刺鉄線、木、塩化アンモニウム、板	75.4 × 59.2 × 14.5	作家蔵
100	檜原北悠	work '83・凍	1983 (昭和58)	セメント、墨汁、ペンキ、有刺鉄線、鉄、塩化アンモニウム、板	60.5 × 50.2 × 5.5	作家蔵
101	高橋英双	proto plast (原形体)	1988 (昭和63)	木	(右) 45.1 × 46.0 × 26.8 (中) 54.0 × 58.0 × 27.7 (左) 45.2 × 45.3 × 27.2 (3点)	個人蔵
102	高橋英双	proto plast (原形体)	1988 (昭和63)	木	45.3 × 92.0 × 5.5	個人蔵

* 作品名不詳の作品は、[] 内に仮題を記した。

* 寸法は、平面が縦×横または縦×横×厚さ、立体が幅×奥行×高さ。

* 所蔵先は本展出品時のデータ。



56 熊代弘法「ウベバサンケ山」



94 米山将治「空間の開華」

ウッドワン美術館名品選 巨匠たちの饗宴 — 日本近代絵画

会期＝平成23年9月16日(金)～11月7日(月) 46日間
主催＝北海道立帯広美術館、北海道新聞社、帯広市・
帯広市教育委員会、ウッドワン美術館、巨匠たち
の饗宴帯広展実行委員会

観覧料＝一般1000(800)円、高大生600(500)円、小中生300(250)円
小中高校の教育活動としての観覧、身障者手帳をお持ち
の方などは無料
()内は前売り、リピーターおよび10名以上の団体の
割引料金

関連事業

オープン・カフェ

「帯広美術館でオープン・カフェ」

日時＝9月23日(金・祝)、24日(土)、25日(日) 午前11時～午後3時

会場＝当館ロビー (400円、チケット半券で100円引)

主催＝帯広美術館ボランティア「しらかばの会」

特別展セミナー

「日本の近代美術」

講師＝佐藤由美加 (当館主任学芸員)

日時＝10月8日(土)、10月22日(土) 午後2時～3時

会場＝当館講堂 (聴講無料)

美術講演会

「近代美術とウッドワン美術館」

講師＝重藤嘉代氏 (ウッドワン美術館学芸員)

日時＝10月15日(土) 午後3時～4時30分

会場＝当館講堂 (聴講無料)

映写室

日時＝11月1日(火)～4日(金)、6日(日)、7日(月) 各日とも午後2
時～(約30分)

会場＝当館講堂 (入場無料)

キッズ・ミュージアム

「おち葉であそぼう」

日時＝11月5日(土) 午後2時～4時

会場＝当館講堂 (託児無料)

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館ボランティア「しらか
ばの会」

図録

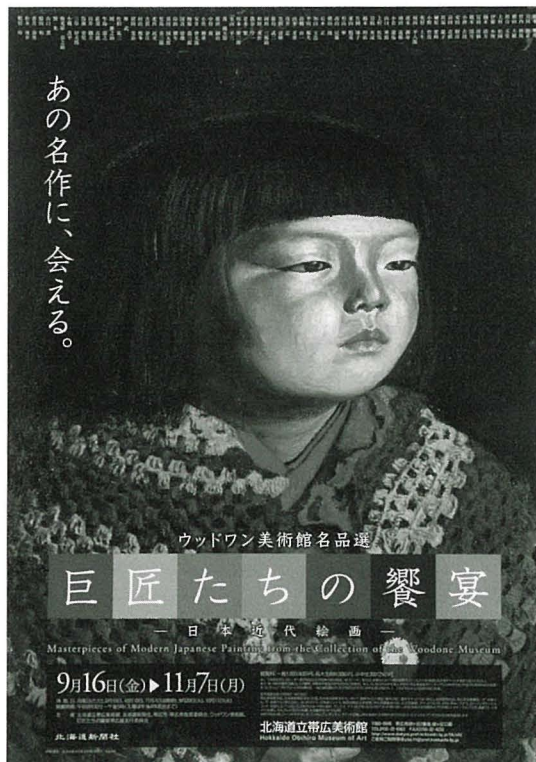
規格＝29.7×23.0cm/総頁数214ページ

構成＝ごあいさつ／島田康寛「ウッドワン美術館とその所蔵絵
画」／図版／作家略歴・作家解説／作家生没年表／作品
リスト

関連記事

佐藤由美加「おびひろミュージアム通信 展覧会のタイトル」
釧路新聞／9月26日(月)

佐藤由美加「巨匠に出会う『ウッドワン美術館名品選から①、
③、⑤、⑦、⑧』」北海道新聞／9月21日(水)、27日(火)、29日(木)、



ポスター

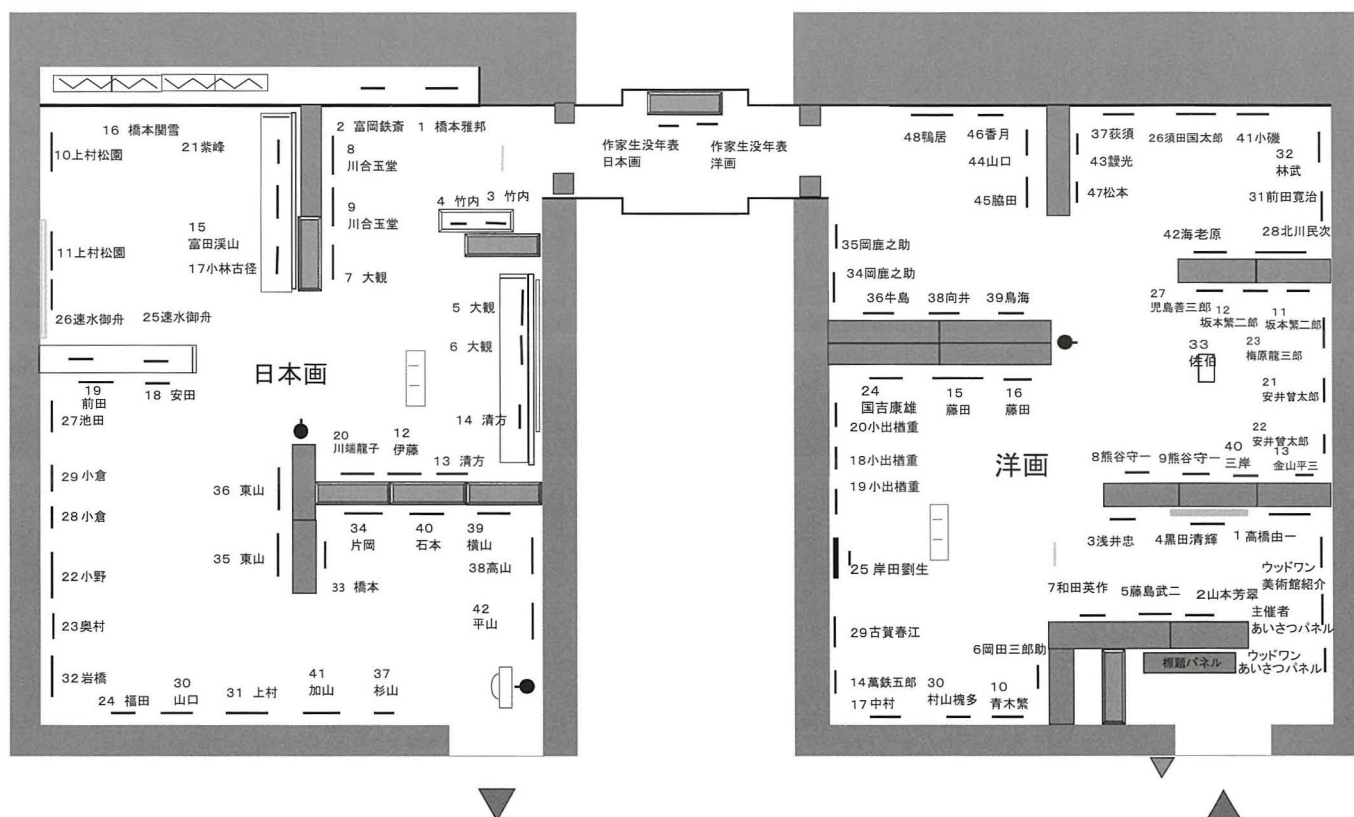


図録

中谷有逸「巨匠に出会う『ウッドワン美術館名品選から⑩』」
北海道新聞／10月8日(土)

広島県廿日市市にあるウッドワン美術館は、平成8年、総合木質建材メーカー株式会社ウッドワン所蔵の美術品を展示・公開する施設として設立された。約1,000点のコレクションは、

近代以降の日本の激動の歴史は、美術の世界にも大きな変革をもたらしてきた。本展は、そうした日本絵画の歩んだ道の一端を紹介する機会であり、9,843人が来館した。



展示図面



会場風景



会場風景

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	材質技法	寸法(cm)
■ 日本画					
1	橋本雅邦	紅葉白水図	1900 (明治33)頃	紙本着色、軸	77.4×104.6
2	富岡鉄斎	西園雅集図	1896 (明治29)	絹本着色、軸	152.0×55.0
3	竹内栖鳳	秋圃	1921 (大正10)	絹本着色、額	135.0×42.2
4	竹内栖鳳	朝陽	1938 (昭和13)	絹本着色、軸	136.8×43.3
5	横山大観	月	1909 (明治42)	絹本淡彩、軸	158.4×99.0
6	横山大観	洞庭の月	1926 (大正15)	絹本墨彩、軸	59.0×82.7
7	横山大観	霊峰不二	1950 (昭和25)	絹本墨彩、額	65.6×84.7
8	川合玉堂	冬嶺孤鹿	1898 (明治31)	絹本着色、額	178.1×113.6
9	川合玉堂	深秋	1933 (昭和8)	絹本着色、額	85.0×110.5
10	上村松園	雪吹美人画	1911 (明治44)	絹本着色、額	195.0×102.0
11	上村松園	舞仕度	1914 (大正3)	絹本着色、額 (二面)	(各) 170.0×100.0
12	伊藤小坡	山羊の乳	1922 (大正11)	絹本着色、額	181.0×117.0
13	鍋本清方	二人づれ	1916 (大正5)	絹本着色、額	141.0×56.5
14	鍋本清方	春に遊ぶ	1918 (大正7)頃	絹本着色、軸	136.0×50.3
15	富田溪仙	溪山帰樵図	1903 (明治36)頃	絹本着色、軸	216.6×86.7
16	橋本関雪	片岡山のほとり	1911 (明治44)	紙本着色、屏風(六曲一双)	(各)165.7×370.2
17	小林古径	尾長鳥	1946 (昭和21)	絹本着色、軸	57.0×72.0
18	安田靉彦	森蘭丸	1969 (昭和44)	紙本着色、額	92.7×111.0
19	川端龍子	潮ざい	1941 (昭和16)	絹本着色、額	173.0×86.5
20	前田青邨	豊公	1947 (昭和22)頃	紙本着色、額	57.0×75.0
21	榊原紫峰	桃に山娘鳥図	1930 (昭和5)頃	絹本着色、軸	146.7×72.1
22	小野竹喬	夕空	1953 (昭和28)	紙本着色、額	112.7×134.4
23	奥村土牛	仔犬	1975 (昭和50)頃	紙本着色、額	55.0×40.0
24	福田平八郎	竹	1955 (昭和30)	紙本着色、額	78.7×56.4
25	速水御舟	荒海	1915 (大正4)	紙本着色、軸	135.0×66.5
26	速水御舟	梅林老夫の図-浅春-	1918 (大正7)	絹本着色、軸	125.0×41.6
27	池田遙邨	蓮	1980 (昭和55)	紙本着色、額	91.0×65.0
28	小倉遊亀	夏の客	1942 (昭和17)	絹本着色、額	172.5×109.2
29	小倉遊亀	蛇の目草を持つ少女	1968 (昭和43)	紙本着色、額	73.0×54.0
30	山口華楊	立夏	1982 (昭和57)	紙本着色、額	100.8×50.2
31	上村松篁	桃実	1957 (昭和32)	紙本着色、額	129.0×162.0
32	岩橋英遠	五合目五月	1988 (昭和63)	紙本着色、額	80.3×100.0
33	橋本明治	舞妓	1959 (昭和34)	紙本着色、額	84.0×65.7
34	片岡球子	面構葛飾北京	1987 (昭和62)	紙本着色、額	116.8×90.9

No.	作家名	作品名	制作年	材質技法	寸法(cm)
35	東山魁夷	水辺に咲く	1953 (昭和28)	紙本着色、額	91.5×97.5
36	東山魁夷	フレーデンスボーの森	1963 (昭和38)	紙本着色、額	80.8×115.6
37	杉山 寧	澁 (しゅく)	1992 (平成4)	麻布着色、額	58.4×76.7
38	高山辰雄	朝の気	1994 (平成6)	絹本着色、額	90.0×118.5
39	横山 操	夕原	1965 (昭和40)	紙本着色、額	48.5×75.3
40	石本 正	白く咲く	1991 (平成3) 頃	紙本着色、額	150.0×77.8
41	加山又造	戯	1995 (平成7)	紙本着色、額	65.6×91.4
42	平山郁夫	エジプトの少女(王家の谷ルクソール)	1994 (平成6)	紙本着色、額	80.2×116.5

■洋画

1	高橋由一	官軍が火を人吉に放つ図	1877 (明治10)	カンヴァス、油彩	65.7×121.3
2	山本芳翠	婦人像	1892 (明治25) 頃	カンヴァス、油彩	56.1×36.2
3	浅井 忠	八瀬の秋	1902 (明治35)	カンヴァス、油彩	80.2×59.7
4	黒田清輝	木かげ	1898 (明治31)	カンヴァス、油彩	78.0×93.7
5	藤島武二	女の顔	1921 (大正10)	カンヴァス、油彩	53.3×45.2
6	岡田三郎助	花をもてる裸婦	1903 (明治35)	カンヴァス、油彩	92.5×72.0
7	和田英作	ミカンを摘む少女	1912 (明治45)	カンヴァス、油彩	91.3×65.8
8	熊谷守一	裸	1934 (昭和9)	カンヴァス、油彩	80.3×65.0
9	熊谷守一	裸婦	1963 (昭和38)	板、油彩	41.0×31.8
10	青木 繁	風景	1910 (明治43) 頃	カンヴァス、油彩	59.5×45.5
11	坂本繁二郎	煉瓦と瓦	1944-50 (昭和19-25) 頃	カンヴァス、油彩	45.5×53.0
12	坂本繁二郎	ざぼん林檎など	1946 (昭和21)	カンヴァス、油彩	50.2×60.4
13	金山平三	安代雪景	1935-45 (昭和10-20)	カンヴァス、油彩	45.8×60.5
14	萬鐵五郎	風景	1926 (大正15)	カンヴァス、油彩	33.5×46.0
15	藤田嗣治	ディナー・パーティー	1939 (昭和14)	カンヴァス、油彩	88.5×129.6
16	藤田嗣治	占いの老女	1949 (昭和24)	カンヴァス、油彩	101.6×76.0
17	中村 彝	女	1911 (明治44) 頃	カンヴァス、油彩	45.5×38.0
18	小出檣重	少女お梅の像	1920 (大正9)	カンヴァス、油彩	93.3×85.0
19	小出檣重	裸婦	1930 (昭和5)	カンヴァス、油彩	46.0×55.0
20	小出檣重	枯木のある風景	1930 (昭和5)	カンヴァス、油彩	72.8×90.8



日本画 5 横山大観「月」



日本画 11 上村松園「舞仕度」



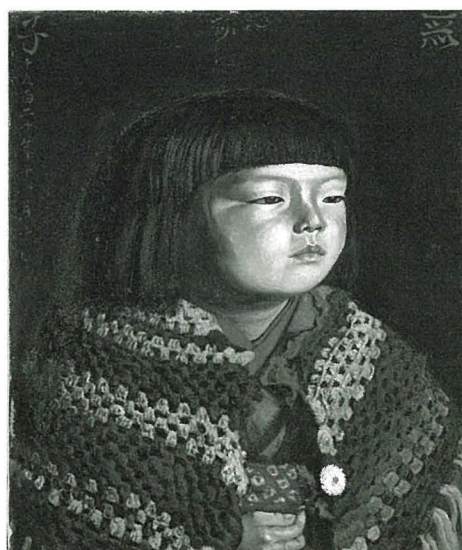
No.	作家名	作品名	制作年	材質技法	寸法(cm)
21	安井曾太郎	赤衣婦人立像	1914 (大正3)	カンヴァス、油彩	117.0×80.7
22	安井曾太郎	裸女	1934 (昭和9)	カンヴァス、油彩	76.0×61.0
23	梅原龍三郎	富士山図	1953 (昭和28)	紙、デトランプ	72.0×40.0
24	国吉康雄	白いシュミーズの女	1928 (昭和3)	カンヴァス、油彩	61.0×50.8
25	岸田劉生	毛糸肩掛せる麗子肖像	1920 (大正9)	カンヴァス、油彩	45.2×38.0
26	須田国太郎	黄比叡	1940 (昭和15)	カンヴァス、油彩	129.2×160.4
27	児島善三郎	ひまわり	1950 (昭和25)頃	カンヴァス、油彩	100.0×80.5
28	北川民次	見物 (メキシコ)	1938 (昭和13)	テンペラ、麻紙	72.0×163.0
29	古賀春江	花	1926 (大正15)頃	紙、水彩	62.4×47.4
30	村山槐多	ガーベラの花	1916 (大正5)頃	カンヴァス、油彩	40.8×53.0
31	前田寛治	少年の像	1928 (昭和3)	カンヴァス、油彩	116.5×80.4
32	林 武	赤富士	1967 (昭和42)	カンヴァス、油彩	91.0×116.8
33-1	佐伯祐三	(表) パリの裏街	1925 (大正14)	カンヴァス、油彩	63.5×79.5
33-2	佐伯祐三	(裏) ロカション・ドウ・シボー	1925 (大正14)	カンヴァス、油彩	63.5×79.5
34	岡鹿之助	献花	1966 (昭和41)	カンヴァス、油彩	65.0×91.0
35	岡鹿之助	古跡	1975 (昭和50)	カンヴァス、油彩	72.9×90.9
36	牛島憲之	新樹	1953 (昭和28)	カンヴァス、油彩	65.2×91.0
37	荻須高德	広告塔	1930 (昭和5)頃	カンヴァス、油彩	73.2×60.0
38	向井 潤	春-杏花の村-	1961 (昭和36)	カンヴァス、油彩	73.0×100.0
39	鳥海青児	花の図	1941 (昭和16)	カンヴァス、油彩	60.8×50.4
40	三岸好太郎	遁化 (半身)	1931 (昭和6)頃	カンヴァス、油彩	72.8×53.0
41	小磯良平	人形	1975 (昭和50)	カンヴァス、油彩	65.5×91.0
42	海老原喜之助	曳船	1927 (昭和2)	カンヴァス、油彩	60.6×72.6
43	巖光	かます	1943 (昭和18)	カンヴァス、油彩	24.8×33.8
44	山口 薫	少年とカラス	1953 (昭和28)	カンヴァス、油彩	65.4×53.3
45	脇田 和	野草と鳥	1984 (昭和59)	カンヴァス、油彩	100.0×80.3
46	香月 泰	裏山錦秋	1973 (昭和48)	カンヴァス、油彩	91.0×60.5
47	松本竣介	顔	1943-44 (昭和18-19)	厚紙、油彩	32.8×23.5
48	鴨居 玲	サイコロ	1969 (昭和44)	カンヴァス、油彩	91.2×116.5

*寸法は縦×横。

*作品はすべてウッドワン美術館蔵。



洋画 4 黒田清輝「木かげ」



洋画 25 岸田劉生「毛糸肩掛せる麗子肖像」

開館20周年記念 北海道立近代美術館コレクションの華 シャガール、パスキンとエコール・ド・パリの綺羅星たち

会期＝平成23年11月22日(火)ー平成24年2月1日(水) 57日間
主催＝北海道立帯広美術館、北海道立近代美術館、帯広美術館振興会、帯広美術館 ボランティア「しらかばの会」

観覧料＝一般800(600)円、高大生500(400)円
中学生以下、65歳以上、高校の教育活動としての観覧、
身障者手帳をお持ちの方などは無料
()内は前売り、リピーターおよび10名以上の団体の
割引料金

関連事業

美術講演会

「エコール・ド・パリー異邦人のユートピア」

講師＝有木宏二氏(宇都宮美術館主任学芸員)

日時＝11月26日(土) 午後2時～4時

会場＝当館講堂(聴講無料)

ギャラリー・ツアー

「パリを彩った画家たち」

講師＝鎌田 享(当館学芸課長)

日時＝12月3日(土)、12月24日(土) 各日とも午後2時～(約30分)

会場＝当館主展示室(要観覧券)

オビビ・キッズ・アートフェスタ2011

つくるん・みるるん・あそぶん

ワークショップ「ねん土でオリジナル花びん」

コレクション・ギャラリー「コレクションのあゆみ」鑑賞

日時＝12月11日(日) 午後1時30分～3時30分

会場＝当館講堂、コレクション・ギャラリー(参加無料、応募制)

主催＝帯広美術館ボランティア「しらかばの会」、北海道立帯
広美術館

クリスマス・コンサート

出演＝グルーヴィン・シャウト&インプレス(ゴスペル・グルー
プ)

日時＝12月17日(土) 午後2時～

会場＝当館ロビー(入場無料)

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館振興会

ミュージアム・カレッジ

「芸術の都・パリの作家たち」

講師＝当館学芸員

日時＝1月7日(土)、1月14日(土)、2月18日(土)、2月25日(土)

午後2時～3時30分/全4回

*2月18日(土)、25日(土)は「プリントアートの魅力」の関
連事業として実施。

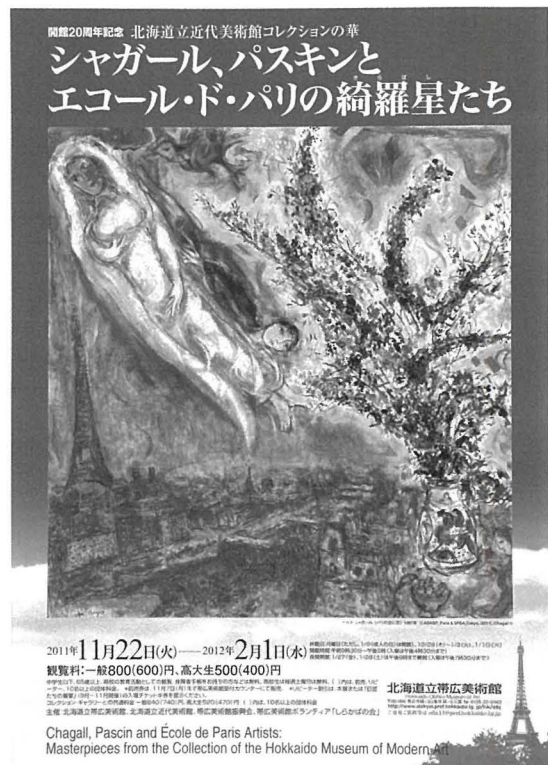
会場＝当館講堂、主展示室(参加料1,000円、応募制)

キッズ・ミュージアム

「お絵かき(ヒ・ミ・ツ)」

日時＝1月21日(土) 午後2時～4時

会場＝当館講堂(託児無料)



ポスター

No.	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)
15	マルク・シャガール	『ダフニスとクロエ』より クロエの誘拐	1957-60	リトグラフ、アルシュ紙	42.5×64.3
16	マルク・シャガール	『ダフニスとクロエ』より ニンフたちへの捧げ物	1957-60	リトグラフ、アルシュ紙	42.5×32.3
17	マルク・シャガール	『ダフニスとクロエ』より シュリンクスの物語	1957-60	リトグラフ、アルシュ紙	42.5×32.5
18	マルク・シャガール	『ダフニスとクロエ』より 春	1957-60	リトグラフ、アルシュ紙	42.5×65.0
19	マルク・シャガール	『ダフニスとクロエ』より 夏の季節	1957-60	リトグラフ、アルシュ紙	42.5×32.3
20	マルク・シャガール	『ダフニスとクロエ』より バックス神の社とそこに描かれているで きごと	1957-60	リトグラフ、アルシュ紙	42.5×64.7
21	マルク・シャガール	『ダフニスとクロエ』より メガクレースはクロエが自分の娘である ことに宴の間に気がつく	1957-60	リトグラフ、アルシュ紙	42.4×64.5
22	マルク・シャガール	『ダフニスとクロエ』より結婚	1957-60	リトグラフ、アルシュ紙	42.3×64.2

■ エコール・ド・パリの画家たち École de Paris

23	キスリング	サン=ジェルマン風景	1914	油彩、キャンバス	92.0×73.0
24	キスリング	魚の静物	1924	油彩、キャンバス	81.0×100.0
25	キスリング	籠、パイナップル、リンゴ、メロン	1922	油彩、キャンバス	100.0×81.0
26	キスリング	半裸婦	1926	油彩、キャンバス	73.5×54.8
27	キスリング	オランダの娘	1928	油彩、キャンバス	100.4×73.4
28	キスリング	晴着の婦人	1925	油彩、キャンバス	73.0×60.0
29	アメデオ・モディリアーニ	フジタの肖像	1919	鉛筆、紙	48.5×20.0
30	藤田嗣治	フランス娘	1945頃	木版、紙	39.2×26.0
31	藤田嗣治	二人の女	1918	油彩、キャンバス	92.2×73.3
32	ペール・クローグ	ローブをまとったテレーズ	1925	油彩、キャンバス	92.0×60.0
33	ペール・クローグ	肘掛け椅子の女	1925	油彩、キャンバス	81.0×60.0
34	ジョルジュ・ルオー	聖なる顔	1939	油彩、紙	56.0×41.0



1 シャガール「パリの空に花」



34 ルオー「聖なる顔」

No.	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)
35	ハイム・スーチン	祈る男	1921頃	油彩、キャンバス	94.0×51.0
36	アンドレ・ドラン	マルティグ風景	1908	油彩、キャンバス	100.0×81.0
37	アンドレ・ドラン	猫と裸婦	1936-38頃	油彩、キャンバス	108.3×150.5
38	アンドレ・ドラン	裸婦	1928-29頃	油彩、キャンバス	92.4×72.4
39	アンドレ・ロート	水浴	1918	油彩、キャンバス	60.0×73.0
40	キース・ヴァン・ドンゲン	アガーテ・ヴェゲリフ・グラヴェスタインの肖像	1909	油彩、キャンバス	100.0×81.0
41	キース・ヴァン・ドンゲン	ボドリ・ダッソン侯爵夫人	1919	油彩、キャンバス	130.5×97.5
42	マリー・ローランサン	三人の娘	1943	油彩、キャンバス	61.0×49.8
43	マリー・ローランサン	婦人像	1920	油彩、キャンバス	73.5×61.0
44	マリー・ローランサン	犬と三人の乙女	1930-40	水彩、紙	27.5×37.5
45	エルミース・ダヴィッド	ロンシャン競馬場でのゴールイン	1932	油彩、キャンバス	73.0×92.0
46	エルミース・ダヴィッド	バリ郊外—二匹の白い犬	1921	油彩、紙、ボード	54.5×65.0
47	エルミース・ダヴィッド	寝具店	1922	油彩、紙、キャンバス	81.0×65.5
48	エルミース・ダヴィッド	森の散歩道	1922頃	油彩、キャンバス	58.5×71.5
49	エルミース・ダヴィッド	マルヌ河岸	1922	油彩、キャンバス	76.3×88.2
50	エルミース・ダヴィッド	バリ郊外の干し草積み	1922	油彩、紙	87.0×69.4
51	モーリス・ド・ヴラマンク	風景	1920頃	油彩、キャンバス	73.5×93.0
52	モーリス・ド・ヴラマンク	村	1950代	油彩、キャンバス	48.4×59.5
53	モーリス・ユトリロ	モンルージュの通り（セース）	1910頃	油彩、キャンバス	57.5×79.3
54	モーリス・ユトリロ	シセイ・アン・モルヴァン	1914頃	油彩、ボード	46.0×60.0

■ ジュル・パスキン

Jules PASCIN

55	ジュル・パスキン	客と3人の娘たち	1904	水彩、紙	20.4×13.8
56	ジュル・パスキン	ドラマ	1907	銅版、紙	11.8×8.8
57	ジュル・パスキン	女学生	1908	油彩、キャンバス	55.0×46.0
58	ジュル・パスキン	洗濯女	1909	銅版、紙	16.6×23.0
59	ジュル・パスキン	荒野の騎手	1909	油彩、ペーパーボード	19.0×33.0
60	ジュル・パスキン	犬の愛嬌	1909	水彩、ペン、紙	12.1×8.3
61	ジュル・パスキン	バリの貧民区	1910	水彩、紙	13.1×13.8
62	ジュル・パスキン	人形	1910	油彩、カルトン	22.5×24.0
63	ジュル・パスキン	相続人	1910	インク、淡彩、紙	19.7×13.0
64	ジュル・パスキン	ソファに腰かけるシュザンヌ	1911	油彩、キャンバス	65.5×54.0
65	ジュル・パスキン	夏の宵	1912	銅版、紙	16.1×10.2
66	ジュル・パスキン	黒いスカートのエルミース	1911	鉛筆、水彩、紙	30.8×21.0
67	ジュル・パスキン	四人の女	1914	鉛筆、淡彩、紙	17.8×20.6
68	ジュル・パスキン	表面：みづくろいする女 裏面：カフェの庭で	1917	油彩、キャンバス	各55.0×66.0
69	ジュル・パスキン	キュビスト風の女性像	1916	水彩、紙	24.1×12.9
70	ジュル・パスキン	裸婦の構図	1915	油彩、キャンバス	46.0×55.0
71	ジュル・パスキン	ニューヨーク風景（バトリー・パーク）	1916	銅版、紙	11.9×15.3
72	ジュル・パスキン	習作	1917	インク、淡彩、紙	21.0×14.0
73	ジュル・パスキン	良きサマリア人	1917	油彩、キャンバス	73.5×66.3
74	ジュル・パスキン	キューバの外輪船	1917	鉛筆、水彩、紙	19.1×25.7
75	ジュル・パスキン	キューバ風景Ⅱ	1917	鉛筆、淡彩、紙	16.5×25.1
76	ジュル・パスキン	キューバの人達	1917	油彩、キャンバス	53.0×64.0
77	ジュル・パスキン	新聞を読む人	1918	インク、淡彩、紙	22.9×19.4
78	ジュル・パスキン	習作Ⅰ	1919	インク、淡彩、紙	22.2×32.4
79	ジュル・パスキン	マルセイユの港	1920	コンテ、淡彩、紙	20.0×26.0
80	ジュル・パスキン	チュニスの市場	1921	銅版、紙	17.8×13.2

No.	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)
81	ジュル・パスキン	アンドレ・サルモンとモンマルトル	1921	油彩、紙	195.0×129.8
82	ジュル・パスキン	娘たち	1922	カーボン、淡彩、紙	36.2×48.6
83	ジュル・パスキン	マッコルランの肖像	1923	木炭、紙	37.3×28.2
84	ジュル・パスキン	女たち	1924	銅版、紙	13.0×17.8
85	ジュル・パスキン	肘掛け椅子のモデル	1925	油彩、キャンバス	54.6×45.7
86	ジュル・パスキン	バル・タバラン	1925	鉛筆、淡彩、紙	25.7×33.3
87	ジュル・パスキン	二人のモデル	1924	油彩、キャンバス	99.0×80.0
88	ジュル・パスキン	フロリダの黒人たち	1925	銅版、紙	20.0×25.3
89	ジュル・パスキン	花束をもつ少女	1925-26	油彩、キャンバス	80.0×64.0
90	ジュル・パスキン	ゲオルク・アイゼンマン夫妻	1926	インク、淡彩、紙	45.4×62.5
91	ジュル・パスキン	白いリボンの少女	1928	油彩、キャンバス	92.0×73.0
92	ジュル・パスキン	放蕩息子と娘たち	1926	銅版、紙	33.5×47.9
93	ジュル・パスキン	腰かける女	1928	油彩、キャンバス	76.0×63.0
94	ジュル・パスキン	国吉夫人	1927	鉛筆、紙	54.4×43.0
95	ジュル・パスキン	三人の女達	1927	油彩、キャンバス	54.0×64.0
96	ジュル・パスキン	サロメ、サロメ	1927	銅版、紙	23.9×31.6
97	ジュル・パスキン	ジナとルネ	1928	油彩、キャンバス	90.5×71.3
98	ジュル・パスキン	恋人たちⅡ	1930	鉛筆、紙	32.0×41.6
99	ジュル・パスキン	恋人たち	1930	油彩、板	46.0×38.0
100	ジュル・パスキン	ヘロデ王の前で踊るサロメ	1930	銅版、紙	45.5×57.0
101	ジュル・パスキン	かみあわない下手なジャズ	1929	銅版、紙	22.9×27.9
102	ジュル・パスキン	三人の裸婦	1930	油彩、キャンバス	81.0×100.0
103	ジュル・パスキン	シンデレラ	1930	銅版、紙	25.3×35.3
104	ジュル・パスキン	シンデレラ	1930	銅版、紙	35.2×25.3
105	ジュル・パスキン	シンデレラ	1930	銅版、紙	35.2×25.0

*寸法は縦×横。

*作品はすべて北海道立近代美術館蔵。

*No.29は、11 / 22(火)から12 / 24(土)まで展示。 No.30は、12 / 25(日)から 2 / 1(水)まで展示。



53 ユトリロ「モンルージュの通り（セーヌ）」



89 パスキン「花束をもつ少女」

プリントアートの魅力

会期＝平成24年2月10日(金)～4月11日(水) 53日間
会場＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般500(400)円、高大生300(250)円
中学生以下、65歳以上、高校の教育活動としての観覧、
身障者手帳をお持ちの方などは無料
()内は前売り、リピーターおよび10名以上の団体の
割引料金

関連事業

ミュージアム・カレッジ

「芸術の都・パリの作家たち」

講師＝当館学芸員

日時＝1月7日(土)、1月14日(土)、2月18日(土)、2月25日(土)

午後2時～3時30分／全4回

*1月7日(土)、14日(土)は「シャガール、パスキンとエコー
ル・ド・パリの綺羅星たち」の関連事業として実施。

会場＝当館講堂(参加料1,000円、応募制)

バレンタイン・コンサート

「笹井由香～アール・マティ～コンサート マリンバ・コンサート」

出演者＝笹井由香氏(マリンバ)、伊藤夢里子氏(ピアノ)、村
井智氏(チェロ)、浅川雄介氏(ジャンベ)、荒木祥衣
氏(パーカッション)、滝川恵水氏(パーカッション)

日時＝2月11日(土) 午後2時～

会場＝当館ロビー(入場無料)

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館振興会

技法講座「メゾチントの初歩」

講師＝中谷有逸氏(美術家)

日時＝3月10日(土)、3月11日(日) 2日間連続 午後1時30分～
4時

会場＝当館講堂、展示室(参加料900円、応募制)

キッズ・ミュージアム

「楽しいはりえ」

日時＝3月17日(土) 午後2時～4時

会場＝当館講堂(託児無料)

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館ボランティア「しらか
ばの会」

ギャラリー・ツアー

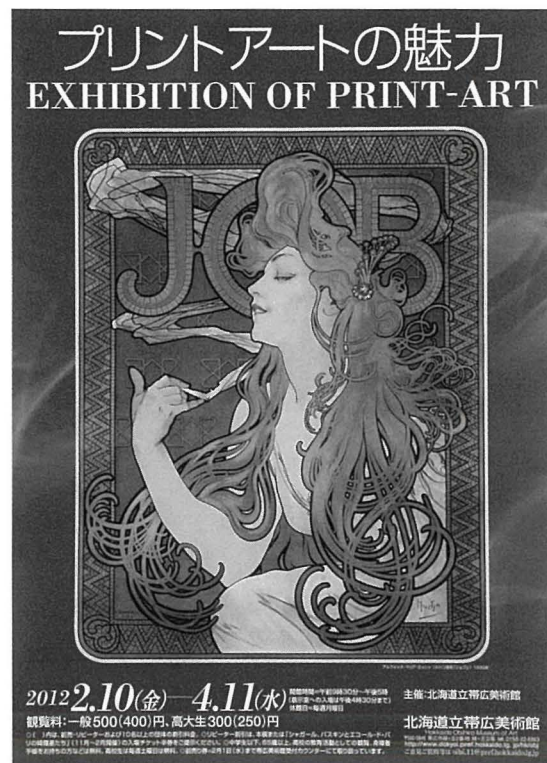
講師＝佐藤由美加(当館主任学芸員)

日時＝3月24日(土) 午後2時～(約30分)

会場＝当館主展示室(要観覧券)

関連記事

佐藤由美加「ほっかいどうアート探訪 中谷有逸『碑(鬼の気
配)』」北海道新聞／2月6日(月)



ポスター

佐藤由美加「おびひろミュージアム通信 『プリントアート』の魅力」釧路新聞／2月27日(月)

北海道立帯広美術館では、美術館の立地する「道東の美術」、バルビゾン派を中心とする「西洋の美術」、そして国内外の版画を中心とした広範な分野の「プリントアート」を収集の柱とし、19世紀フランスを主としたポスター約250点、版画と写真約300点を所蔵している。

産業革命後のヨーロッパでは、資本主義社会の発展にともない、旅行やスポーツ、観劇などの娯楽、さまざまな商品の宣伝

目的のため大型のポスターがさかんに制作された。カラー・リトグラフの技術が、多色刷りの色鮮やかな表現を可能にし、シェレやミュシャらが活躍し、19世紀末には、華やかなポスター芸術の黄金時代を迎える。

そして、今日、版を用いた表現は、多様化し、版画という領域におさまらなくなってきた。従来の版画技法に新たな手法を併用して制作された斬新な作品、写真やコンピューターなど、さまざまな方法の使用によって版表現の可能性を切り開いた作品が次々と生み出されている。

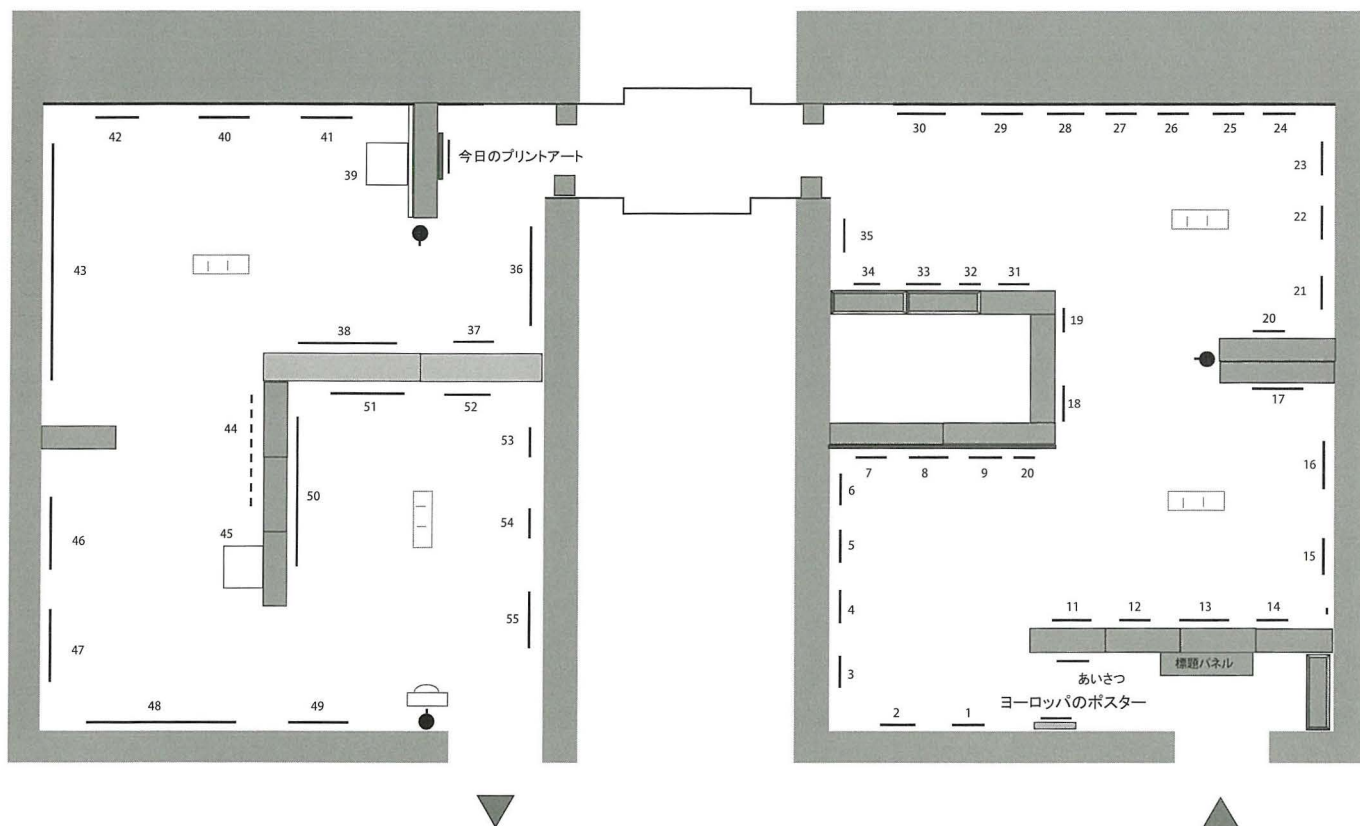
本展では、ヨーロッパのポスターと現代の作品55点により、多様なプリントアートの魅力を紹介した。



会場風景



会場風景



展示図面

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法(cm)
ヨーロッパのポスター					
1	ビエール・ボナール	美術雑誌「版画とポスター」	1897	リトグラフ、紙	83.0×61.0
2	トゥールーズ=ロートレック	ヴィクトル・ジョゼ著「ドイツのバビロン」	1894	リトグラフ、紙	122.0×86.7
3	ジュール・シェレ	帽子の館	1892	リトグラフ、紙	118.5× 83.4
4	ジュール・シェレ	ルーヴル百貨店-1897年新春大売出し	1896	リトグラフ、紙	119.5× 82.0
5	ジュール・シェレ	安全灯油「サクソレーヌ」	1896	リトグラフ、紙	243.5×85.0
6	ジュール・シェレ	グレヴァン博物館（文字刷り前のポスター）	1900	リトグラフ、紙	116.5×84.5
7	アルフォンス・マリア・ミュシャ	タバコ巻紙「ジョブ」	1896	リトグラフ、紙	51.5×39.4
8	アルフォンス・マリア・ミュシャ	タバコ巻紙「ジョブ」	1898	リトグラフ、紙	141.5× 94.0
9	アルフォンス・マリア・ミュシャ	「ロレンザッチオ」ルネサンス座	1897	リトグラフ、紙	97.5×35.9
10	アルフォンス・マリア・ミュシャ	「メディア」ルネサンス座	1898	リトグラフ、紙	201.5× 68.7
11	アルフレッド・シュエブラク	トゥルーヴィルのカジノ、エデン・サロン	1885頃	リトグラフ、紙	130.0×90.5
12	P.ベルトン	ノルマンディ、ブルターニュ-西部鉄道	1895頃	リトグラフ、紙	106.1×78.8
13	ポール・アルペール・ロラーンス	万国博エジプト劇場「ラムセス」	1900	リトグラフ、紙	87.0×153.0
14	ルイ・ガリス	パロン・シネオラマ	1900	リトグラフ、紙	143.5×99.0
15	L.ルフェーヴル	白熱灯「エレクトリシーヌ」-一赤と白	1894	リトグラフ、紙	245.0×86.0
16	マニユエル・オラジ	曲馬場、クリシイ大通り	1900	リトグラフ、紙	216.0×159.0
17	ウジェーヌ・グラッセ	あんず酒「アプリコティース」	1895頃	リトグラフ、紙	109.5×149.5
18	ロベール・ファルキュッチ	服地「ベリー」	1936	リトグラフ、紙	156.2×116.5
19	レイモン・サヴィニャック	アルマニャック（ブランデー）「リスト」	1943	リトグラフ、紙	151.8×109.3
20	オガロ	自転車タイヤ「ミシュラン」	1920頃	リトグラフ、紙	100.0×76.0
21	ルネ・ヴァンサン	自動車「モトブロック」	1927	リトグラフ、紙	154.3×113.2
22	ビエール・ルイス	自動車「シトロエン」	1924	リトグラフ、紙	159.0×117.0
23	カッサンドル	ジャンシアヌ=キナ酒「ボナル」	1933	リトグラフ、紙	154.3×114.5
24	カッサンドル	パリ	1935	リトグラフ、紙	104.0×62.4
25	カッサンドル	北方急行-フランス北部鉄道	1927	リトグラフ、紙	105.9×75.0
26	カッサンドル	ノルマンディー号-トランザトランティック総合会社	1935	リトグラフ、紙	96.7×58.4
26	カッサンドル	フランス北部鉄道	1929	リトグラフ、紙	100.0×62.3
27	レオネット・カビエッロ	食前酒「モーラン・キナ」	1906	リトグラフ、紙	150.3×110.5
28	レオネット・カビエッロ	速乾ペンキ「ニトロリアン」	1929	リトグラフ、紙	152.4×112.8
29	レオネット・カビエッロ	フォワグラ・クリーム女王「金の鶯鳥」	1937	リトグラフ、紙	109.0×154.5
30	L.ビュジット	ラジオ「グラモン」	1935	リトグラフ、紙	101.5×75.5
31	L.ビュジット	ラジオ「グラモン」	1935	リトグラフ、紙	101.5×75.5
32	C.ララード	フィリップ・ブランデー-デュクルテ=トムソン・レコード	1940	リトグラフ、紙	76.0×57.5
33	ルイ・イカル	オペレッタ「ムシュー・ラムール」	1935	リトグラフ、紙	153.1×113.2



7 ミュシャ「タバコ巻紙『ジョブ』」

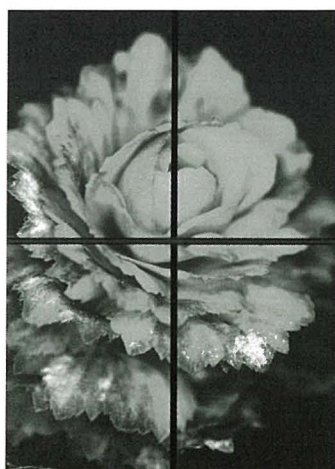


20 オガロ「自転車タイヤ『ミシュラン』」

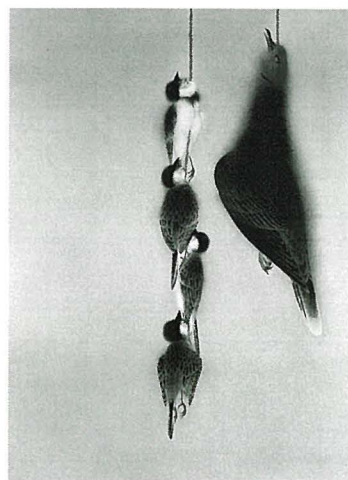
No.	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法(cm)
34	ポール・コラン	ジョセフィン・ベーカー	1925	リトグラフ、紙	80.0×60.0
35	ジャン・コクトー	オルフェの遺言	1959	リトグラフ、紙	160.0×120.0
今日のプリントアート					
36	磯辺行久	江戸障壁	1965 (昭和40)	ミクストメディア (シルクスクリーン、レリーフプリント、紐、アクリル板、木、紙)	202.2×299.0
37	横尾忠則	葬列Ⅱ	1985(昭和60)/オリジナル1969(昭和44)	シルクスクリーン、アクリルプレート	75.2×114.0×9.5
38	巖嘯	オープニング或いは再び田園	1992 (平成4)	シルクスクリーン、紙	105×157.0
39	サム・フランシス	パサディナ・ボックス	1963 ~ 66	リトグラフ、アクリリック、紙	132.5×48.5など (13点組)
40	フランク・ステラ	スワン・エングレイヴィング、ブルー、グリーン、グレー	1985	ミクストメディア (エッチング、レリーフプリント、紙)	169.0×133.0
41	ジョージ・シーガル	前向きの二人の人物	1975	エッチング、アクアチント、紙	85.0×126.5
42	ロイ・リクテンスタイン	睡蓮と雲	1992	シルクスクリーン、ステンレス	167.6×114.3
43	ジェームズ・ローゼンクイスト	F - 111	1974	リトグラフ、シルクスクリーン、紙	92.0×190.8, 92.8×178.0, 92.8×190.8, 92.8×178.0 (4点組)
44	太田三郎	Seed Project	1992-95 (平成4-7)	和紙、種子	各20.4×11.7 (10点組)
45	島 州一	指紋と木目	1976 (昭和51)	シルクスクリーン、角材	11.0×11.0×26.0 など (24点組)
46	中谷有逸	碑 (羅生門)	1996 (平成8)	凹凸併用版、アルミ、銅、鉛、紙	186.4×186.5
47	中谷有逸	碑 (鬼の気配)	1996 (平成8)	凹凸併用版、アルミ、銅、鉛、紐、紙	115.8×160.2
48	一原有徳	ZOM88	1988 (昭和63)	モノタイプ (アルミ版)、鳥の子紙	151.0×425.0
49	池田良二	Space of foggy ocean (海霧の空間)	1990 (平成2)	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ドライポイント、メゾチント、手漉き雁皮	113.5×179.7
50	國安孝昌	Wind Field Project	1994 (平成6)	コピー、鉛筆、紙	各35.2×52.2 (15点組)
51	大浦一志	『杉並区阿佐谷南3丁目23-13 ~ 普賢岳』 (川は水を必要としていた)	1994 (平成6)	ミクストメディア	169.0×225.0
52	岡本和行	Art Nouveau	2009 (平成21)	インクジェットプリント、紙	103.0×72.8
53	森村泰昌	寒雀寒鳩 (御舟)	1990 (平成2)	カラープリント写真、印画紙	132.9×97.8
54	森村泰昌	野菜涅槃 (若冲)	1990 (平成2)	カラープリント写真、印画紙	185.0×100.1
55	デイヴィッド・ホックニー	京都 1993年4月24日	1993	カラー・レーザー・プリント、紙	43.2×160.2

* 寸法は縦×横 (×厚)、または幅×奥行き×高さ。

* 作品はすべて北海道立帯広美術館蔵。



52 岡本和行「Art Nouveau」



53 森村泰昌「寒雀寒鳩 (御舟)」

画家の素顔 パレット&絵画

会期＝平成24年4月20日(金)～6月20日(水) 53日間
主催＝北海道立帯広美術館

企画協力＝公益財団法人 日動美術財団
助成＝芸術文化振興基金

観覧料＝一般800(650)円、高大生500(400)円、小中生250(200)円
高校の教育活動としての観覧、身障者手帳をお持ちの方
などは無料。
()内は、前売り、リピーターおよび10名以上の団体の
割引料金。

関連事業 美術講演会

「知られざる画家の素顔 パレットが語る魅力」

講師＝長谷川徳七氏(日動画廊社長)、長谷川智恵子氏(日動
画廊副社長)

日時＝4月21日(土) 午後2時～4時

会場＝当館講堂(聴講無料)

アート・トーク

「作品とパレット」

講師＝森弘志氏、近藤みどり氏(出品作家)

日時＝5月19日(土) 午後2時～3時

講師＝中西堯昭氏(出品作家)

日時＝6月2日(土) 午後2時30分～3時

会場＝当館主展示室(要観覧券)

キッズ・ミュージアム

「時計・とけい・ウォッチ」

日時＝6月9日(土) 午後2時～4時

会場＝当館講堂(託児無料)

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館ボランティア「しらか
ばの会」

キッズ・ツアー

講師＝佐藤由美加(当館主任学芸員)

日時＝6月16日(土) 午後2時～(約30分)

会場＝当館主展示室(要観覧券)

関連記事

池田緑「編集余録 絵の具の塔」十勝毎日新聞／5月12日(土)

佐藤由美加「おびひろミュージアム通信 色とりどりのパレ
ット」釧路新聞／6月4日(月)

佐藤由美加「画家の素顔 パレット&絵画①～⑤」十勝毎日
新聞／6月4日(月)～8日(金)

茨城県の笠間日動美術館は、国内外の画家たちのパレットを
数多く収集し、一大コレクションを所蔵している。絵画を鑑賞



ポスター

するとき、人は描いた画家がどんな人物なのかを想像する。画家が使うパレットは、絵具の置く色や量、並べ方、パレット自体のかたちや材質に、それぞれのこだわりや個性が出る。また、画家が自らを描いた自画像は、ふだんは作品の陰に隠れた画家の素顔を伝え、ときに自身が意図しない内面を映し出す。

展覧会では、笠間日動美術館のコレクションを中心に、ピカソやダリ、ユトリロ、マティスなどヨーロッパの画家、梅原龍三郎や安井曾太郎ら日本近代洋画の巨匠から現在活躍中の画家まで47作家65点、パレット43点の計108点を紹介した。自画像

も多く含まれ、パレットとともに鑑賞することにより、知られざる画家の素顔を伝えた。ふだんは目にする事のないパレットに見られるそれぞれの作家の個性が、鑑賞者の興味をひいていた。

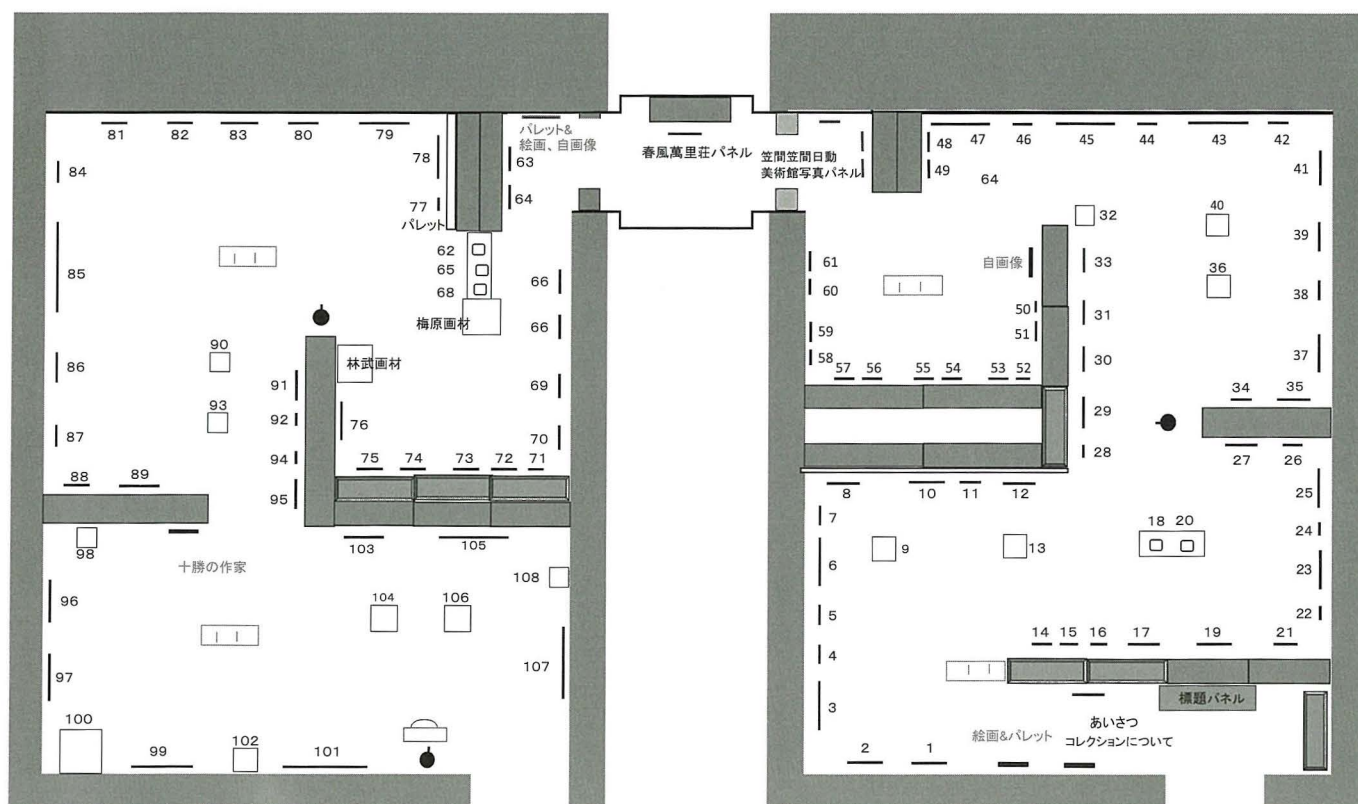
また、帯広美術館所蔵品を展示し、作家とその遺族から借用したパレットをあわせて展示した。会期中には、作家本人によるトークを実施し、自身の制作とパレットについて語ってもらった機会を設けた。



会場風景



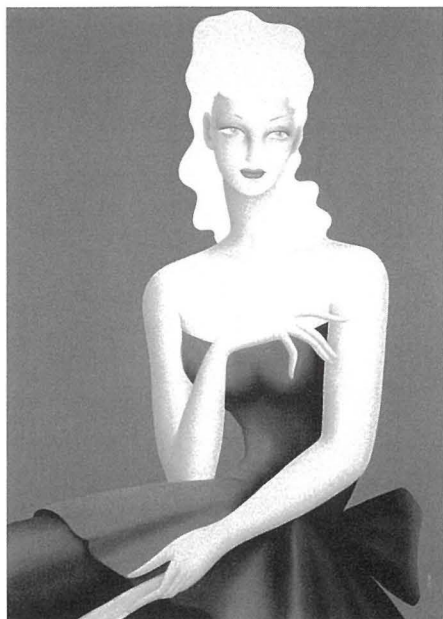
会場風景



展示図面

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)	所蔵先
絵画 & バレット						
1	フランソワーズ・ジロー	バレット				笠間日動美術館
2	フランソワーズ・ジロー	果物のある静物	1952	油彩、カンヴァス	73.2×100.0	笠間日動美術館
3	パブロ・ピカソ	バレット				笠間日動美術館
4	パブロ・ピカソ	画家とバレット	1963	油彩、カンヴァス	61.0×50.0	笠間日動美術館
5	サルバドール・ダリ	ピカソの肖像	1977	リトグラフ、紙	55.0×41.0	笠間日動美術館
6	サルバドール・ダリ	バレット				笠間日動美術館
7	サルバドール・ダリ	『シュルレアリスムの思い出』蝶に囲まれたダリのシュルレアリスム的な肖像	1971	エッチング、リトグラフ、紙	50.5×40.0	北海道立近代美術館
8	ラウル・デュフィ	バレット				笠間日動美術館
9	ラウル・デュフィ	アスコットの観覧席前のパドック	1931	水彩、紙	43.7×53.6	笠間日動美術館
10	モーリス・ユトリロ	バレット				笠間日動美術館
11	モーリス・ユトリロ	プール＝レ＝ゼシャルモ（ローマ）	1934	油彩、カンヴァス	54.0×73.0	笠間日動美術館
12	アンリ・マチス	バレット				笠間日動美術館
13	アンリ・マチス	窓辺にすわる女	1919-20	油彩、カンヴァス	62.2×50.6	笠間日動美術館
14	中山 巍	バレット				笠間日動美術館
15	中山 巍	月と静物	1953（昭和28）	油彩、カンヴァス	80.2×100.0	笠間日動美術館
16	里見勝蔵	バレット				笠間日動美術館
17	里見勝蔵	婦人像		油彩、カンヴァス	72.7×60.6	笠間日動美術館
18	香月泰男	バレット				笠間日動美術館
19	香月泰男	道路標識のある風景	1974（昭和49）	油彩、カンヴァス	64.7×45.7	笠間日動美術館
20	東郷青児	バレット				笠間日動美術館
21	東郷青児	婦人像		油彩、カンヴァス	90.9×72.7	笠間日動美術館
22	田辺三重松	バレット				笠間日動美術館



21 東郷青児「夫人像」



37 諏訪敦「既視感」

No.	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)	所蔵先
23	田辺三重松	昭和新山	1971 (昭和46)	油彩、カンヴァス	91.0×72.8	北海道立近代美術館
24	相原求一朗	パレット				笠間日動美術館
25	相原求一朗	雪の朝	1995 (平成7)	油彩、カンヴァス	72.3×90.8	笠間日動美術館
26	国松 登	パレット				笠間日動美術館
27	国松 登	眼のない魚	1954 (昭和29)	油彩、カンヴァス	91.1×116.5	北海道立近代美術館
28	鳥海青児	パレット				笠間日動美術館
29	鳥海青児	埃及人 (エジプトじん)	1960 (昭和35)	油彩、カンヴァス	72.8×91.0	笠間日動美術館
30	田中忠雄	パレット				笠間日動美術館
31	田中忠雄	われ山にむかいて目をあぐ	1976 (昭和51)	油彩、カンヴァス	41.0×31.8	笠間日動美術館
32	足立源一郎	パレット				笠間日動美術館
33	足立源一郎	滝谷ドーム北壁 (北穂高)		油彩、カンヴァス	73.0×53.0	笠間日動美術館
34	向井潤吉	パレット				笠間日動美術館
35	向井潤吉	小吹雪く日	1987 (昭和62)	油彩、カンヴァス	90.9×116.7	笠間日動美術館
36	諏訪 敦	パレット				笠間日動美術館
37	諏訪 敦	既視感	2004 (平成16)	油彩、カンヴァス	100.0×80.3	笠間日動美術館
38	野田弘志	パレット				笠間日動美術館
39	野田弘志	静物	1982 (昭和57)	油彩、カンヴァス	116.7×91.0	笠間日動美術館
40	森本草介	パレット				笠間日動美術館
41	森本草介	微睡の時	1984 (昭和59)	油彩、カンヴァス	91.0×116.5	笠間日動美術館
42	片岡球子	パレット				笠間日動美術館
43	片岡球子	還城楽	1967 (昭和42)	麻布彩色、紙	162.0×130.0	北海道立近代美術館
44	三岸節子	パレット				笠間日動美術館
45	三岸節子	祝祭	1942 (昭和17)	油彩、カンヴァス	96.6×146.0	笠間日動美術館
46	遠藤彰子	パレット				笠間日動美術館
47	遠藤彰子	訪う	1991 (平成3)	油彩、カンヴァス	130.0×162.0	笠間日動美術館
48	熊谷守一	パレット				笠間日動美術館
49	熊谷守一	たんぽぽに蝶	1960 (昭和35)	油彩、板	33.4×23.9	笠間日動美術館
自画像						
50	萬 鉄五郎	自画像		油彩、紙	33.0×23.0	笠間日動美術館
51	萬 鉄五郎	裸婦	1918 (大正7) 頃	水彩、紙	38.0×27.0	笠間日動美術館
52	福沢一郎	パレット				笠間日動美術館
53	福沢一郎	自画像		油彩、カンヴァス	33.3×24.2	笠間日動美術館
54	佐藤健吾エリオ	空色のシャツ着て	1996 (平成8)	油彩、カンヴァス	27.3×22.0	笠間日動美術館
55	佐藤健吾エリオ	夏の旅路	1994 (平成6)	油彩、カンヴァス	91.0×116.7	笠間日動美術館
56	相笠昌義	70才の自画像	2009 (平成21)	油彩、カンヴァス	33.4×24.3	笠間日動美術館
57	相笠昌義	パレット				笠間日動美術館
58	レオナルド・フジタ	自画像	1924	インク、鉛筆、紙	25.0×20.0	笠間日動美術館
59	レオナルド・フジタ	画家の上着をはおる少女	1955	油彩、カンヴァス	60.6×40.9	笠間日動美術館
60	マルク・シャガール	しかめっ面の自画像	1924-25	エッチング、アクアチント、紙	37.5×27.5	笠間日動美術館
61	マルク・シャガール	『ダフニスとクロエ』 ニンフたちの洞窟での婚礼の祝宴	1957-60	リトグラフ、紙	423×64.3	北海道立近代美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)	所蔵先
パレット & 絵画、自画像						
62	朝井閑右衛門	パレット				笠間日動美術館
63	朝井閑右衛門	自画像	1928 (昭和3)	油彩、紙	37.1×31.7	笠間日動美術館
64	朝井閑右衛門	子供たち (雪) A		油彩、カンヴァス	37.2×59.3	笠間日動美術館
65	中川一政	パレット				笠間日動美術館
66	中川一政	自画像	1987 (昭和62)	墨、着色、紙	38.0×31.3	笠間日動美術館
67	中川一政	薔薇		油彩、カンヴァス	72.7×60.6	笠間日動美術館
68	安井曾太郎	パレット				笠間日動美術館
69	安井曾太郎	自画像	1913 (大正2)	油彩、カンヴァス	46.0×38.0	笠間日動美術館
70	安井曾太郎	実る柿	1937 (昭和12)	油彩、カンヴァス	45.8×65.0	笠間日動美術館
71	梅原龍三郎	パレット				笠間日動美術館
72	梅原龍三郎	自画像	1967 (昭和42)	水彩、紙	33.3×25.3	笠間日動美術館
73	梅原龍三郎	裸婦虎	1931 (昭和6)	油彩、カンヴァス	65.0×80.2	笠間日動美術館
74	林 武	パレット				笠間日動美術館
75	林 武	自画像	1970 (昭和45)	パステル、コンテ、紙	36.4×28.3	笠間日動美術館
76	林 武	三味線	1964 (昭和39)	油彩、カンヴァス	100.0×80.3	笠間日動美術館
77	宮本三郎	パレット				笠間日動美術館
78	宮本三郎	画室の自画像	1968 (昭和43)	油彩、カンヴァス	100×72.7	笠間日動美術館
79	宮本三郎	観客席	1932 (昭和7)	油彩、カンヴァス	115.5×144.8	笠間日動美術館
80	鴨居 玲	パレット				笠間日動美術館
81	鴨居 玲	私の村の酔っ払い	1973 (昭和48) 頃	油彩、カンヴァス	65.3×22.0	笠間日動美術館
82	鴨居 玲	石 (教会)	1974 (昭和49)	油彩、カンヴァス	60.7×50.3	笠間日動美術館
83	鴨居 玲	勲章	1985 (昭和60)	油彩、カンヴァス	116.7×72.7	笠間日動美術館



70 安井曾太郎「実る柿」



85 松樹路人「歳月」

No.	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)	所蔵先
84	松樹路人	パレット				笠間日動美術館
85	松樹路人	歳月	1990 (平成2)	油彩、カンヴァス	181.8×227.3	笠間日動美術館
86	松樹路人	きょうだい	1973 (昭和48)	油彩、カンヴァス	162.1×112.6	笠間日動美術館
87	北川民次	パレット				笠間日動美術館
88	北川民次	画家の肖像	1931 (昭和6)	油彩、カルトン	49.7×40.0	笠間日動美術館
89	北川民次	セトモノ	1965 (昭和40)	油彩、カンヴァス	160.3×128.5	笠間日動美術館
90	脇田 和	パレット				笠間日動美術館
91	脇田 和	赤い鳥と自画像		油彩、カンヴァス	41.0×31.8	笠間日動美術館
92	脇田 和	赤い草つゆ	1986 (昭和61)	油彩、コラージュ、カンヴァス	91.0×72.8	笠間日動美術館
93	渡邊榮一	パレット				笠間日動美術館
94	渡邊榮一	少年王國〈自画像を描くということはおのずから潜在的に潜む眼球から情緒への移項をいみする〉	2011 (平成23)	油彩、カンヴァス	90.9×72.7	笠間日動美術館
95	渡邊榮一	寓話〈鳥たちが目覚めても人間のからくりはもとより、ゆめのからくりすらみることはかなわなかった。〉	2010 (平成22)	油彩、カンヴァス	90.9×65.2	笠間日動美術館
十勝の作家						
96	能勢眞美	自画像	1948 (昭和23)	油彩、カンヴァス	41.4×32.2	北海道立帯広美術館
97	能勢眞美	樹草	1973 (昭和48)	油彩、カンヴァス	97.0×145.5	北海道立帯広美術館
98	能勢眞美	パレット				能勢美智子氏
99	長尾栄三	晩秋の高原	1979 (昭和54)	油彩、カンヴァス	130.1×161.8	北海道立帯広美術館
100	長尾栄三	パレット				長尾フミ子氏
101	中西堯昭	凍林	1988 (昭和63)	油彩、カンヴァス	130.3×162.2	北海道立帯広美術館
102	中西堯昭	パレット				中西 堯昭氏
103	森 弘志	それ、普通	1994-95 (平成6-7)	油彩、カンヴァス	162.4×162.2	北海道立帯広美術館
104	森 弘志	パレット				森 弘志氏
105	近藤みどり	慰する旅人Ⅰ	2004 (平成16)	油彩、カンヴァス	182.0×227.5	北海道立帯広美術館 (近藤みどり氏寄託)
106	近藤みどり	パレット				近藤みどり氏
107	武田伸一	凍土	1966 (昭和41)	油彩、カンヴァス	182.0×229.0	北海道立帯広美術館 (帯広市寄託)
108	武田伸一	パレット				武田良子氏

*寸法は縦×横。

棟方志功展 版に込めた思い

会期＝平成24年6月29日(金)～8月29日(水) 53日間
主催＝北海道立帯広美術館、北海道新聞帯広支社

企画協力＝財団法人棟方志功記念館

観覧料＝一般900(700)円、高大生550(450)円、小中生250(200)円
小中高校の教育活動としての観覧、身障者手帳をお持ちの方などは無料
()内は前売り、リピーターおよび10名以上の団体の割引料金

関連事業

美術講演会

「棟方志功の版画」

講師＝武田公平氏（財団法人棟方志功記念館館長補佐）

日時＝6月30日(土) 午後2時～4時

会場＝当館講堂（聴講無料）

お呈茶

日時＝7月1日(日)	午前11時～午後3時	表千家同門会釧路支部 青年部
8日(日)	午前11時～午後3時	宗偏流帯広支部
15日(日)	午前11時～午後3時	表千家同門会釧路支部 青年部
22日(日)	午前11時～午後3時	肥後古流帯広支部
29日(日)	午前11時～午後3時	裏千家淡交会帯広支部
8月5日(日)	午前11時～午後3時	宗偏流帯広支部
12日(日)	午前11時～午後3時	肥後古流帯広支部
19日(日)	午前11時～午後3時	裏千家淡交会帯広支部
26日(日)	午前11時～午後3時	表千家同門会釧路支部 青年部

会場＝当館ロビー

主催＝帯広美術館ボランティア「しらかばの会」

協力＝北海道立帯広美術館

映写室

「彫る 棟方志功の世界」(38分)

日時＝7月7日(土)、8月25日(土) 午後2時～

会場＝当館講堂（入場無料）

特別展セミナー

「棟方志功と日本の木版画」

講師＝鎌田 享（当館学芸課長）

日時＝7月14日(土)、8月11日(土) 午後2時～3時

会場＝当館講堂（聴講無料）

技法講座

「木版画」

講師＝奥秋広美氏（平原社美術協会会員、北海道美術協会会員）

日時＝7月21日(土)、22日(日) 午後1時30分～4時

会場＝当館講堂、主展示室（参加料1,000円、応募制）



ポスター



図録

キッズ・ツアー

講師＝鎌田 享（当館学芸課長）

日時＝7月28日(土) 午後2時～（約30分）

会場＝当館主展示室（要観覧券）

キッズ・ミュージアム

「紙ぞめあそび（うちわ）」

日時＝8月4日(土) 午後2時～4時

会場＝当館講堂（託児無料）

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館ボランティア「しらかばの会」

図録

規格＝21.0×29.7cm／総頁数64ページ

構成＝あいさつ／棟方志功・略年譜／作品図版・作品解説／出品リスト

関連記事

山本孝人「棟方志功 版画のバラエティー 1～5」北海道新聞／7月3日(火)～7月7日(金)

鎌田享「おびひろミュージアム通信 棟方志功に、つまれる!!」

釧路新聞／7月30日(月)

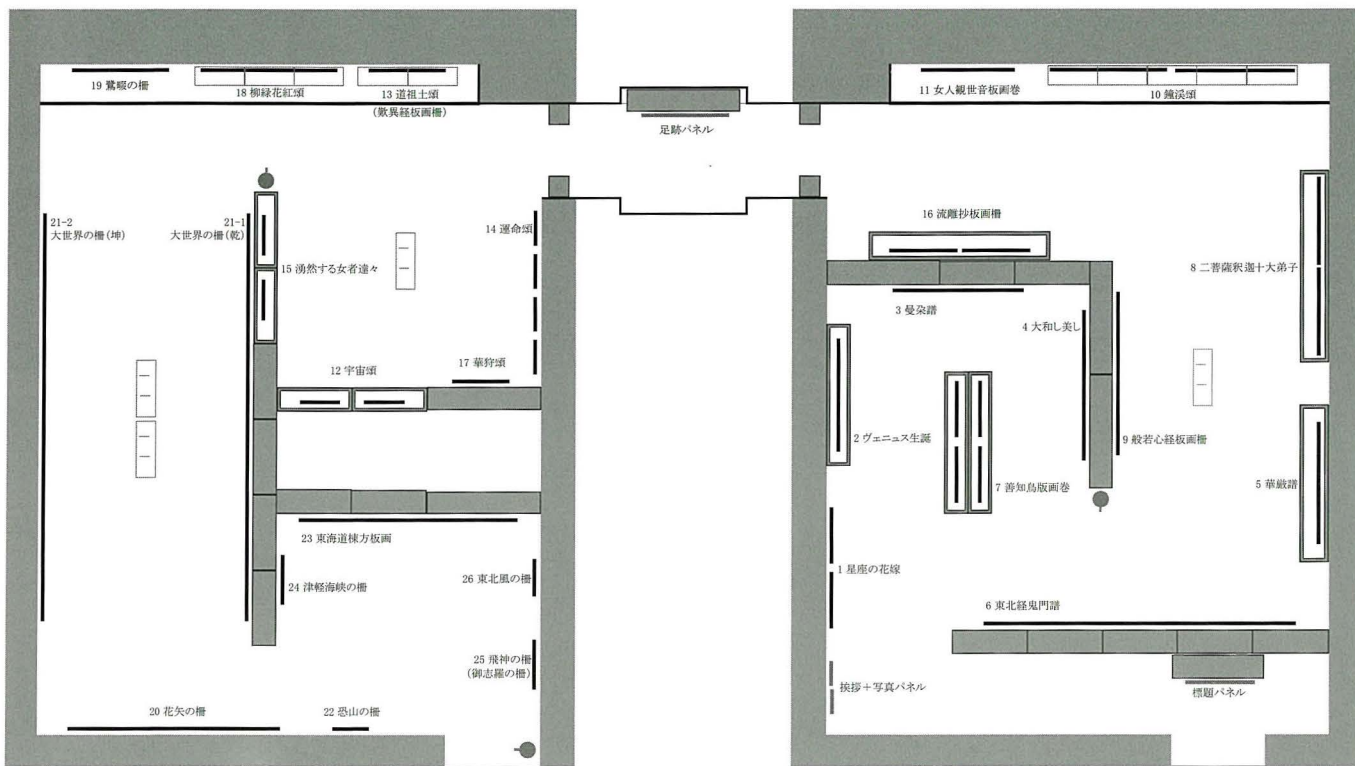
1903（明治36）年青森に生まれた棟方志功は、画家を目指し

て上京するが、やがて自らにより適した表現として木版画の制作に力を注いでいく。1936（昭和11）年には『大和し美し』を発表して注目を集め、その後は美術家や宗教家、文学者との交友を通じて、独自の作品世界を深めていった。さらに戦後になると、数多くの海外展に出品を重ね、1956年の第28回ヴェネツィア・ビエンナーレでは、版画部門の大賞を受賞。日本を代表する美術家として不動の評価を獲得した。

棟方志功は自らの木版画を「板画」、すなわち板の中から生まれた絵画と称した。この展覧会は、棟方芸術の真髄ともいえる板画作品の全貌を、青森市の財団法人棟方志功記念館の所蔵作品によってたどった企画展である。個性豊かな仏弟子の姿を力強く彫り出した代表作『二菩薩釈迦十大弟子』や、岡本かの子の詩に寄せて女性への礼賛を謳った『女人観世音板画卷』など、生涯の代表作26点を紹介。とりわけ、全幅26mの大画面にわたって神と人間の生命感が躍動する『大世界の柵 乾・坤』の展示は、本展の白眉であった。

会期中には、美術講演会・映写室・技法講座をはじめ、帯広美術館ボランティア「しらかばの会」主催で当館ロビーにおいて茶道四流派によるお呈茶を行うなど、多彩な関連事業を実施した。これらのプログラムと棟方作品の訴求力との相乗効果により、8,753名という多数の来館者をむかえた。

なお本展は、帯広会場終了後の9月15日(土)から11月7日(火)まで、函館市の北海道立函館美術館において、12作品を追加のうえ開催された。



展示図面



会場風景



会場風景

出品目録

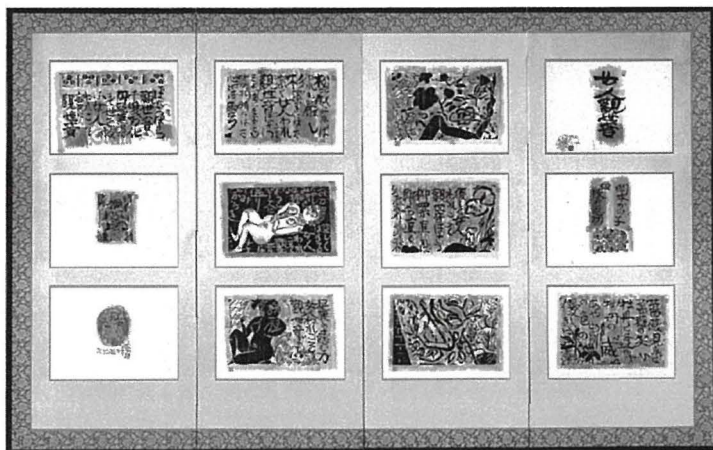
No.	作品名	点数	制作年	技法材質	寸法 (cm)	装丁
1	版画集 星座の花嫁	10図	1928-30 (昭和3-5) 1931 (昭和6) 刊行	木版 (多色摺)、紙	8.8×19.5 他	額
	- 1 〈聖堂に並ぶ三貴女〉 1928 (昭和3)			- 2 〈貴女等・聖堂を出づる〉 1928 (昭和3)	17.0×10.8	
	- 3 〈貴女等・箒星を観る〉 1928 (昭和3)			- 4 〈星座の絵〉 1928 (昭和3)	17.9×18.2	
	- 5 〈花か蝶々か〉 1929 (昭和4)			- 6 〈貴婦人と蝶々〉 1929 (昭和4)	9.7×12.8	
	- 7 〈ベチレヘムに聖星を観る〉 1930 (昭和5)			- 8 〈貴女行路〉 1930 (昭和5)	12.0×16.0	
	- 9 〈貴女・裳を引く〉 1930 (昭和5)			- 10 〈蔵書票〉 1930 (昭和5)	6.2×8.6	
2	ヴェニウス生誕	9図	1934 (昭和9)	木版 (墨摺)、彩色、紙	各21.0×15.5	折本 (1冊)
	- 1 〈表〉			- 2 〈乳房〉		
	- 3 〈ダンテルの渚〉			- 4 〈飛行絨緞〉		
	- 5 〈或る数字〉			- 6 〈溺死〉		
	- 7 〈ヴェニウス生誕〉			- 8 〈かの女の帯〉		
	- 9 〈裏〉					
3	萬葉譜	7冊+表題	1935 (昭和10)	木版 (墨摺)、紙	各42.9×39.6	額
	- 1 〈表題〉			- 2 〈矢車花の欄〉		
	- 3 〈藤の花の欄〉			- 4 〈杜若花の欄〉		
	- 5 〈松の欄〉			- 6 〈竹の欄〉		
	- 7 〈梅の欄〉			- 8 〈桜の欄〉		
4	大和し美し	5冊	1936 (昭和11) 1939 (昭和14) 摺	木版 (墨摺)、彩色、紙	各24.2×34.8	額
	- 1 〈矢燕の欄〉			- 2 〈焰の欄〉		
	- 3 〈倭建命の欄〉			- 4 〈藻草の欄〉		
	- 5 〈身胸の欄〉					
5	華嚴譜	24冊	1936 (昭和11)	木版 (墨摺)、紙	各32.5×42.0	屏風 (六曲一隻)
	- 1 〈扉の欄〉			- 2 〈目次の欄〉		
	- 3 〈日出の欄〉			- 4 〈日神の欄〉		
	- 5 〈女神の欄〉			- 6 〈山神の欄〉		
	- 7 〈雷神の欄〉			- 8 〈阿修羅王の欄〉		
	- 9 〈不動明王の欄〉			- 10 〈薬師如来の欄〉		
	- 11 〈文殊菩薩の欄〉			- 12 〈阿弥陀如来の欄〉		
	- 13 〈毘盧遮那仏の欄〉			- 14 〈釈迦如来の欄〉		
	- 15 〈普賢菩薩の欄〉			- 16 〈大日如来の欄〉		
	- 17 〈愛染明王の欄〉			- 18 〈夜叉王の欄〉		
	- 19 〈風神の欄〉			- 20 〈海神の欄〉		
	- 21 〈母神の欄〉			- 22 〈月神の欄〉		
	- 23 〈日没の欄〉			- 24 〈終わりの欄〉		
6	東北経鬼門譜		1937 (昭和12)	木版 (墨摺)、紙	122.5×990.5	パネル

No. 作品名	点数	制作年	技法材質	寸法 (cm)	装丁
7 善知鳥版画巻	31冊	1938 (昭和13)	木版 (墨摺)、紙	24.0×6.5 他	卷子 (4巻)
- 1 〈扉の欄〉 24.0×6.5			- 2 〈座鬼の欄〉 26.2×29.5		
- 3 〈禪定の欄〉 21.2×28.4			- 4 〈血滴の欄〉 26.3×29.5		
- 5 〈蓑笠の欄〉 25.8×28.5			- 6 〈邂逅の欄〉 24.5×30.5		
- 7 〈北下の欄〉 24.0×30.9			- 8 〈夜訪の欄〉 25.9×28.8		
- 9 〈陸奥の欄〉 26.0×28.6			- 10 〈呼掛の欄〉 25.9×28.4		
- 11 〈順路の欄〉 27.5×28.2			- 12 〈妻子の欄〉 22.7×28.8		
- 13 〈白蓮の欄〉 23.6×30.2			- 14 〈出離の欄〉 19.0×28.6		
- 15 〈風乗の欄〉 24.0×29.0			- 16 〈夫霊の欄〉 21.6×28.8		
- 17 〈妻立の欄〉 21.7×29.9			- 18 〈童子の欄〉 23.0×29.0		
- 19 〈籬鳥の欄〉 24.2×28.0			- 20 〈外ヶ浜の欄〉 23.0×29.8		
- 21 〈隠蓑の欄〉 23.1×28.3			- 22 〈山越の欄〉 23.6×28.8		
- 23 〈浪声の欄〉 19.7×28.8			- 24 〈鉄嘴の欄〉 24.3×31.2		
- 25 〈連枝の欄〉 20.3×28.6			- 26 〈砂州の欄〉 22.8×28.4		
- 27 〈射矢の欄〉 22.7×28.6			- 28 〈善知鳥の欄〉 23.9×32.8		
- 29 〈責苦の欄〉 23.9×32.8			- 30 〈成道の欄〉 25.0×30.3		
- 31 〈終わりの欄〉 24.2×28.8					
8 二菩薩釈迦十大弟子	12冊	1939 (昭和14) 1948 (昭和23) 一部改刻 1967 (昭和42) 摺	木版 (墨摺)、紙	各101.5×38.0	屏風 (六曲一双)
- 1 〈文殊菩薩の欄 (改刻)〉			- 2 〈迦旃延の欄〉		
- 3 〈富樓那の欄〉			- 4 〈阿那律の欄〉		
- 5 〈阿難陀の欄〉			- 6 〈羅睺羅の欄〉		
- 7 〈優婆塞の欄〉			- 8 〈舍利弗の欄〉		
- 9 〈摩訶迦葉の欄〉			- 10 〈須菩提の欄〉		
- 11 〈目犍連の欄〉			- 12 〈普賢菩薩の欄 (改刻)〉		
9 般若心経板画欄	11冊	1941 (昭和16)	木版 (墨摺)、紙	各24.2×33.4	額
- 1 〈観自在の欄〉			- 2 〈一切苦の欄〉		
- 3 〈色不異空の欄〉			- 4 〈空不異色の欄〉		
- 5 〈三世諸仏の欄〉			- 6 〈是大神咒の欄〉		
- 7 〈是大明咒の欄〉			- 8 〈羯諦羯諦の欄〉		
- 9 〈般若心経の欄〉			- 10 〈欠題〉		
- 11 〈欠題〉					
10 鐘溪頌	24冊	1945 (昭和20) 1969 (昭和44) 摺	木版 (墨摺)、彩色、紙	各45.4×32.7	屏風 (六曲一双)
- 1 〈此岸の欄〉			- 2 〈祭巴の欄〉		
- 3 〈若栗の欄〉			- 4 〈雷紋の欄〉		
- 5 〈倭桜の欄〉			- 6 〈乞使の欄〉		
- 7 〈唐衣の欄〉			- 8 〈古布の欄〉		
- 9 〈瓢箪の欄〉			- 10 〈鯉族の欄〉		
- 11 〈牡丹の欄〉			- 12 〈竜胆の欄〉		
- 13 〈中岸の欄〉			- 14 〈朝菊の欄〉		
- 15 〈夜降の欄〉			- 16 〈菩提の欄〉		
- 17 〈薔薇の欄〉			- 18 〈鴛鴦の欄〉		
- 19 〈阿王の欄〉			- 20 〈風聞の欄〉		
- 21 〈貝族の欄〉			- 22 〈竜巻の欄〉		
- 23 〈沙羅双樹の欄〉			- 24 〈彼岸の欄〉		
11 女人観世音板画巻	12冊	1949 (昭和24) 1969 (昭和44) 摺	木版 (墨摺)、彩色、紙	各29.5×45.0	屏風 (四曲一隻)
- 1 〈表の欄〉			- 2 〈扉の欄〉		
- 3 〈優色の欄〉			- 4 〈牡丹の欄〉		
- 5 〈柳絮の欄〉			- 6 〈松巖の欄〉		
- 7 〈潔女の欄〉			- 8 〈仰向妃の欄〉		
- 9 〈振向妃の欄〉			- 10 〈無碍の欄〉		
- 11 〈双魚の欄〉			- 12 〈裏の欄〉		
12 宇宙頌	2冊	1949 (昭和24) 1953 (昭和28) 改刻 1959 (昭和34) 摺	木版 (墨摺)、彩色、紙	各106.2×99.8	軸 (双幅)
- 1 〈東西の欄〉			- 2 〈南北の欄〉		
13 道祖土頌 (歎異経板画欄)	12冊	1950 (昭和25)	木版 (墨摺)、紙	各68.4×34.4	屏風 (二曲一隻)
- 1 〈不動の欄〉			- 2 〈眠童の欄〉		
- 3 〈緋の欄〉			- 4 〈孔雀の欄〉		
- 5 〈河伯の欄〉			- 6 〈莞爾の欄〉		
- 7 〈濡々の欄〉			- 8 〈醒女の欄〉		
- 9 〈愛染の欄〉			- 10 〈巴文の欄〉		
- 11 〈縄の欄〉			- 12 〈馬頭の欄〉		

No. 作品名	点数	制作年	技法材質	寸法 (cm)	装丁
14 運命頌 - 1 〈黎明の柵〉 - 3 〈夕宵の柵〉	4柵	1951 (昭和26)	木版 (墨摺)、紙 - 2 〈真昼の柵〉 - 4 〈深夜の柵〉	各87.5×88.5	
15 湧然する女者達々 - 1 〈湧然の柵〉	2柵	1953 (昭和28)	木版 (墨摺)、紙 - 2 〈没然の柵〉	各92.5×104.5	軸 (双幅)
16 流離抄板画柵 - 1 〈山火の柵〉 - 3 〈石踞の柵〉 - 5 〈獅子窟の柵〉 - 7 〈愛壺の柵〉 - 9 〈哀色の柵〉 - 11 〈広鱈の柵〉 - 13 〈空海の柵〉 - 15 〈石仏の柵〉 - 17 〈紫煙草舎の柵〉 - 19 〈天狗の柵〉 - 21 〈焚燐の柵〉 - 23 〈澄愁の柵〉	24柵	1953 (昭和28)	木版 (墨摺)、彩色、紙 - 2 〈万葉の柵〉 - 4 〈かにかくにの柵〉 - 6 〈微笑の柵〉 - 8 〈夢殿の柵〉 - 10 〈とうたらの柵〉 - 12 〈屏風の柵〉 - 14 〈寒山拾得の柵〉 - 16 〈角屋の柵〉 - 18 〈首陀羅の柵〉 - 20 〈深々の柵〉 - 22 〈悟空の柵〉 - 24 〈孤狼の柵〉	各32.4×26.3	屏風 (二曲一双)
17 華狩頌		1954 (昭和29)	木版 (墨摺)、紙	132.0×158.0	パネル
18 柳緑花紅頌 - 1 〈松鷹の柵：1月〉 - 3 〈春麗の柵：3月〉 - 5 〈鯉顔の柵：5月〉 - 7 〈彩雀の柵：7月〉 - 9 〈菖菊の柵：9月〉 - 11 〈侘助の柵：11月〉	12柵	1955 (昭和30) 1958 (昭和33) 摺	木版 (墨摺)、紙 - 2 〈梅鶯の柵：2月〉 - 4 〈菖羅の柵：4月〉 - 6 〈躑躅の柵：6月〉 - 8 〈菖蓮の柵：8月〉 - 10 〈楓兎の柵：10月〉 - 12 〈雪萃の柵：12月〉	各46.0×46.2	屏風 (六曲一隻)
19 鷺暖の柵		1960 (昭和35)	木版 (墨摺)、紙	135.0×255.0	屏風 (四曲一隻)
20 花矢の柵		1961 (昭和36)	木版 (墨摺)、紙	215.0×668.0	パネル
21 大世界の柵 乾・坤	2柵	1963 (昭和38) 1969 (昭和44)	木版 (墨摺)、紙	各175.4× 1284.0	パネル
22 恐山の柵		1963 (昭和38) 1964 (昭和39) 摺	木版 (墨摺)、彩色、紙	70.2×91.0	額
23 東海道棟方板画 - 1 〈東京：橋央里程元標の柵〉48.2×38.1 - 3 〈蒲原：街掘割の柵〉36.8×45.5 - 5 〈興津：眺山門の柵〉36.8×45.5 - 7 〈静岡：庁国旗の柵〉36.8×45.5 - 9 〈舞坂：貝垣段堀の柵〉48.2×38.1 - 11 〈京都：雪舞台の柵〉48.2×38.1	12柵	1964 (昭和39)	木版 (墨摺)、彩色、紙 - 2 〈原：裾一文字の柵〉36.8×45.5 - 4 〈由比：海工事の柵〉48.2×38.1 - 6 〈清水：港暮色の柵〉48.2×38.1 - 8 〈丸子：吐峯騷雲の柵〉48.2×38.1 - 10 〈知立：杜若祭の柵〉36.8×45.5 - 12 〈大阪：街心雑踏の柵〉48.2×38.1	36.8×45.5または 48.2×38.1	額
24 津軽海峡の柵		1965 (昭和40)	木版 (墨摺)、紙	103.6×129.0	
25 飛神の柵 (御志羅の柵)		1968 (昭和43)	木版 (墨摺)、彩色、紙	105.0×140.0	
26 東北風の柵		1969 (昭和44)	木版 (墨摺)、彩色、紙	65.5×86.0	

*寸法は縦×横。

*作品はすべて財団法人棟方志功記念館蔵。



11 「女人観世音板画巻」



12-1 「宇宙頌」より「東西の柵」

オブ・アート展 眼の中で、うごく絵。

会期＝平成24年9月7日(金)～11月7日(水) 54日間
主催＝北海道立帯広美術館

協力＝北海道立近代美術館

観覧料＝一般700(550)円、高大生400(300)円、小中生200(150)円
小中高校の教育活動としての観覧、身障者手帳をお持ちの方などは無料
()内は前売り、リピーターおよび10名以上の団体の割引料金

関連事業

美術講演会

「オプティカル・アートの秘密をさぐる」

講師＝杉原厚吉氏（明治大学先端数理科学研究科特任教授）

日時＝9月22日（土・祝） 午後2時～4時

会場＝当館講堂（聴講無料）

ギャラリー・ツアー

講師＝石尾乃里子（当館学芸員）

日時＝9月29日(土)、10月13日(土) 各日午後2時～（約40分）

会場＝当館主展示室（要観覧券）

キッズ・ツアー

講師＝石尾乃里子（当館学芸員）

日時＝10月27日(土) 午後2時～（約30分）

会場＝当館主展示室（要観覧券）

キッズ・ミュージアム

「ゆれるアート」

日時＝11月3日（土・祝） 午後2時～4時

会場＝当館講堂（託児無料）

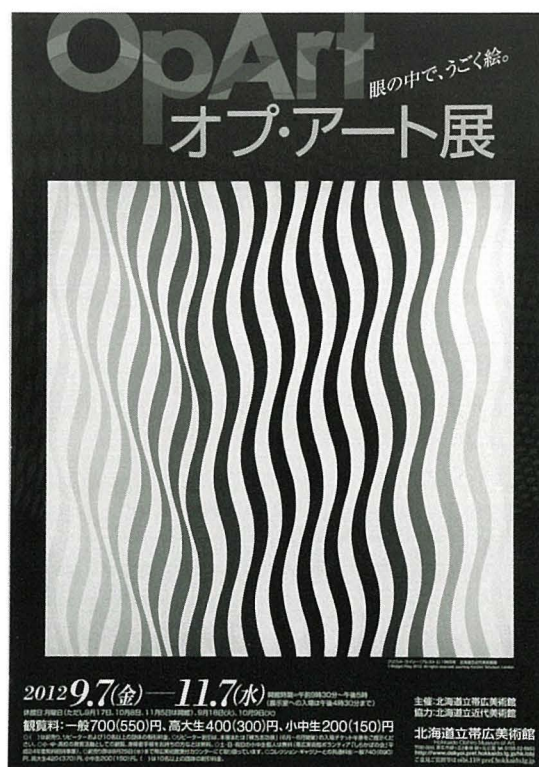
主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館ボランティア「しらかばの会」

関連記事

石尾乃里子「おびひろミュージアム通信 展覧会とキャッチコピー」釧路新聞／9月17日(月)

「とかちフォトギャラリー 『立体』『動く』不思議な絵」北海道新聞（帯広・十勝版 朝刊）／10月31日(水)

オブ・アート（Optical Artの略称）は、錯視効果の特徴とする幾何学的な抽象作品を指す。20世紀後半の欧米諸国で誕生し、1960年代後半以降一大ブームを起したことで知られる。色彩理論や形態の構成にまつわる熱心な研究に基づいて制作されたオブ・アート作品は、平面であるにもかかわらず三次元の立体のようにみえたり、静止しているのに揺れ動いているようにみえたり、絵具の彩色だけなのに光が明滅しているようにみえたりするなど、観者の視覚と心を惑わせる独自の表現世界をつくりあげている。3DやVR（バーチャル・リアリティ）などデジタル技術を駆使した映像が身近なものとなった今日、あら



ポスター

ためて視覚表現と鑑賞体験の根幹を問い直す作品群ともいえるだろう。

本展ではオブ・アートを代表する作家6名の作品81点を展覧した。展示にあたっては、オブ・アートの誕生に大きな契機を与えたジョーゼフ・アルバースの版画集《フォーミュレーション：アーティキュレーション》に焦点をあてる「オブ・アートへの扉」、オブ・アートの本格的な胎動のなかで生み出された

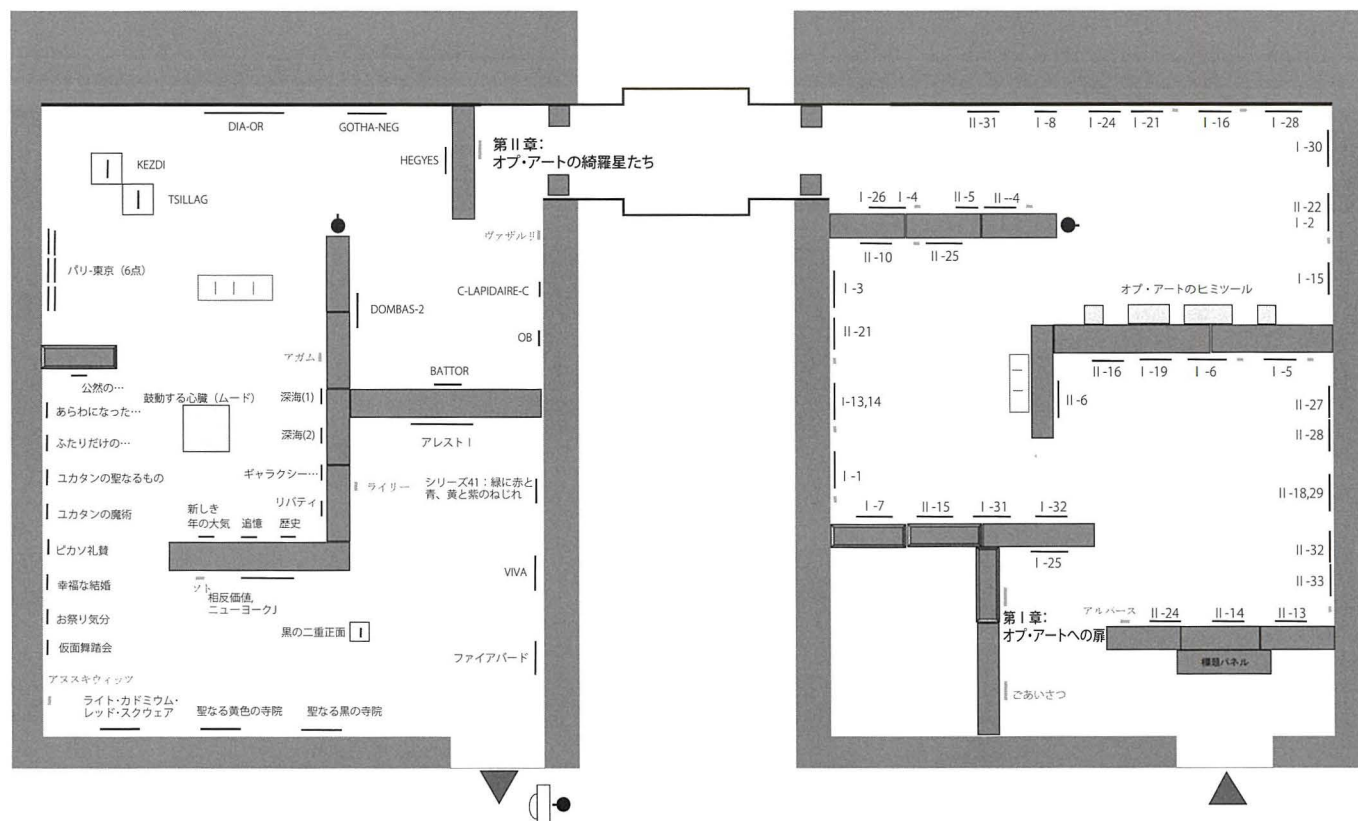
作品を紹介する「オブ・アートの綺羅星たち」の2章構成としたほか、展示室の一角に「オブ・アートのヒミツツール」と題した体験ツールを設け、来館者が展示作品への理解を得る手立てとした。会期中は親子連れや若者が多く訪れ、5,337名の観覧者を迎えた。広い層の人々に現代作品のたのしさにふれていただく良い機会となったと考えられる。



会場風景



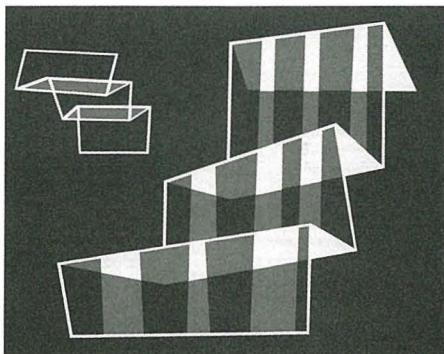
会場風景



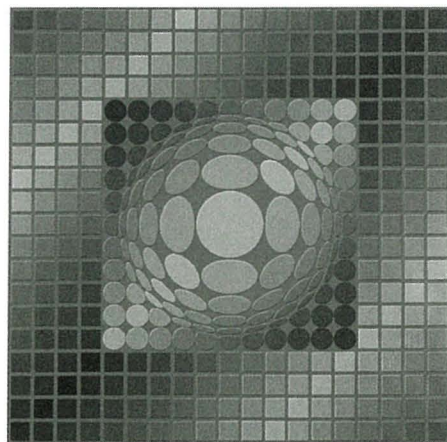
展示図面

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)
第I章：オブ・アートへの扉					
1	ジョーゼフ・アルバース	フォーミュレーション：アーティキュレーション	I-25 1972	シルクスクリーン、紙	左：38.2×24.5 / 右：32.9×24.2 (2点)
2	ジョーゼフ・アルバース	フォーミュレーション：アーティキュレーション	II-24 1972	シルクスクリーン、紙	各25.5×25.5 (2点)
3	ジョーゼフ・アルバース	フォーミュレーション：アーティキュレーション	II-14 1972	シルクスクリーン、紙	各25.4×25.4 (2点)
4	ジョーゼフ・アルバース	フォーミュレーション：アーティキュレーション	II-13 1972	シルクスクリーン、紙	各25.4×25.4 (2点)
5	ジョーゼフ・アルバース	フォーミュレーション：アーティキュレーション	II-33 1972	シルクスクリーン、紙	各30.1×30.1 (2点)
6	ジョーゼフ・アルバース	フォーミュレーション：アーティキュレーション	II-32 1972	シルクスクリーン、紙	各30.1×30.1 (2点)
7	ジョーゼフ・アルバース	フォーミュレーション：アーティキュレーション	II-29 1972	シルクスクリーン、紙	各23.5×35.5 (2点)
8	ジョーゼフ・アルバース	フォーミュレーション：アーティキュレーション	II-18 1972	シルクスクリーン、紙	29.3×40.9
9	ジョーゼフ・アルバース	フォーミュレーション：アーティキュレーション	II-28 1972	シルクスクリーン、紙	各17.6×17.6 (4点)
10	ジョーゼフ・アルバース	フォーミュレーション：アーティキュレーション	II-27 1972	シルクスクリーン、紙	各17.5×17.5 (4点)
11	ジョーゼフ・アルバース	フォーミュレーション：アーティキュレーション	I-5 1972	シルクスクリーン、紙	各25.4×25.4 (2点)
12	ジョーゼフ・アルバース	フォーミュレーション：アーティキュレーション	I-6 1972	シルクスクリーン、紙	各33.0×19.1 (4点)
13	ジョーゼフ・アルバース	フォーミュレーション：アーティキュレーション	I-19 1972	シルクスクリーン、紙	各30.0×30.0 (2点)
14	ジョーゼフ・アルバース	フォーミュレーション：アーティキュレーション	II-16 1972	シルクスクリーン、紙	各31.2×43.8 (2点)
15	ジョーゼフ・アルバース	フォーミュレーション：アーティキュレーション	II-6 1972	シルクスクリーン、紙	各30.7×37.3 (2点)
16	ジョーゼフ・アルバース	フォーミュレーション：アーティキュレーション	I-32 1972	シルクスクリーン、紙	各33.1×44.8 (2点)
17	ジョーゼフ・アルバース	フォーミュレーション：アーティキュレーション	I-31 1972	シルクスクリーン、紙	左：21.8×32.8 / 右：33.0×21.2 (2点)
18	ジョーゼフ・アルバース	フォーミュレーション：アーティキュレーション	II-15 1972	シルクスクリーン、紙	左：33.0×44.7 / 右：33.0×40.8 (2点)
19	ジョーゼフ・アルバース	フォーミュレーション：アーティキュレーション	I-7 1972	シルクスクリーン、紙	左：23.8×37.5 / 右：28.8×37.0 (2点)
20	ジョーゼフ・アルバース	フォーミュレーション：アーティキュレーション	I-1 1972	シルクスクリーン、紙	各25.5×31.8 (2点)
21	ジョーゼフ・アルバース	フォーミュレーション：アーティキュレーション	I-13 1972	シルクスクリーン、紙	左：25.5×38.3 / 右：25.5×40.1 (2点)
22	ジョーゼフ・アルバース	フォーミュレーション：アーティキュレーション	I-14 1972	シルクスクリーン、紙	20.5×38.3
23	ジョーゼフ・アルバース	フォーミュレーション：アーティキュレーション	II-21 1972	シルクスクリーン、紙	各32.7×43.8 (2点)
24	ジョーゼフ・アルバース	フォーミュレーション：アーティキュレーション	I-3 1972	シルクスクリーン、紙	各23.0×45.6 (2点)



20 アルバース
「フォーミュレーション：アーティキュレーションI-1」より



44 ヴァザリリ「DOMBAS-2」

No.	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)
25	ジョーゼフ・アルパース	フォーミュレーション：アーティキュレーション	II-10 1972	シルクスクリーン、紙	各30.9×39.9 (2点)
26	ジョーゼフ・アルパース	フォーミュレーション：アーティキュレーション	II-25 1972	シルクスクリーン、紙	各29.8×32.6 (2点)
27	ジョーゼフ・アルパース	フォーミュレーション：アーティキュレーション	I-15 1972	シルクスクリーン、紙	各30.1×30.1 (2点)
28	ジョーゼフ・アルパース	フォーミュレーション：アーティキュレーション	II-22 1972	シルクスクリーン、紙	33.2×38.7
29	ジョーゼフ・アルパース	フォーミュレーション：アーティキュレーション	I-2 1972	シルクスクリーン、紙	25.4×30.7
30	ジョーゼフ・アルパース	フォーミュレーション：アーティキュレーション	I-30 1972	シルクスクリーン、紙	左：24.5×28.0 / 右：31.9×34.3 (2点)
31	ジョーゼフ・アルパース	フォーミュレーション：アーティキュレーション	I-28 1972	シルクスクリーン、紙	各31.8×33.2 (2点)
32	ジョーゼフ・アルパース	フォーミュレーション：アーティキュレーション	I-16 1972	シルクスクリーン、紙	各30.8×16.6 (4点)
33	ジョーゼフ・アルパース	フォーミュレーション：アーティキュレーション	I-21 1972	シルクスクリーン、紙	左：33.0×33.3 / 右：30.7×34.0 (2点)
34	ジョーゼフ・アルパース	フォーミュレーション：アーティキュレーション	I-24 1972	シルクスクリーン、紙	左：28.7×29.6 / 右：28.7×36.4 (2点)
35	ジョーゼフ・アルパース	フォーミュレーション：アーティキュレーション	I-8 1972	シルクスクリーン、紙	15.9×44.0
36	ジョーゼフ・アルパース	フォーミュレーション：アーティキュレーション	II-31 1972	シルクスクリーン、紙	左：25.6×44.8 / 右：15.3×26.7 (2点)
37	ジョーゼフ・アルパース	フォーミュレーション：アーティキュレーション	II-4 1972	シルクスクリーン、紙	各30.1×30.1 (2点)
38	ジョーゼフ・アルパース	フォーミュレーション：アーティキュレーション	II-5 1972	シルクスクリーン、紙	30.1×30.1
39	ジョーゼフ・アルパース	フォーミュレーション：アーティキュレーション	I-4 1972	シルクスクリーン、紙	30.5×36.2
40	ジョーゼフ・アルパース	フォーミュレーション：アーティキュレーション	I-26 1972	シルクスクリーン、紙	31.5×31.5

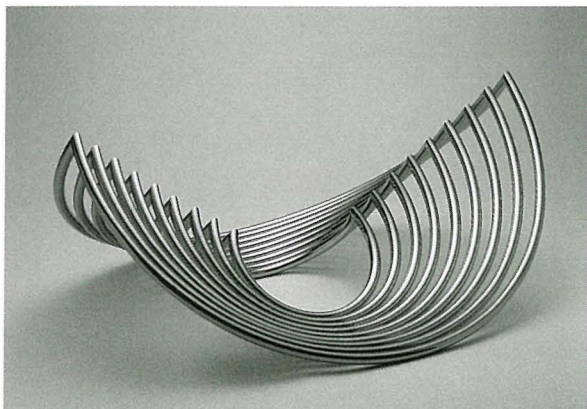
第Ⅱ章：オブ・アートの綺羅星たち

41	ヴィクトル・ヴァザルリ	C-LAPIDAIRE-C	1962	コラージュ、紙	16.5×16.5
42	ヴィクトル・ヴァザルリ	OB	1955	油彩、板	32.0×23.5
43	ヴィクトル・ヴァザルリ	BATTOR	1977	アクリル絵具、キャンバス	157.0×85.0
44	ヴィクトル・ヴァザルリ	DOMBAS-2	1974	アクリル絵具、キャンバス	115.0×115.0
45	ヴィクトル・ヴァザルリ	HEGYES	1964	コラージュ、アクリル絵具、紙	67.0×67.0
46	ヴィクトル・ヴァザルリ	GOTHA-NEG	1958-78	アクリル絵具、キャンバス	195.0×131.0
47	ヴィクトル・ヴァザルリ	DIA-OR	1974	木綿、羊毛、ゴブラン織	252.0×254.0
48	ヴィクトル・ヴァザルリ	KEZDI	1989	アクリル絵具、木	64.0×7.8×66.5
49	ヴィクトル・ヴァザルリ	TSILLAG	1990	アクリル絵具、木	60.7×8.1×52.9
50	ヴィクトル・ヴァザルリ	パリ-東京 VI. TUPA-TU	1980	シルクスクリーン、紙	51.8×52.0
51	ヴィクトル・ヴァザルリ	パリ-東京 IV. TAKAT	1980	シルクスクリーン、紙	51.8×52.0
52	ヴィクトル・ヴァザルリ	パリ-東京 V. TRIBOSS	1980	シルクスクリーン、紙	52.0×51.8
53	ヴィクトル・ヴァザルリ	パリ-東京 III. SILVA	1980	シルクスクリーン、紙	51.9×52.0
54	ヴィクトル・ヴァザルリ	パリ-東京 II. BI-OCTANS	1980	シルクスクリーン、紙	51.8×51.8
55	ヴィクトル・ヴァザルリ	パリ-東京 I. AUDARD	1980	シルクスクリーン、紙	52.0×52.0
56	ヤーコブ・アガム	鼓動する心臓 (ムード)	1972	ステンレススチール	57.2×102.0×57.5
57	ヤーコブ・アガム	深海 (1)	1971	リトグラフ、アクリル、紙	26.2×38.0
58	ヤーコブ・アガム	深海 (2)	1971	リトグラフ、アクリル、紙	26.2×38.0
59	ヤーコブ・アガム	ギャラクシー・フェスティバル	1980	リトグラフ、アクリル、紙	35.5×35.5

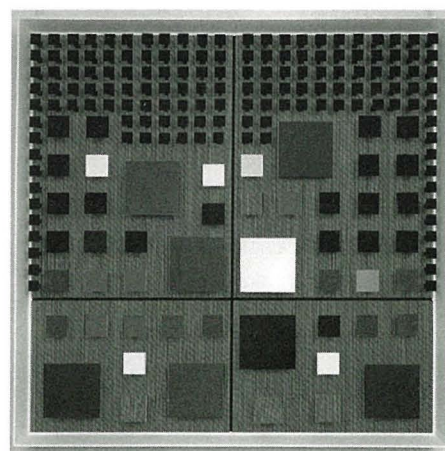
No.	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)
60	ヤーコブ・アガム	リバティ No.5	1980	リトグラフ、アクリル、紙	35.5×35.5
61	ヤーコブ・アガム	『記憶』時の歩み—歴史	1989	リトグラフ、アクリル、紙	27.3×32.8
62	ヤーコブ・アガム	『記憶』時の歩み—追憶	1989	リトグラフ、アクリル、紙	27.3×32.9
63	ヤーコブ・アガム	新しき年の大気	1989	リトグラフ、アクリル、紙	28.2×33.6
64	ヤーコブ・アガム	公然の小さな秘密	1989	リトグラフ、アクリル、紙	27.5×34.7
65	ヤーコブ・アガム	あらわになった小さな秘密	1989	リトグラフ、アクリル、紙	27.4×34.6
66	ヤーコブ・アガム	ふたりだけの小さな秘密	1989	リトグラフ、アクリル、紙	27.5×34.6
67	ヤーコブ・アガム	メキシコ「ユカタンの聖なるもの」	1990	リトグラフ、アクリル、紙	32.2×33.4
68	ヤーコブ・アガム	メキシコ「ユカタンの魔術」	1990	リトグラフ、アクリル、紙	32.3×33.5
69	ヤーコブ・アガム	ピカソ礼賛	1990	リトグラフ、アクリル、紙	29.8×29.8
70	ヤーコブ・アガム	幸福な結婚	1990	リトグラフ、アクリル、紙	34.6×31.8
71	ヤーコブ・アガム	『祝祭』お祭り気分	1990	リトグラフ、アクリル、紙	28.3×31.4
72	ヤーコブ・アガム	『祝祭』仮面舞踏会	1990	リトグラフ、アクリル、紙	28.3×31.5
73	リチャード・アヌスキウィツ	ライト・カドミウム・レッド・スクウェア	1979	アクリル絵具、キャンバス	122.5×122.5
74	リチャード・アヌスキウィツ	聖なる黄色の寺院	1984	アクリル絵具、キャンバス	153.0×122.5
75	リチャード・アヌスキウィツ	聖なる黒の寺院	1983	アクリル絵具、キャンバス	152.9×122.5
76	ヘスス・ラファエル・ソト	相反価値、ニューヨーク J	1984	彩色、木、金属	158.4×158.4×16.0
77	ヘスス・ラファエル・ソト	黒の二重正面	1985	彩色、木、金属	40.2×40.2×160.0
78	ブリジット・ライリー	アレスト I	1965	アクリル絵具、キャンバス (綿)	178.0×174.5
79	ブリジット・ライリー	シリーズ41 緑に赤と青、黄と紫のねじれ	1979	グアッシュ、紙	97.0×62.3
80	ブリジット・ライリー	V I V A	1985	油彩、リネン	156.5×129.5
81	ブリジット・ライリー	ファイアバード	1971	シルクスクリーン、紙	66.4×94.6

* 寸法は縦×横 (×厚)、または幅×奥行×高さ。

* 作品はすべて北海道立近代美術館蔵。



56 アガム「鼓動する心臓 (ムード)」



76 ソト「相反価値、ニューヨーク J」

帯広美術館コレクション ベル・エポックのポスター

会期＝平成24年11月16日(金)ー平成25年1月16日(水) 48日間
主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般500(400)円、高大生300(250)円

中学生以下、65歳以上、高校の教育活動としての観覧、
身障者手帳をお持ちの方などは無料

高校生は毎週土曜日無料

()内は前売り、リピーターおよび10名以上の団体の
割引料金

関連事業

キッズ・ツアー

講師＝鎌田 享(当館学芸課長)

日時＝12月1日(土) 午後2時～(約30分)

会場＝当館主展示室(要観覧券)

キッズ・ミュージアム

「こすり出し版画」

日時＝12月8日(土) 午後2時～4時

会場＝当館講堂(託児無料)

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館ボランティア「しらか
ばの会」

ミュージアム・カレッジ

「版表現の魅力ー帯広美術館コレクションを中心に」

講師＝当館学芸員

日時＝12月15日(土)、12月22日(土)、1月12日(土) 午後1時30分～
3時/全3回

＊コレクション・ギャラリー「拡張する“版”」の関連
事業としても実施。

会場＝当館講堂、主展示室(参加料540円、応募制)

オビビ・キッズ・アートフェスタ2013

つくるん・みるるん・あそぶん

ワークショップ「お面でヘンシーン」

日時＝1月13日(日) 午後1時30分～3時30分

会場＝当館講堂(参加無料、応募制)

主催＝帯広美術館ボランティア「しらかばの会」、北海道立帯
広美術館

ミュージアム・コンサート

「ミュージアム・ジャズライブ」

出演＝あすみ ジャズ・カルテット with 高橋康廣

日時＝1月13日(日) 午後2時～

会場＝当館ロビー(入場無料)

主催＝帯広美術館振興会、北海道立帯広美術館

ミュージアム・インビテーション

「印刷技術とデザイン」

講師＝山本正広氏(印刷技術者)、田中耕三氏(デザイナー)

日時＝1月6日(日) 午後2時～3時



ポスター

「ポスターから読み解く時代と生活」

講師＝池添博彦氏（帯広大谷短期大学名誉教授）

日時＝1月14日（月・祝）午後2時～3時

会場＝当館主展示室、講堂（参加無料、応募制）

主催＝帯広美術館振興会、北海道立帯広美術館

関連記事

鎌田享「おびひろミュージアム通信 100年前の人から、100年後の人へ」釧路新聞／11月5日(月)

鎌田享「ベル・エポックのユニークなポスター 1～10」十勝毎日新聞／11月27日(火)～12月1日(土)、3日(月)、7日(金)、8日(土)、16日(日)、18日(火)

「とかちフォトギャラリー 花の都 消費者を刺激」北海道新聞／12月13日(木)

19世紀後半から20世紀にかけてのフランスは、“ベル・エポック＝古き良き時代”と呼ばれている。

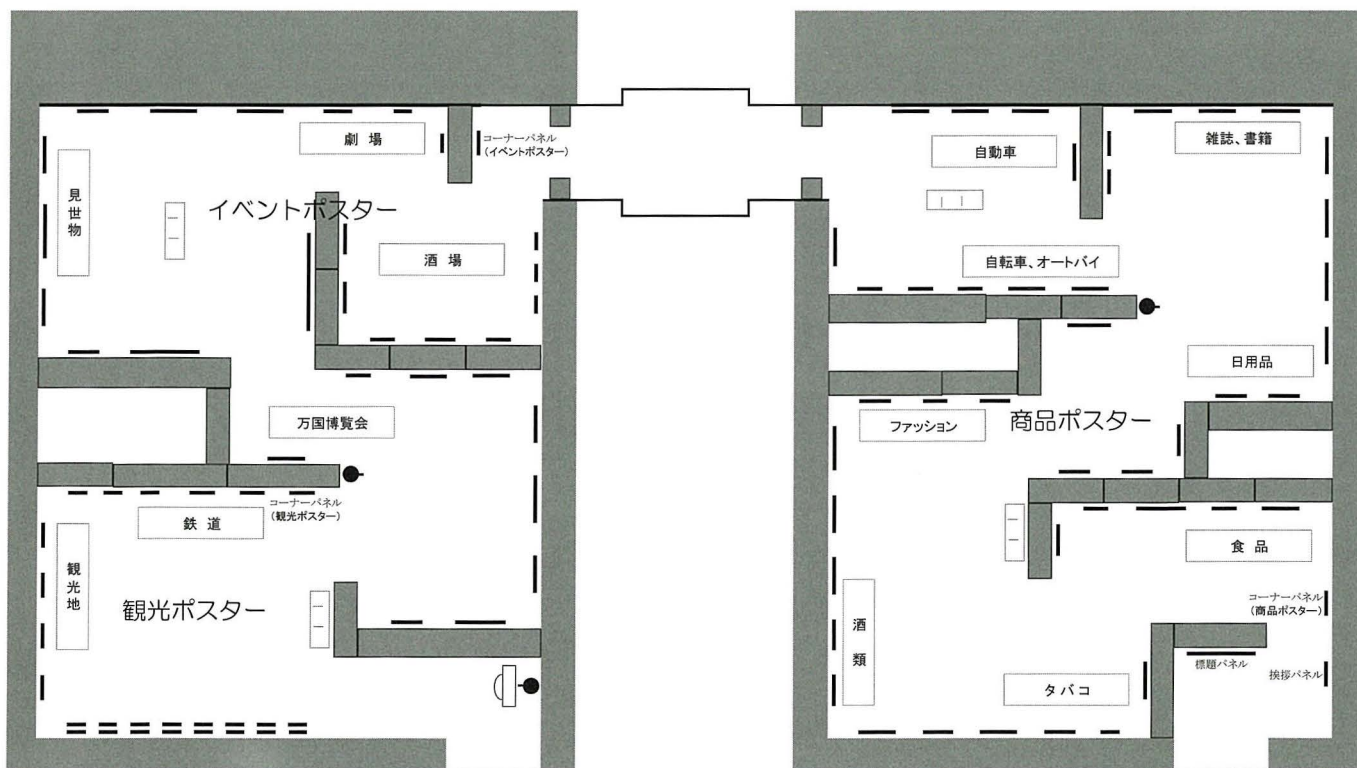
経済的な発展と社会構造の変革を背景に、この時代には華やかな消費文化・都市文化が花開いていった。人々は、酒やタバコといった嗜好品を買い求め、劇場や酒場に集い、鉄道や自動車を利用して旅行に出かけるようになる。

次々と生み出される商品やサービスを宣伝し、人々の購買意欲を刺激したのが、この時期盛んに制作されたリトグラフ・ポスターである。水と油の反発を利用して18世紀末に考案されたリトグラフ（石版）印刷術は、大判印刷や多色印刷といった技術発展を遂げ、主要な印刷技術として重用されていった。

一方、美術の世界では、19世紀後半の印象主義の登場以降、色や形を自在に駆使し画面上の調和を追い求める新たな表現潮流が主流を占めていく。そうした新時代の美学を取り込み、レイアウトや文字に工夫を凝らして、個性豊かなポスターの数々が生み出されていった。

ポスターという新たな創作の舞台には、シェレやミュシャ、カピエロやカッサンドルら多くの作家たちが登場し活躍していく。そして、街頭に貼り出されたこれらのポスターは、街の賑わいを演出し人々の生活に華やぎを添えたのである。

この展覧会では、当館ポスター・コレクションの代表作98点を展示した。それぞれのポスターはその宣伝内容ごとに分類し、〈商品ポスター〉〈イベントポスター〉〈観光ポスター〉の3コーナーに大別して紹介した。また、社会や経済の状況を色濃く反映するというポスターの性格に鑑み、出品作のおよそ1/3にはエピソード的な解説パネルを付している。当館のポスターを、内容・表現・時代性などから多角的に紹介した展示であった。



展示図面



会場風景



会場風景

出品目録

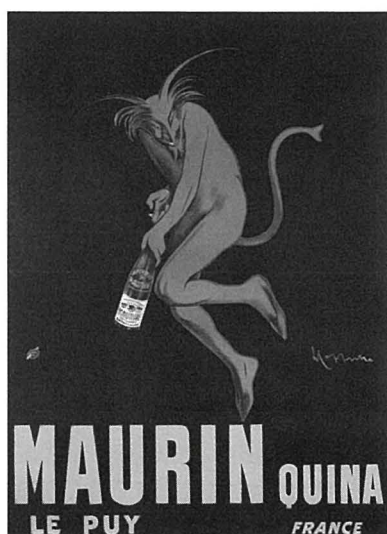
No. 作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)
■ 商品ポスター				
【食 品】				
1 フィルマン・パイセ	「プーラン・チョコレート」	1898	リトグラフ、紙	180.0×115.5
2 バルドリッシュ	果物は健康食品	1928	リトグラフ、紙	107.5×66.5
3 レオネット・カビエッロ	フォアグラ・クリームの女王「金の鷲鳥」	1937	リトグラフ、紙	109.0×154.5
4 不詳	「ムニエ・チョコレート」	1929	リトグラフ、紙	112.4×72.5
【百貨店】				
5 ジュール・シェレ	ルーヴル百貨店 - 1897年新春大売出し	1896	リトグラフ、紙	119.5×82.0
【タバコ】				
6 アルフォンス・マリア・ミュシャ	タバコ巻紙「ジョブ」	1898	リトグラフ、紙	141.5 × 94.0
7 アルフォンス・マリア・ミュシャ	タバコ巻紙「ジョブ」	1896	リトグラフ、紙	51.5×39.4
8 ステファーン	タバコ「サファイア」	1921	リトグラフ、紙	114.5×74.0
9 フラム／ヴァルマン	タバコ巻紙「スエズ」	1890-1900頃	リトグラフ、紙	130.0×99.0
10 不詳	タバコ「レオ」	1920	リトグラフ、紙	113.0×74.0
11 ジュール・ドランシー (ジュール・イスナール)	東洋のタバコ「ナジャ」	1937頃	リトグラフ、紙	149.3×98.0
【酒 類】				
12 不詳	キナ入りワイン「スマルト」を一杯どうぞ	1885頃	リトグラフ、紙	129.5×94.0
13 ラコット	ベリエのりんご酒	1900頃	リトグラフ、紙	119.5×79.5
14 レオネット・カビエッロ	食前酒「モーラン・キナ」	1906	リトグラフ、紙	150.3×110.5
15 フレデリコ・リバス・モンテネグロ	マルケス・デル・メリト、ワインとコニャック	1920	リトグラフ、紙	152.0×109.0
16 ロビイ	食前酒「トニ=コーラ」	1935	リトグラフ、紙	200.0×130.0
【ファッション】				
17 不詳	最高級インド香水	1895頃	リトグラフ、紙	120.0×80.0
18 不詳	脱毛防止剤「ベルテュイジューヌ」	1899	リトグラフ、紙	86.5×66.0
19 ジュール・シェレ	帽子の館	1892	リトグラフ、紙	118.5×83.4
20 オットー・バウムベルガー	高品質のPKZ	1921	リトグラフ、紙	124.5×84.2
21 ドナルド・ブラン	パータ	1940頃	リトグラフ、紙	127.4×91.0
22 ロジェ・ペロー	コルセット「フェレット」	1933	リトグラフ、紙	130.0×90.0
23 オルスキー	モッサン帽子	1928頃	リトグラフ、紙	159.0×117.0
【日用品】				
24 フィリップ・シャブリエ	真の円形シャワー	1890頃	リトグラフ、紙	119.0×79.5
25 レイモン・トゥルノン	理想の浴室	1895頃	リトグラフ、紙	121.0×80.5
26 ウジェーヌ・オジェ	自動印刷機「シクロスティル」	1900頃	リトグラフ、紙	139.0×100.0
27 ジュール・シェレ	安全灯油「サクソレーヌ」	1896	リトグラフ、紙	243.5×85.0
28 リュシアン・ルフェーヴル	白熱灯「エレクトリシーヌ」 - 赤と白	1894	リトグラフ、紙	245.0×86.0
29 A.フォス	純ニッケル	1900頃	リトグラフ、紙	129.0×94.0

No.	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)
【雑誌、書籍】					
30	不詳	キャピテース・ダンリ著「宿命の戦い」	1901	リトグラフ、紙	153.5×104.0
31	バル (ジャン・ド・パレオローグ)	雑誌「自由」	1895頃	リトグラフ、紙	158.0×114.0
32	ルイ・トーザン	絵入り雑誌「地球を駆ける」	1900頃	リトグラフ、紙	153.5×104.5
33	ジョルジュ・ド・フル (ジェゼフ・ヴァン・スリュイテール)	書籍「パリの暦」	1894	リトグラフ、紙	79.5×62.0
34	ビエール・ボナール	美術雑誌「版画とポスター」	1897	リトグラフ、紙	83.0×61.0
【自転車、オートバイ】					
35	シャルル・ティション	自転車「メトロポール」	1890頃	リトグラフ、紙	139.0×99.0
36	ミュシャ (ミシュル・リエボー)	自転車「ロワイヤル=ファブリク」	1920頃	リトグラフ、紙	150.2×113.5
37	ジョルジュ・ファーヴル	自転車「ディレクタ」	1930	リトグラフ、紙	110.5×74.2
38	オガロ (マリウス・ロシヨン)	自転車タイヤ「ミシュラン」	1920頃	リトグラフ、紙	100.0×76.0
39	マックス・ボンティ	オートバイ「ブジョー」	1930	リトグラフ、紙	115.9×75.5
40	フリュージェ=ファン	最新型人間のオートバイ「モネ=ゴワイヨン」	1920	リトグラフ、紙	75.0×113.0
【自動車】					
41	不詳	シトロエンの在庫	1923	リトグラフ、紙	156.0×116.0
42	ビエール・ルイス	自動車「シトロエン」	1924	リトグラフ、紙	159.0×117.0
43	ルネ・ヴァンサン (ルネ・マエル)	自動車「ビュイック」	1929	リトグラフ、紙	155.7×113.7
44	ルネ・ヴァンサン (ルネ・マエル)	自動車「モトブロック」	1927	リトグラフ、紙	154.3×113.2
■ イベント・ポスター					
【酒 場】					
45	ジュール・シェレ	カフェ=コンセール「19世紀」	1882	リトグラフ、紙	56.3×40.5
46	テオフィル・アレクサンドル・スタンラン	高名な「黒猫」一座近日来演	1896	リトグラフ、紙	61.2×38.1
47	ジュール・アレクサンドル・グリユン	コンセール・ウロベアン - 乗ってみたい？	1901	リトグラフ、紙	57.7×37.6
48	アルフレッド・シユーブラク	フォリー=ベルジュール「真珠のバレエ」	1885頃	リトグラフ、紙	74.0×49.3
49	アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック	エグランティエヌ嬢一座	1896	リトグラフ、紙	59.5×79.0
50	アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック	ディヴァン・ジャポネ	1892	リトグラフ、紙	80.4×60.0
51	ジュール・シェレ	カフェ=コンセール「新サーカス」	1889	リトグラフ、紙	117.4×83.2
52	ジュール・シェレ	「鏡」フォリー=ベルジュール劇場	1892	リトグラフ、紙	122.0×83.2
【劇 場】					
53	ジュール・シェレ	「スコットランドの王位」ヴァリエテ座	1871	リトグラフ、紙	70.5×49.0
54	ジュール・シェレ	「ファランドール」オペラ座	1884	リトグラフ、紙	70.5×50.5
55	アルフォンス・マリア・ミュシャ	「メディア」ルネサンス座	1898	リトグラフ、紙	201.5×68.7
56	テオフィル・アレクサンドル・スタンラン	演劇「居酒屋」ボルト=サン=マルタン劇場	1900	リトグラフ、紙	192.0×139.0
57	不詳	オペラ座の舞踏会	1900	リトグラフ、紙	216.0×145.5
58	V.ギイエ	「ポーランドのユダヤ人」国立オペラ・コミック座	1900頃	リトグラフ、紙	149.5×82.0
【見世物】					
59	ルネ・ベアン	パノラマとジオラマ「革命と帝国」	1889-90頃	リトグラフ、紙	129.0×91.5
60	マニユエル・オラジ	曲馬場、クリシ大通り	1900	リトグラフ、紙	216.0×159.0
61	ジョルジュ・ロシュグロス	国際自動車・自転車・スポーツ見本市 - グラン・パレ	1901	リトグラフ、紙	129.0×93.5
62	ルイ・ガリス	アルハンブラ - ヌイイの祭	1905頃	リトグラフ、紙	158.5×119.0
63	レオン=A.フィヨル	海戦	1899	リトグラフ、紙	160.0×210.0
64	ジョルジュ・ボワスリエ	「住宅展示会」グラン・パレ	1900頃	リトグラフ、紙	158.0×310.0
【万国博覧会】					
65	ルイ・ガリス	パロン・シネオラマ	1900	リトグラフ、紙	143.5×99.0
66	ジョルジュ・ルルー	万国博覧会「光学館」- 1900年の大望遠鏡	1900	リトグラフ、紙	78.5×60.0
67	V.ギイエ	「パリ水族館」1900年万国博覧会	1900	リトグラフ、紙	149.0×109.0
68	シム	スイス村 - 1900年パリ万国博覧会	1900	リトグラフ、紙	149.0×109.0
69	フィリップ・シャブリエ	「トランスヴァールと野生のアフリカ」 1900年パリ万国博覧会 (シャン・ド・マルス駅)	1900	リトグラフ、紙	160.0×109.0
70	エドゥアール・ジュレ	パノラマ館「世界旅行」- 1900年万国博覧会の呼び物	1900	リトグラフ、紙	196.5×139.5
71	フィリップ・シャブリエ	「トランスヴァールと野生のアフリカ」 1900年パリ万国博覧会 (クルセル門とシャンペレ門)	1900	リトグラフ、紙	160.0×109.0
72	V.ギイエ	ギョーム人形座 - 1900年パリ万国博覧会	1900	リトグラフ、紙	103.0×148.0

No. 作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)
73 ルネ・ペアン	「1400年のパリ」－ 奇蹟の巢窟の再現	1900	リトグラフ、紙	123.5×88.0
■ 観光ポスター				
【鉄 道】				
74 カッサンドル (アドルフ・ジャン・ムーロン)	フランス北部鉄道	1929	リトグラフ、紙	100.0×62.3
75 カッサンドル (アドルフ・ジャン・ムーロン)	北極星号－ フランス北部鉄道	1927	リトグラフ、紙	105.7×75.4
76 フレデリック・ドロスト	8日間フリー・チケット	1936	リトグラフ、紙	100.0×62.0
77 アーウェ・ラスムッセン	D.S.B.デンマーク国有鉄道	1937	リトグラフ、紙	100.0×63.0
78 里見宗次	コート・ダジュール	1934	リトグラフ、紙	98.7×62.4
【観光地】				
79 フレデリック・ユゴー・ダレジ	ラ・チュルビー－ P.L.M.鉄道会社	1890-95頃	リトグラフ、紙	105.0×75.0
80 ボール・ベルトン	ノルマンディ、ブルターニュ－ 西部鉄道	1895頃	リトグラフ、紙	106.1×78.8
81 アンリ・ゾー	スペイン旅行の割引チケット	1910頃	リトグラフ、紙	107.5×76.0
82 アルベール・ベルジュヴァン	アヴランシュ－ モン・サン・ミシエル湾	1910頃	リトグラフ、紙	111.5×75.0
83 ルネ・ルーセル	パリに行こう－ フランス大鉄道網	1920	リトグラフ、紙	98.5×60.5
84 H.F.F.	ヘルシンキ	1930	オフセット、紙	99.0×60.5
85 キルニツヒ専門工房	オーストリア	1935	リトグラフ、紙	93.6×61.5
86 ホセ・モレル	カンプロドン	1930	リトグラフ、紙	89.2×61.0
87 N.ジェラル (ジェラル・アレクサンドル)	雪の楽しみ、高まる喜び	1938	リトグラフ、紙	97.5×59.0
88 ホセ・モレル	レバンテの海岸	1940頃	リトグラフ、紙	95.9×61.4
89 不詳	パン・アメリカン航空によるアメリカ旅行	1940頃	リトグラフ、紙	92.5×59.5
90 ホセ・モレル	スペイン探訪	1941	リトグラフ、紙	98.6×60.8
91 ベルナル・ヴィルモ	北アフリカ	1946	リトグラフ、紙	98.0×61.5
92 アルベール・ブルネ	フランスへ、シャルジュール・レユニ海運会社で (エッフェル塔)	1950	オフセット、紙	97.5×61.8
93 ヴァルター・マーラー	ジュネーヴ、スイス	1950	リトグラフ、紙	98.5×63.5
94 J.P.ラタビイ	モン・ド・マルサン	1950	リトグラフ、紙	98.0×60.6
95 不詳	ポーツマスとサウス・シー	1950頃	リトグラフ、紙	99.7×62.8
96 不詳	フランスへ行こう、コート・ダジュール	1952	オフセット、紙	98.5×61.0
97 ベルナル・ヴィルモ	スペイン	1957	リトグラフ、紙	96.8×60.3
98 ブッポ	モンテ・ファイト、ナポリ	1959	リトグラフ、紙	98.5×64.0

* 寸法は縦×横。

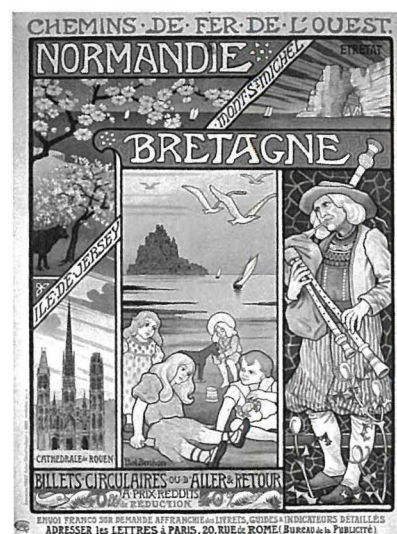
* 作品はすべて北海道立帯広美術館蔵。



14 カビエロ
「食前酒『モーラン=キナ』」



46 スタンラン
「高名な『黒猫』一座近日来演」



80 ベルトン
「ノルマンディ、ブルターニュ西部鉄道」

山に魅せられた画家たち

会期＝平成25年1月25日(金)～3月24日(日) 51日間
主催＝北海道立帯広美術館、帯広市・帯広市教育委員会、
十勝毎日新聞社、NPO十勝文化会議、山に魅せられた画家たち展実行委員会

後援＝十勝町村会、十勝管内各町村教育委員会、帯広市校長会、
十勝小・中校長会、帯広商工会議所、帯広市町内会連合会、
十勝文化団体協議会、帯広市民芸術劇場運営委員会、
帯広勤労者山岳会、NHK帯広放送局、HBC帯広放送局、
STV帯広放送局、HTB帯広支社、帯広シティーケーブル、
FM-JAGA、北海道教育庁十勝教育局

協賛＝帯広信用金庫、キクミ、サカタインクス、札幌新聞輸送、
第一生命、大成建設、竹川会計事務所、DICグラフィックス、
東京機械製作所、東洋印刷、中井会計事務所、中西印刷、
日本興亜損害保険、日本新聞インキ、日本生命、富士フィルムグローバルグラフィックシステムズ、
ホクレン農業協同組合連合会、北海道拓殖バス、三井住友海上火災保険

観覧料＝一般900(700)円、高大生550(450)円、小中生250(200)円
小中高校の教育活動としての観覧、身障者手帳をお持ちの方などは無料。
()内は、前売り、リピーターおよび10名以上の団体の割引料金

関連事業

おびひろ氷まつり協賛事業

日時＝1月25日(金)～27日(日)

＊1月25日(金)・26日(土)は午後8時まで夜間開館を実施

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館振興会

協力＝帯広美術館ボランティア「しらかばの会」

・雪中パークゴルフde文字並ベクイズ

日時＝1月26日(土)、27日(日) 午前11時～午後4時

会場＝当館前庭(参加無料)

・ロビーカフェ de 冬の火花

日時＝1月25日(金)、26日(土) 午後5時30分～8時

会場＝当館ロビー、廊下

・ミュージアム・シアター「ようこそアムステルダム美術館へ」

日時＝1月26日(土)、27日(日) 午後3時～

会場＝当館講堂(入場無料)

キッズ・ツアー

講師＝佐藤由美加(当館主任学芸員)

日時＝2月2日(土) 午後2時～(約30分)

会場＝当館主展示室(要観覧券)

美術講演会

「日本近代にみる山の風景」

講師＝橋 秀文氏(神奈川県立近代美術館企画課長兼普及課長)

日時＝2月9日(土) 午後2時～3時30分

会場＝当館講堂(聴講無料)



ポスター



図録

特別展セミナー

「描かれた北海道の山」

講師＝佐藤由美加（当館主任学芸員）

日時＝2月16日(土) 午後2時～3時

会場＝当館講堂（聴講無料）

NPO十勝文化会議ワークショップ

「十勝の山の絵を描こう」

講師＝瀧川秀敏氏、由良真一氏、中西堯昭氏（NPO十勝文化
会議美術部会員）

日時＝2月23日(土) 午後2時～

会場＝当館講堂（参加無料、応募制）

キッズ・ミュージアム

「ダンボールであそぼ～」

日時＝3月2日(土) 午後2時～4時

会場＝当館講堂（託児無料）

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館ボランティア「しらか
ばの会」

図録

規格＝28.0×22.5cm／総頁数90ページ

構成＝ごあいさつ／佐藤由美加「山一人を惹きつけるその魅力」
／図版／作家略歴／関連地図／主要参考文献／出品作品
リスト

関連記事

「山に魅せられた画家展」十勝毎日新聞／1月1日(火)

佐藤由美加「『山に魅せられた画家たち』展を企画して」『岳人』
／2013年2月号 No.788

上田良吉「名峰との対峙1 日高山脈」十勝毎日新聞／1月29
日(火)

澤村真理子「名峰との対峙2 富士山」十勝毎日新聞／1月30
日(水)

中西堯昭「名峰との対峙3 北海道の山」十勝毎日新聞／1月
31日(木)

澤村真理子「名峰との対峙4 日本の山」十勝毎日新聞／2月
2日(土)

澤村真理子「唯一の女性画家・片岡球子」十勝毎日新聞／2月
6日(水)

佐藤由美加「北の文化 二人の登山家 坂本直行と一原有徳」
朝日新聞／2月5日(火)

佐藤由美加「おびひろミュージアム通信 目をひく片岡球子の
『山』」釧路新聞／2月18日(月)

佐藤由美加「ほっかいどうアート探訪 一原有徳 Mt.Muridake」
北海道新聞／2月18日(月)

佐藤由美加「学芸員作品紹介①～⑩」十勝毎日新聞／2月21日
(木)、22日(金)、25日(月)、27日(水)、3月1日(金)～6日(水)

池田緑「編集余録 山の絵の展覧会」十勝毎日新聞／3月2日(土)
佐藤由美加「『山に魅せられた画家たち』展に寄せて」北海道
新聞／3月8日(金)

「わたしの1枚①～⑤」十勝毎日新聞／3月13日(水)、16日(土)～
19日(火)

日本は、周囲を海に囲まれ、国土のおよそ7割を山地が占める自然豊かな国である。各地の山々は、その土地を象徴する存在として親しまれ、名所や信仰の対象として人々に愛されてきた。また、季節や天候、時間によって様相を異にする山の美しい姿は、古くから絵画の題材でもあった。明治以降、交通網が発達して旅行は容易になり、近代登山が始まり、生活様式全般がかわる中、日本人の自然に対する価値観も変化し、人々は何気なく身近な自然の中に新たな美を見出すようになる。そうした中で、山は、近代以降の風景画における重要な題材として、多くの画家によって描き続けられてきた。

日本随一の名所であり最も多く描かれている山である富士山。多くの登山家・風景画家を惹きつけてきた日本アルプス。大雪山や十勝岳、トムラウシなど北海道にある数多くの山。そして帯広市がある十勝は、北を大雪山系、西を日高山脈に囲まれている。本展では、歌川広重や葛飾北斎の浮世絵にはじまり、近代以降、山に魅せられ、深い思いをもって制作にのぞんだ画家たち17人の93点によって、多彩な山の魅力を紹介した。また、北海道を代表する登山家の一人で、山を題材とした作家でもある一原有徳と坂本直行を、登山と作品の両側面から紹介した。

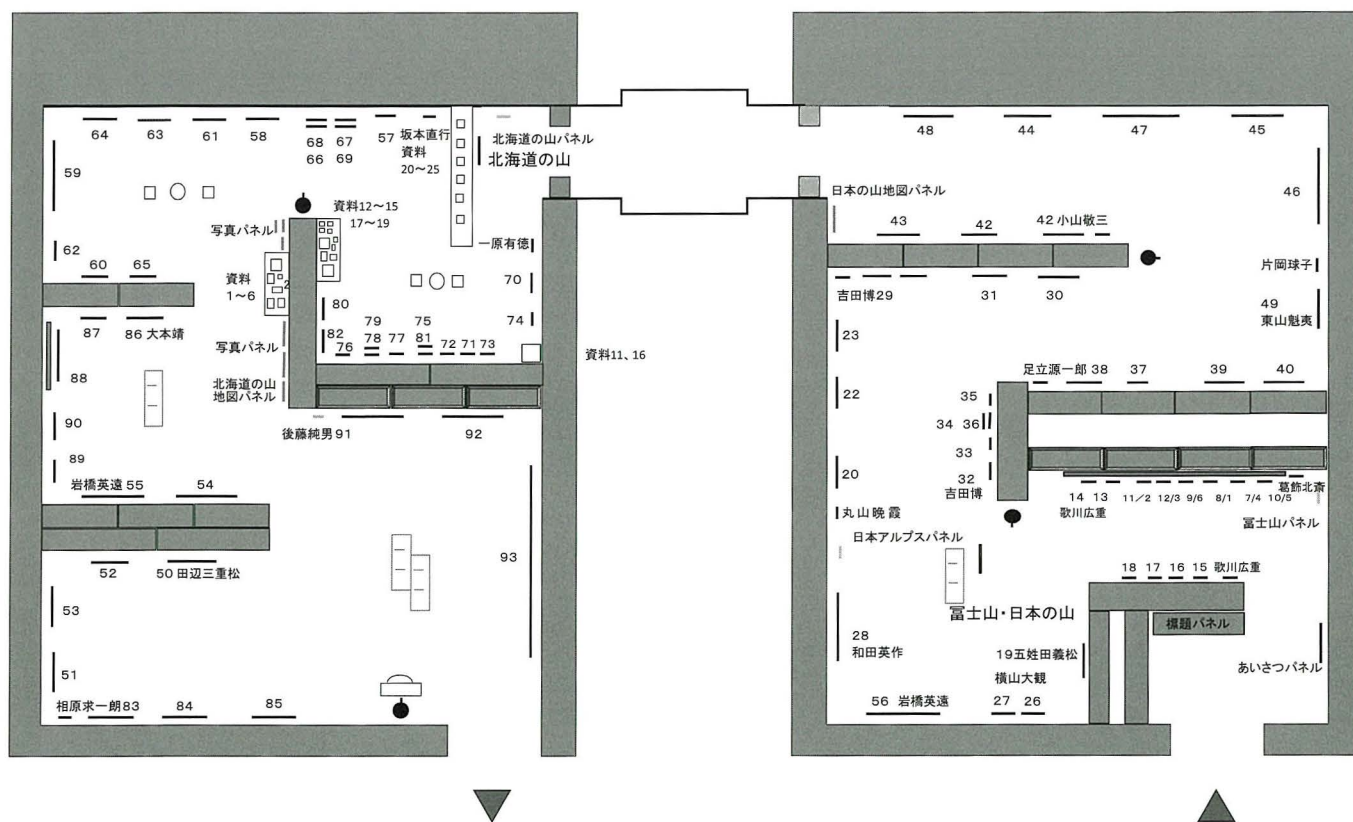
日本の名山から北海道の山々、江戸の浮世絵から近現代、日本画・油彩・版画・水彩と多岐にわたる内容で好評を博し、冬季であるに関わらず9,231人という入場者を得ることができた。



会場風景



会場風景

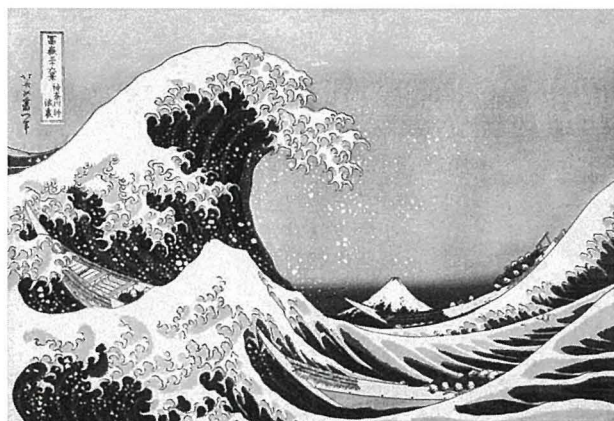


展示図面

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法(cm)	所蔵先	展示期間
日本の山							
1	葛飾北斎	富嶽三十六景 神奈川沖浪裏	1831-34(天保2-5)頃	木版、紙	大判錦絵 (25.5×37.5)	一般財団法人 北斎館	後期
2	葛飾北斎	富嶽三十六景 深川万年橋下	1831-34(天保2-5)頃	木版、紙	大判錦絵 (25.2×37.9)	一般財団法人 北斎館	後期
3	葛飾北斎	富嶽三十六景 五百らかん寺さざみどろ	1831-34(天保2-5)頃	木版、紙	大判錦絵 (25.8×37.7)	一般財団法人 北斎館	後期
4	葛飾北斎	富嶽三十六景 尾州不二見原	1831-34(天保2-5)頃	木版、紙	大判錦絵 (25.9×38.2)	一般財団法人 北斎館	後期
5	葛飾北斎	富嶽三十六景 甲州石班澤	1831-34(天保2-5)頃	木版、紙	大判錦絵 (24.9×37.0)	一般財団法人 北斎館	後期
6	葛飾北斎	富嶽三十六景 山下白雨	1831-34(天保2-5)頃	木版、紙	大判錦絵 (25.2×37.5)	一般財団法人 北斎館	後期
7	葛飾北斎	富嶽三十六景 山下白雨	1831-34(天保2-5)頃	木版、紙	大判錦絵 (25.2×37.2)	神奈川県立歴史博物館	前期
8	葛飾北斎	富嶽三十六景 山下白雨(変わり刷)	1831-34(天保2-5)頃	木版、紙	大判錦絵 (25.5×37.0)	神奈川県立歴史博物館	前期
9	葛飾北斎	富嶽三十六景 東都浅草本願寺	1831-34(天保2-5)頃	木版、紙	大判錦絵 (24.5×35.5)	神奈川県立歴史博物館	前期
10	葛飾北斎	富嶽三十六景 登戸浦	1831-34(天保2-5)頃	木版、紙	大判錦絵 (24.5×37.4)	神奈川県立歴史博物館	前期
11	葛飾北斎	富嶽三十六景 武陽佃島	1831-34(天保2-5)頃	木版、紙	大判錦絵 (24.5×37.2)	河口湖美術館	前期
12	葛飾北斎	富嶽三十六景 相州七里浜	1831-34(天保2-5)頃	木版、紙	大判錦絵 (24.5×37.4)	河口湖美術館	前期
13	歌川広重	東海道五拾三次之内 原	1833-34(天保4-5)頃	木版、紙	大判錦絵 (24.2×36.8)	河口湖美術館	
14	歌川広重	東海道五拾三次之内 由井	1833-34(天保4-5)頃	木版、紙	大判錦絵 (25.5×38.3)	河口湖美術館	
15	歌川広重	名所江戸百景 市中繁栄七夕祭	1857(安政4)	木版、紙	大判錦絵 (36.6×24.2)	河口湖美術館	
16	歌川広重	富士三十六景 相模江の島入口	1858(安政5)	木版、紙	大判錦絵 (36.6×24.2)	河口湖美術館	
17	歌川広重	富士三十六景 東都数寄屋河岸	1858(安政5)	木版、紙	大判錦絵 (36.4×24.8)	河口湖美術館	

No. 作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法(cm)	所蔵先	展示期間
18 歌川広重	富士三十六景 信州諏訪之湖	1858(安政5)	木版、紙	大判錦絵 (36.2×24.7)	河口湖美術館	
19 五姓田義松	清水の富士	1881(明治14)	油彩、キャンバス	97.0×130.5	東京都現代美術館	
20 丸山晚霞	初夏の志賀高原	1909(明治42)頃	水彩、紙	67.0×101.0	長野県信濃美術館	前期
21 丸山晚霞	山上の潤地		水彩、紙	101.0×67.0	長野県信濃美術館	後期
22 丸山晚霞	真夏の農村		水彩、紙	101.0×68.0	金本久吉氏	
23 丸山晚霞	槍ヶ岳		水彩、紙	64.0×98.5	丸山晚霞記念館	
24 横山大観	春之霊峰	1941(昭和16)頃	絹本彩色、額	53.5×65.8	山梨県立美術館	後期
25 横山大観	夏之霊峰	1941(昭和16)頃	絹本彩色、額	53.5×65.8	山梨県立美術館	後期
26 横山大観	秋之霊峰	1941(昭和16)頃	絹本彩色、額	53.5×65.8	山梨県立美術館	前期
27 横山大観	冬之霊峰	1941(昭和16)頃	絹本彩色、額	53.5×65.8	山梨県立美術館	前期
28 和田英作	田子の富士	1911(明治44)	油彩、キャンバス	133.5×194.0	北海道立近代美術館	
29 吉田 博	有明山	1920(大正9)頃	油彩、キャンバス	各149.0×67.0 (2点組)	長野県信濃美術館	
30 吉田 博	穂高山		油彩、キャンバス	108.5×137.0		
31 吉田 博	槍ヶ岳		油彩、キャンバス	80.3×60.6		
32 吉田 博	富士拾景 河口湖	1926(大正15)	木版、紙	36.5×51.2	河口湖美術館	
33 吉田 博	富士拾景 船津	1928(昭和3)	木版、紙	37.6×24.9	河口湖美術館	
34 吉田 博	富士拾景 山頂劔ヶ峰	1928(昭和3)	木版、紙	24.7×37.5	河口湖美術館	
35 吉田 博	富士山 御殿場	1929(昭和4)	木版、紙	18.6×24.9	河口湖美術館	
36 吉田 博	鈴川	1935(昭和10)	木版、紙	24.5×37.7	河口湖美術館	
37 足立源一郎	北穂高主峰 滝谷の岩壁	1953(昭和28)	油彩、キャンバス	100.0×73.0	神奈川県立近代美術館	
38 足立源一郎	春の穂高(長堀にて)	1960(昭和35)頃	油彩、キャンバス	50.0×60.7	長野県信濃美術館	
39 足立源一郎	槍ヶ岳(北鎌尾根にて)	1965(昭和40)	油彩、キャンバス	91.0×117.0	神奈川県立近代美術館	
40 足立源一郎	北穂高南峯	1966(昭和41)	油彩、キャンバス	91.0×116.5	神奈川県立近代美術館	
41 小山敬三	暮れゆく浅間	1968(昭和43)	油彩、キャンバス	145.5×97.0	長野県信濃美術館	
42 小山敬三	紅浅間		油彩、キャンバス	116.5×72.5	東京都現代美術館	
43 小山敬三	雲中富嶽	1981(昭和56)	油彩、キャンバス	90.9×116.7	神奈川県立近代美術館	
44 片岡球子	伊豆風景	1964(昭和39)	麻布彩色、額	260.0×159.7	北海道立近代美術館	



1 葛飾北斎「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」



25 横山大観「夏之霊峰」

No.	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法(cm)	所蔵先	展示期間
45	片岡球子	火山（浅間山）	1965(昭和40)	麻布彩色、額	260.0×161.0	神奈川県立近代美術館	
46	片岡球子	火山（浅間山）	1965(昭和40)	麻布彩色、額	162.0×259.0	神奈川県立近代美術館	
47	片岡球子	死火山（妙義山）	1966(昭和41)	麻布彩色、額	164.0×262.0	北海道立近代美術館	
48	片岡球子	山（富士山）	1967(昭和42)	紙本彩色、額	259.0×193.0	北海道立近代美術館	
49	東山魁夷	光昏	1955(昭和30)	紙本彩色、額	181.7×136.4	日本芸術院	
北海道の山							
50	田辺三重松	大沼公園の秋	1934(昭和9)	油彩、キャンバス	112.1×162.1	北海道立近代美術館	
51	田辺三重松	然別湖	1958(昭和33)	油彩、キャンバス	90.9×116.7	北海道立函館美術館	
52	田辺三重松	大雪連峰初夏	1969(昭和44)	油彩、キャンバス	57.5×100.0	北海道立函館美術館	
53	田辺三重松	十勝岳	1969(昭和44)	油彩、キャンバス	91.2×116.5	神奈川県立近代美術館	
54	岩橋英遠	北の山たち（暁雲のトムラウシ）	1986(昭和61)	紙本彩色、額	120.0×180.7	滝川市美術自然史館	
55	岩橋英遠	北の山たち（噴煙の十勝）	1986(昭和61)	紙本彩色、額	120.0×180.7	滝川市美術自然史館	
56	岩橋英遠	氷結する湖	1988(昭和63)	紙本彩色、額	121.0×182.0	滝川市美術自然史館	
57	坂本直行	冬の日高山脈	1940(昭和15)	油彩、板	31.5×41.0		
58	坂本直行	日高連峰	1958(昭和33)	油彩、キャンバス	65.2×90.9		
59	坂本直行	十勝大平原と日高連峰	1960(昭和35)	油彩、キャンバス	78.0×154.2	帯広百年記念館	
60	坂本直行	晩秋の原野と日高連峰	1962(昭和37)	油彩、キャンバス	50.0×72.5		
61	坂本直行	大丸山からみた楽古岳	1964(昭和39)	油彩、キャンバス	59.0×89.0	広尾町教育委員会	
62	坂本直行	初冬の南日高	1964(昭和39)	油彩、キャンバス	61.0×91.0	広尾町教育委員会	
63	坂本直行	五月の十勝岳とハツ手岩	1967(昭和42)	油彩、キャンバス	53.0×80.0		
64	坂本直行	残雪の硫黄岳（知床五湖より）	1976(昭和51)	油彩、キャンバス	65.2×90.9		
65	坂本直行	晩秋の原野と日高山脈の朝やけ	1981(昭和56)	油彩、キャンバス	53.0×72.7		
66	坂本直行	早春の野塚岳	1958(昭和33)	水彩、紙	37.0×45.5	広尾町教育委員会	
67	坂本直行	五月のトムラウシ	1965(昭和40)	水彩、紙	32.0×41.0	広尾町教育委員会	
68	坂本直行	晩秋の原野と太平洋	1968(昭和43)	水彩、紙	31.0×41.0	広尾町教育委員会	
69	坂本直行	石狩岳		水彩、紙	25.0×36.0	広尾町教育委員会	
70	一原有徳	Mt. Muridake	1967(昭和42)	鉄版（天然腐蝕、切り抜き）、紙	46.5×63.0	市立小樽美術館	
71	一原有徳	Mt.Ashibetsutake	1967(昭和42)	金属版（天然腐蝕、切り抜き）、紙	28.0×45.0	高澤光雄氏	
72	一原有徳	Mt.Ashibetsudake	1967(昭和42)	金属版（天然腐蝕、切り抜き）、紙	23.0×31.5		
73	一原有徳	Mt.AKAIWA	1967(昭和42)	金属版（天然腐蝕、切り抜き）、紙	31.0×40.0		
74	一原有徳	Hidakal839m	1974(昭和49)	金属版（天然腐蝕、切り抜き）、紙	22.0×29.0		
75	一原有徳	乙部岳（台風下）	1977(昭和52)	アルミニウム版、電気スチール ブラシ、電気ドリル、紙	20.5×27.7		
76	一原有徳	Mt.Yote	1985(昭和60)	金属版、紙	30.5×41.0		
77	一原有徳	Mt.Muridake	1987(昭和62)	金属版(天然腐蝕、切り抜き)、紙	22.0×31.5		
78	一原有徳	Hidakasanmyaku	1987(昭和62)	金属版、紙	26.5×33.5		
79	一原有徳	Mt.pipairodake&1967m	1994(平成6)	金属版、紙	19.0×25.8		
80	一原有徳	岩壁	1996(平成8)	金属版(天然腐蝕、切り抜き)、紙	25.5×70.0	高澤光雄氏	
81	一原有徳	M.Toyonidake		金属版、紙	32.0×22.0		
82	一原有徳	青い岩稜		金属版(天然腐蝕、切り抜き)、紙	29.0×37.5		
83	相原求一朗	春の雲湧く	1995(平成7)	油彩、キャンバス	80.3×130.5		
84	相原求一朗	丘陵雨後	1995(平成7)	油彩、キャンバス	80.3×130.5		
85	相原求一朗	陽春 十勝晴れ	1997(平成9)	油彩、キャンバス	80.3×130.3		
86	大本 靖	作品No.45 [昭和新山 (B)]	1957(昭和32)	ステンシル (モノタイプ)、紙	92.0×92.0	北海道立近代美術館	
87	大本 靖	作品No.47 [昭和新山 (C)]	1957(昭和32)	ステンシル (モノタイプ)、紙	142.4×87.9	札幌芸術の森美術館	
88	大本 靖	沼の平	1976(昭和51)	木版、紙	85.0×170.0	北海道立近代美術館	
89	大本 靖	ようてい	1993(平成5)	木版、紙	54.7×40.7	札幌芸術の森美術館	
90	大本 靖	マッカリの山	1994(平成6)	木版、紙	84.8×53.4	北海道立近代美術館	
91	後藤純男	雪の斜里岳	1987(昭和62)	紙本彩色、額	121.4×181.8	後藤純男美術館	
92	後藤純男	雪晴れ	1987(昭和62)	紙本彩色、額	112.1×193.9	後藤純男美術館	
93	後藤純男	十勝岳連峰	2002(平成14)	紙本彩色、額	182.0×636.4	後藤純男美術館	

No. 作家名	資料	発行年	発行	所蔵先	展示期間
関連資料					
1 坂本直行	『開鑿の記』	1942(昭和17)	長崎書店	上田良吉氏	
2 坂本直行	『山・原野・牧場』	1938(昭和13)	竹村書房	上田良吉氏	
3 坂本直行	『詩の雑誌 サイロ』	1960(昭和35)		上田良吉氏	
4 坂本直行	『坂本直行画文集 雪原の足あと』	1965(昭和40)	茗溪堂	上田良吉氏	
5	『林』 山、特集	1961(昭和36) 9月号	北海道造林振興協会	上田良吉氏	
6 坂本直行	絵の具セット			広尾町教育委員会	
7 一原有徳	『北海道の山』 アルパイン・ガイド11	1960(昭和35)	山と溪谷社	高澤光雄氏	
8 一原有徳	『支笏湖の山』	1996(平成8)		高澤光雄氏	
9 一原有徳	『北辺の山 終りの山』	1996(平成8)	クライ・アント	高澤光雄氏	
10 一原有徳	『羊蹄山=マッカリスプリ+小樽赤岩山』	1996(平成8)	クライ・アント	高澤光雄氏	
11 一原有徳	『単独行』	1997(平成9)	クライ・アント	高澤光雄氏	
12 一原有徳	『午後の頂 戦後の山』	1998(平成10)	クライ・アント	高澤光雄氏	
13 一原有徳	『道外の山』	1999(平成11)	クライ・アント	高澤光雄氏	
14 一原有徳	『残された山 杖の頂』	2000(平成13)	クライ・アント	高澤光雄氏	
15	『山書趣味』 特集：一原有徳の世界	2008(平成21)	サッポロ堂書店	市立小樽文学館	
16 一原有徳	『Hidaka1839m』 原版				
17 一原有徳	登山に使用していた道具			市立小樽文学館	
18 一原有徳	版画原版				
19 一原有徳	版画原版				
20	『山と溪谷』	1969(昭和44) 2月号	山と溪谷社	上田良吉氏	
21	『山と溪谷』	1972(昭和47) 4月号	山と溪谷社	上田良吉氏	
22	『山と溪谷』	1974(昭和49) 6月号	山と溪谷社	上田良吉氏	
23	『山と溪谷』	1980(昭和55) 3月号	山と溪谷社	上田良吉氏	
24	『山と溪谷』	1980(昭和55) 12月号	山と溪谷社	上田良吉氏	
25	『山と溪谷』	1986(昭和61) 6月号	山と溪谷社	上田良吉氏	

*寸法は縦×横。

*展示期間は、前期=1月25日～2月24日、後期=2月26日～3月24日。



45 片岡球子「火山（浅間山）」



59 坂本直行「十勝大平原と日高山脈」

美術講演会

各分野の専門家を招いて、それぞれの展覧会に関連した内容の講演会を開催した。

時間＝午後2時～

＊平成23年10月15日(土)は午後3時～

会場＝当館講堂（聴講無料）



「エコール・ド・パリ―異邦人のユートピア」有木宏二氏

平成23年度

開催日	演 題	講 師	関連展覧会・事業	聴講者数
4月23日(土)	エッシャー―その作品と生涯	安田恭子氏 (ハウスステンボス美術館・博物館館長代理(兼)主任学芸員)	無限迷宮 M.C.エッシャーの全貌	72人
7月9日(土)	画布からの伝言 ―伝えられた 空・大地・人―	松井由孝氏 (前帯広百年記念館館長)	十勝の美術クロニクル	65人
10月15日(土)＊	近代美術とウッドワン美術館	重藤嘉代氏 (ウッドワン美術館学芸員)	巨匠たちの饗宴	40人
11月26日(土)	エコール・ド・パリ―異邦人のユートピア	有木宏二氏 (宇都宮美術館主任学芸員)	シャガール、パスキンとエコール・ド・パリの綺羅星たち	46人

平成24年度

開催日	演 題	講 師	関連展覧会・事業	聴講者数
4月21日(土)	知られざる画家の素顔 パレットが語る魅力	長谷川徳七氏 (日動画廊社長) 長谷川智恵子氏 (日動画廊副社長)	画家の素顔 パレット&絵画	74人
6月30日(土)	棟方志功の板画	武田公平氏 (財団法人棟方志功記念館館長補佐)	棟方志功展	45人
9月22日(土・祝)	オプティカル・アートの秘密をさぐる	杉原厚吉氏 (明治大学先端数理科学研究科特任教授)	オブ・アート展	30人
2月9日(土)	日本近代にみる山の風景	橋 秀文氏 (神奈川県立近代美術館企画課長兼普及課長)	山に魅せられた画家たち	60人

アーティスト・トーク等

展覧会出品作家を迎えて、これまでの活動や作品の制作背景などに関するトークを開催した。



「十勝の美術 アーティスト・トーク」 熊代弘法氏

平成23年度

開催日時	内容・演題	講 師	関連展覧会・事業	会 場	聴講者数
7月10日(日)午後2時～2時30分	リレートーク「自作を語る」	小室 吏氏	十勝の美術クロニクル	当館主展示室	34人
7月10日(日)午後3時～3時30分	リレートーク「自作を語る」	米山将治氏	十勝の美術クロニクル	当館主展示室	34人
7月24日(日)午後2時～2時30分	リレートーク「自作を語る」	中村俊昭氏	十勝の美術クロニクル	当館主展示室	12人
8月7日(日)午後1時～1時30分	リレートーク「自作を語る」	加地保良氏	十勝の美術クロニクル	当館主展示室	31人
8月7日(日)午後2時～3時	リレートーク「自作を語る」	齊藤隆博氏、宮澤克忠氏	十勝の美術クロニクル	当館講堂、主展示室	31人
8月21日(日)午後2時～2時30分	リレートーク「自作を語る」	中西堯昭氏	十勝の美術クロニクル	当館主展示室	49人
8月21日(日)午後3時～3時30分	リレートーク「自作を語る」	渡邊禎祥氏	十勝の美術クロニクル	当館主展示室	49人
9月4日(日)午後2時～2時30分	リレートーク「自作を語る」	飯田和幸氏	十勝の美術クロニクル	当館主展示室	102人
9月4日(日)午後3時～3時30分	リレートーク「自作を語る」	中谷有逸氏	十勝の美術クロニクル	当館講堂、主展示室	102人

平成24年度

開催日時	内容・演題	講 師	関連展覧会・事業	会 場	聴講者数
5月19日(土)午後2時～2時30分	アート・トーク「作品とパレット」	近藤みどり氏	画家の素顔 パレット&絵画	当館主展示室	45人
5月19日(土)午後2時30分～3時	アート・トーク「作品とパレット」	森 弘志氏	画家の素顔 パレット&絵画	当館主展示室	45人
6月2日(土)午後2時～3時	アート・トーク「作品とパレット」	中西堯昭氏	画家の素顔 パレット&絵画	当館主展示室	39人
7月1日(土)午後2時～2時30分	アーティスト・トーク	おおとひでお氏	十勝の美術	当館コレクション・ギャラリー	43人
7月1日(土)午後3時～3時30分	アーティスト・トーク	熊代弘法氏	十勝の美術	当館コレクション・ギャラリー	43人
7月15日(土)午後2時～2時30分	アーティスト・トーク	中西堯昭氏	十勝の美術	当館コレクション・ギャラリー	45人
7月15日(土)午後3時～3時30分	アーティスト・トーク	中谷有逸氏	十勝の美術	当館コレクション・ギャラリー	45人

特別展セミナー

当館学芸員が、展覧会に関連したテーマを設け、出品作品を取り上げながら展覧会の見どころを紹介した。

時間＝午後2時～3時

会場＝当館講堂（聴講無料）

平成23年度

開催日	演 題	講 師	関連展覧会・事業	聴講者数
5月7日(土)、6月4日(土)	無限の探求—エッシャーの表現世界	鎌田 享（当館学芸課長）	無限迷宮 M.C.エッシャーの全貌	72人
7月23日(土)、8月20日(土)	クロニクル解説	菰部容子（当館学芸員）	十勝の美術クロニクル	23人
10月8日(土)、10月22日(土)	日本の近代美術	佐藤由美加（当館主任学芸員）	巨匠たちの饗宴	18人

平成24年度

開催日	演 題	講 師	関連展覧会・事業	聴講者数
7月14日(土)、8月11日(土)	棟方志功と日本の木版画	鎌田 享（当館学芸課長）	棟方志功展	37人
2月16日(土)	描かれた北海道の山	佐藤由美加（当館主任学芸員）	山に魅せられた画家たち	50人

ギャラリー・ツアー

当館学芸員が、展示室をめぐりながら出品作品を解説し、展覧会の見どころを案内した。

時間＝午後2時～（約30分）

会場＝当館主展示室（要観覧券）

平成23年度

開催日	講 師	関連展覧会・事業	参加者数
12月3日(土)、12月24日(土)	鎌田 享（当館学芸課長）	シャガール、パスキンとエコール・ド・バリの綺羅星たち	27人
3月24日(土)	佐藤由美加（当館主任学芸員）	プリントアートの魅力	4人

平成24年度

開催日	講 師	関連展覧会・事業	参加者数
9月29日(土)、10月13日(土)	石尾乃里子（当館学芸員）	オブ・アート展	38人

ミュージアム・カレッジ

当館学芸員による連続講座。一般来館者を対象としながらも、連続講座の特色を生かし、開催中の展覧会に関連する内容について多角的かつ体系的に知識を深める機会とした。なお、本事業は北海道教育委員会、北海道立生涯学習推進センターが主催する道民カレッジの連携講座としても実施した。

平成23年度

芸術の都・パリの作家たち

時間＝午後2時～3時30分

会場＝当館講堂、主展示室（参加料1000円、応募制）

開催日	演 題	講 師	関連展覧会・事業	聴講者数
1月7日(土)	ジュル・パスキンとエコール・ド・パリ	佐藤由美加（当館主任学芸員）	シャガール、パスキンとエコール・ド・パリの綺羅星たち	22人
1月14日(土)	シャガール ある異邦人画家の軌跡	鎌田 享（当館学芸課長）	シャガール、パスキンとエコール・ド・パリの綺羅星たち	26人
2月18日(土)	カッサンドル アール・デコの魅力	菰部容子（当館学芸員）	プリントアートの魅力	19人
2月25日(土)	アルフォンス・ミュシャ アール・ヌーヴォーの華	佐藤由美加（当館主任学芸員）	プリントアートの魅力	18人

平成24年度

プリントアート

版表現の魅力―帯広美術館コレクションを中心に

時間＝午後1時30分～3時

会場＝当館講堂、主展示室、コレクション・ギャラリー（参加料540円、応募制）

開催日	演 題	講 師	関連展覧会・事業	聴講者数
12月15日(土)	古き良き時代のヨーロッパ・ポスター	佐藤由美加（当館主任学芸員）	ベル・エポックのポスター／拡張する“版”	8人
12月22日(土)	これもプリントアート?! 広がる版の概念	石尾乃里子（当館学芸員）	ベル・エポックのポスター／拡張する“版”	15人
1月12日(土)	絵画・版画・写真 バルビゾン派と複製メディア	鎌田 享（当館学芸課長）	ベル・エポックのポスター／拡張する“版”	15人

ミュージアム・ミステリー

小学校中学年から高学年を対象とした事業。展覧会鑑賞や作品制作のためのさまざまな体験プログラムやワークショップを実施。自ら感じ考えながら作品とふれあう創造的な鑑賞姿勢を導き出すべく企画した。

平成23年度

ミュージアム・ミステリー 2011サマー とかちのビジュツを知ろう

開催日＝8月6日(土)、8月13日(土) 午前10時～12時

会場＝当館講堂、主展示室

参加者＝小学3～6年生 計10人

(8月6日＝6人、8月13日＝4人 参加料200円、応募制)

関連展覧会・事業＝十勝の美術クロニクル



「とかちのビジュツを知ろう」

プログラム

まず前半で、個別の作品に即したクイズやゲームを参加者に解いてもらいながら、たのしく展覧会を鑑賞。この間、折りにふれてファシリテーターから鑑賞ポイントや作品にまつわる情報も伝えるよう配慮した。後半では、前半の鑑賞をふまえ、参加者各々が好きな作品を選び、その作品と好きな理由を発表。参加者各自が作品に対する理解と鑑賞を深めること、またその鑑賞内容を参加者が互いに共有することを目指した。

キッズ・ツアー

各特別展の会期中に1回、小学生を主な対象としてギャラリー・ツアーを実施した。前年度まで実施してきたミュージアム・ミステリーでのノウハウを生かしつつ、より気軽に参加してもらうため、事前申込不要で時間の短いツアーとした。

時間＝午後2時～（約30分）

会場＝当館主展示室（要観覧券）



「画家の素顔 パレット＆絵画」キッズ・ツアー

平成24年度

開催日	講 師	関連展覧会・事業	参加者数
6月16日(土)	佐藤由美加（当館主任学芸員）	画家の素顔 パレット＆絵画	34人
7月28日(土)	鎌田 享（当館学芸課長）	棟方志功展	6人
10月27日(土)	石尾乃里子（当館学芸員）	オブ・アート展	8人
12月1日(土)	鎌田 享（当館学芸課長）	ベル・エポックのポスター	4人
2月2日(土)	佐藤由美加（当館主任学芸員）	山に魅せられた画家たち	4人

キッズ・ミュージアム

親子・家族連れの来館者を対象とした事業。各展覧会の会期中に1回託児の日を設け、日常ゆっくりと展覧会を鑑賞する機会の少ない幼児を連れた保護者に鑑賞の機会を提供した。託児の間、子どもたちには工作遊びを楽しんでもらった。本事業は、帯広美術館ボランティア「しらかばの会」との共催で実施した。工作遊びの内容検討から準備作業、当日の受付業務、託児、工作補助まで、ボランティア「しらかばの会」が中心となって運営した。

時間＝午後2時～4時（受付は午後3時30分まで）

会場＝当館講堂（託児無料）

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館ボランティア「しらかばの会」



「ゆるるアート」

平成23年度

開催日	工作内容	関連展覧会・事業	利用者数（内・子どもの数）
5月14日(土)	とびだすアート	無限迷宮 M.C.エッシャーの全貌	56人（32人）
7月16日(土)	海のなかまたち！	十勝の美術クロニクル	12人（6人）
11月5日(土)	おち葉であそぼう	巨匠たちの饗宴、芸術週間	16人（10人）
1月21日(土)	お絵かき（ヒ・ミ・ツ）	シャガール、パスキンとエコール・ド・パリの綺羅星たち	32人（14人）
3月17日(土)	楽しいはりえ	プリントアートの魅力	16人（8人）

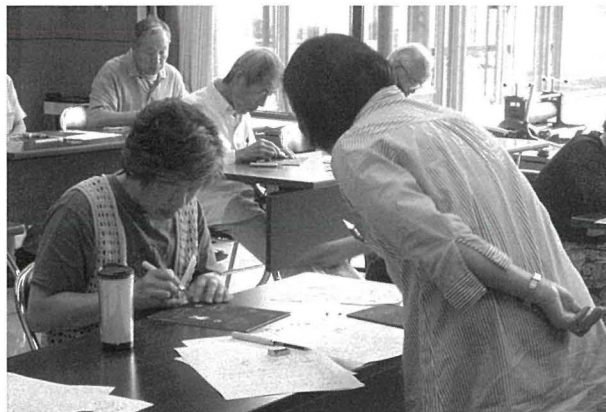
平成24年度

開催日	工作内容	関連展覧会・事業	利用者数（内・子どもの数）
6月9日(土)	時計・とけい・ウォッチ	画家の素顔 パレット&絵画	12人（5人）
8月4日(土)	紙ぞめあそび（うちわ）	棟方志功展	30人（18人）
11月3日(土・祝)	ゆるるアート	オブ・アート展、芸術週間	37人（19人）
12月8日(土)	こすり出し版画	ベル・エポックのポスター	9人（4人）
3月2日(土)	ダンボールであそぼ～	山に魅せられた画家たち	20人（9人）

ワークショップ等

開催中の展覧会に関連し、美術家を迎えての造形ワークショップや技法講座を行った。

会場＝当館講堂ほか



技法講座「木版画」奥秋広美氏

平成23年度

開催日	内 容	講 師	関連展覧会・事業	参加者数
5月22日(日) 午後1時30分 ～3時30分	NPO十勝文化会議ワークショップ (エッシャーの作品に登場するようなだまし絵やあり得ない形を描く)	中西堯昭氏、中谷有逸氏、瀧川秀敏氏 (NPO十勝文化会議美術部会員)	無限迷宮 M.C.エッシャーの全貌	33人
3月10日(土)～11日(日)* 午後1時30分～4時	技法講座「メゾチントの初歩」	中谷有逸氏(美術家)	プリントアートの魅力	17人
*帯広美術館振興会と共催				

平成24年度

開催日	内 容	講 師	関連展覧会・事業	参加者数
7月21日(土)～22日(日) 午後1時30分～4時	技法講座「木版画」	奥秋広美氏(平原社美術協会会員、北海道美術協会会友)棟方志功展		15人
2月23日(土) 午後2時～	NPO十勝文化会議ワークショップ 「十勝の山を描こう」	瀧川秀敏氏、由良真一氏、中西堯昭氏 (NPO十勝文化会議美術部会員)	山に魅せられた画家たち	11人

映写室

開催中の展覧会に関連したプログラムを中心に、映画、ビデオ、DVDの上映を行った。

時間＝午後２時～

＊平成24年 1 月28日(土)、29日(日)、平成25年 1 月26日(土)、
27日(日)は午後３時から上映。

会場＝当館講堂（入場無料）

平成23年度

開催日	上映作品	関連展覧会・事業	聴講者数
11月 1 日(火)	日本美術史 室町・桃山時代 水墨画・庭園・城・障壁画	巨匠たちの饗宴、芸術週間	12人
11月 2 日(水)	日本美術史 室町・桃山時代 南蛮美術	巨匠たちの饗宴、芸術週間	8人
11月 3 日(木・祝)	日本美術史 江戸時代の絵画	巨匠たちの饗宴、芸術週間	20人
11月 4 日(金)	日本美術史 浮世絵の系譜と西洋への影響	巨匠たちの饗宴、芸術週間	16人
11月 6 日(日)	日本美術史 明治・大正・昭和 西洋画との出会いと模索	巨匠たちの饗宴、芸術週間	8人
11月 7 日(月)	日本美術史 明治・大正・昭和 日本画の伝統と革新	巨匠たちの饗宴、芸術週間	10人
1 月28日(土)、29日(日)＊	ミュージアム・シアター「ハーブ&ドロシー アートの森の小さな巨人」	おびひろ氷まつり協賛事業	217人

平成24年度

開催日	上映作品	関連展覧会・事業	聴講者数
7 月 7 日(土)、8 月25日(土)	彫る 棟方志功の世界	棟方志功展	66人
1 月26日(土)、27日(日)＊	ミュージアム・シアター「ようこそ、アムステルダム国立美術館へ」	おびひろ氷まつり協賛事業	97人

コンサート

より幅広い層の市民に美術館に親しんでもらうため、展覧会内容や時季にあわせて美術館内でコンサートを開催した。



「クリスマス・コンサート」 グルーヴィン・シャウト&インプレス

平成23年度

開催日時	内 容	出演者	会 場	関連展覧会・事業	聴講者数
7月30日(土)* 午前11時～	グリーン・コンサート① 管弦楽	北海道音更高等学校管弦楽局	当館ロビー	十勝の美術クロニクル、 サマー・ミュージアム	106人
7月30日(土)* 午後2時～	グリーン・コンサート② 三味線	三味線集団Muじょん	当館ロビー	十勝の美術クロニクル、 サマー・ミュージアム	106人
12月17日(土)** 午後2時～	クリスマス・コンサート	グルーヴィン・シャウト&インプレス (ゴスペル・グループ)	当館ロビー	シャガール、パルキンとエ コール・ド・パリの綺羅星 たち	137人
2月11日(土)** 午後2時～	バレンタイン・コンサート 笹井由香～アール・マティ～ マリンバ・コンサート	笹井由香氏 (マリンバ)、伊藤夢里子氏 (ピアノ)、 村井 智氏 (チェロ)、浅井雄介氏 (ジャンベ)、 荒木祥衣氏 (パーカッション)、滝田恵水氏 (パーカッショ ン)	当館ロビー	プリントアートの魅力	171人

*帯広美術館振興会、帯広美術館ボランティア「しらかばの会」と共催

**帯広美術館振興会と共催

サマー・ミュージアム

児童生徒やその家族が美術館や美術作品に親しみを持ってもらうべく企画実施した事業。コンサートやワークショップなど多彩なプログラムを夏休み期間中の一日に集中的に開催。美術館に足を運ぶきっかけ作りとした。なお本事業は帯広美術館振興会、帯広美術館ボランティア「しらかばの会」と共催し、企画立案や運営の面で協同した。

平成23年度

開催日時＝7月30日(土) 午前11時～午後3時

会場＝当館ロビー、講堂

参加者＝計143人

開催展覧会＝自然へのまなざし、十勝の美術クロニクル

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館振興会、帯広美術館ボランティア「しらかばの会」



「グリーン・コンサート②三味線」三味線集団 Muじょん

プログラム

・グリーン・コンサート①管弦楽

出演＝北海道音更高等学校管弦楽局

時間＝午前11時～

会場＝当館ロビー（入場無料）

参加者＝106人

・グリーン・コンサート②三味線

出演＝三味線集団Muじょん

時間＝午後2時～

会場＝当館ロビー（入場無料）

参加者＝106人

・ワークショップ「モビールをつくろう」

講師＝帯広美術館ボランティア「しらかばの会」

時間＝午前12時～午後3時

会場＝当館講堂（参加無料）

参加者＝37人

芸術週間

道立の文化施設では、道民が芸術に親しむ機運を醸成すべく、平成11年度より文化の日をはさむ7日間を芸術週間として設定した。期間中は幅広い広報活動を行うことで施設や事業の案内・周知に努めるとともに、一週間を通じて開館日とし、各種の教育普及事業を集中的に開催。またコレクション・ギャラリー観覧料を無料とすることで道民の関心を喚起して利用の促進を図った。

平成23年度

月 日	実 施 内 容
11月1日(火)	○映写室 日本美術史 室町・桃山時代 水墨画・庭園・城・障壁画 ○図録フェア
11月2日(水)	○映写室 日本美術史 室町・桃山時代 南蛮美術 ○図録フェア
11月3日(木・祝)	○祝日開館 ○特別展の小中生観覧無料 (帯広美術館ボランティア「しらかばの会」無料招待事業) ○映写室 日本美術史 江戸時代の絵画 ○図録フェア
11月4日(金)	○映写室 日本美術史 浮世絵の系譜と西洋への影響 ○図録フェア
11月5日(土)	○特別展の小中生観覧無料 (帯広美術館ボランティア「しらかばの会」無料招待事業) ○キッズ・ミュージアム「おち葉であそぼう」 ○図録フェア
11月6日(日)	○特別展の小中生観覧無料 (帯広美術館ボランティア「しらかばの会」無料招待事業) ○映写室 日本美術史 明治・大正・昭和 西洋画との出会いと模索 ○図録フェア
11月7日(月)	○臨時開館 ○映写室 日本美術史 明治・大正・昭和 日本画の伝統と革新 ○図録フェア

期間中の開催展覧会

コレクション・ギャラリー「美術のみ・か・た くらべて
みれば…」／主展示室「巨匠たちの饗宴」

平成24年度

月 日	実 施 内 容
1月1日(木)	○特別展の小中生観覧無料 (帯広美術館ボランティア「しらかばの会」無料招待事業) ○図録フェア
11月2日(金)	○特別展の小中生観覧無料 (帯広美術館ボランティア「しらかばの会」無料招待事業) ○図録フェア
11月3日(土・祝)	○祝日開館 ○特別展の小中生観覧無料 (帯広美術館ボランティア「しらかばの会」無料招待事業) ○キッズ・ミュージアム「ゆるるアート」 ○図録フェア
11月4日(日)	○特別展の小中生観覧無料 (帯広美術館ボランティア「しらかばの会」無料招待事業) ○図録フェア
11月5日(月)	○臨時開館 ○特別展の小中生観覧無料 (帯広美術館ボランティア「しらかばの会」無料招待事業) ○図録フェア
11月6日(火)	○特別展の小中生観覧無料 (帯広美術館ボランティア「しらかばの会」無料招待事業) ○図録フェア
11月7日(水)	○特別展の小中生観覧無料 (帯広美術館ボランティア「しらかばの会」無料招待事業) ○図録フェア

期間中の開催展覧会

コレクション・ギャラリー「田園に謳う」／主展示室「オ
プ・アート展」

おびひろ氷まつり協賛事業

例年1月最後の週末、帯広美術館が立地する帯広市緑ヶ丘公園を主会場に、「おびひろ氷まつり」が開催される。本事業は、「おびひろ氷まつり」の来場者に美術館に親しんでもらうべく企画実施したもの。美術館前庭で氷まつりにちなんだイベントを行うほか、映写室やコンサートの実施、特設カフェの開催など多彩なプログラムを設け、美術館に足を運ぶきっかけ作りとした。なお本事業は帯広美術館振興会、帯広美術館ボランティア「しらかばの会」と協同して実施した。

平成23年度

開催日＝1月27日(金)～29日(日)

会場＝当館前庭、ロビー、講堂ほか

参加者＝計1,227人

開催展覧会＝コレクションのあゆみ、シャガール、バルキンとエコール・ド・パリの綺羅星たち

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館振興会

協力＝帯広美術館ボランティア「しらかばの会」

プログラム

・雪中パークゴルフ de 文字並べクイズ

美術館前庭に雪のパークゴルフ場を設営。四つのホールを巡りながら文字を集め、並べ替えてひとつの言葉にするゲームを実施した。

日時＝1月27日(金)、28日(土)、29日(日) 午前11時～午後4時

会場＝当館前庭（参加無料）

参加者＝896人

・ロビーカフェ de 冬の花火

「おびひろ氷まつり」主会場で行われる花火の打ち上げにあわせ、当館ロビーに特設カフェを設営し、飲み物を提供した。

日時＝1月27日(金)、28日(土) 午後5時30分～8時

会場＝当館ロビー、廊下

参加者＝114人

・ミュージアム・シアター「ハーブ&ドロシー アートの森の小さな巨人」

日時＝1月28日(土)、29日(日) 午後3時～

会場＝当館講堂（入場無料）

参加者＝217人



「ロビーカフェ de 冬の花火」

平成24年度

開催日 = 1月25日(金)～27日(日)

会場 = 当館前庭、ロビー、講堂ほか

参加者 = 計663人

開催展覧会 = 拡張する“版”、山に魅せられた画家たち

主催 = 北海道立帯広美術館、帯広美術館振興会

協力 = 帯広美術館ボランティア「しらかばの会」

プログラム

・雪中パークゴルフ de 文字並べクイズ

美術館前庭に雪のパークゴルフ場を設営。四つのホールを巡りながら文字を集め、並べ替えてひとつの言葉にするゲームを実施した。

日時 = 1月26日(土)、27日(日) 午前11時～午後4時

会場 = 当館前庭 (参加無料)

参加者 = 457人

・ロビーカフェ de 冬の花火

「おびひろ氷まつり」主会場で行われる花火の打ち上げにあわせ、当館ロビーに特設カフェを設営し、飲み物を提供した。

日時 = 1月25日(金)、26日(土) 午後5時30分～8時

会場 = 当館ロビー、廊下

参加者 = 109人

・ミュージアム・シアター「ようこそ、アムステルダム国立美術館へ」

日時 = 1月26日(土)、27日(日) 午後3時～

会場 = 当館講堂 (入場無料)

参加者 = 97人



「雪中パークゴルフ de 文字並べクイズ」

団体オリエンテーション

団体観覧者のうち希望するグループに対して、パソコン画像を使用しながら当館の概要と開催中の特別展およびコレクション・ギャラリーの内容を紹介するオリエンテーションを実施した。

平成23年度

開催展覧会	展覧会会期	実施回数	利用者数
風景に、浸る。自然と、遊ぶ。	4月1日(金)～4月13日(水)	1回	22人
無限迷宮 M.C.エッシャーの全貌	4月22日(金)～6月22日(水)	24回	1,477人
十勝の美術クロニクル	7月1日(金)～9月7日(水)	15回	655人
美術のみ・か・た くらべてみれば…	9月16日(金)～11月7日(月)	1回	24人 *コレクション・ギャラリーのみ観覧
巨匠たちの饗宴	9月16日(金)～11月7日(月)	20回	611人
シャガール、パルキンとエコール・ド・パリの綺羅星たち	11月22日(火)～2月1日(水)	10回	457人
プリントアートの魅力	2月10日(金)～3月31日(土)	5回	252人

平成24年度

開催展覧会	展覧会会期	実施回数	利用者数
プリントアートの魅力	4月1日(日)～4月11日(水)	0回	0人
画家の素顔 バレット&絵画	4月20日(金)～6月20日(水)	10回	398人
十勝の美術	6月29日(金)～8月29日(水)	1回	23人 *コレクション・ギャラリーのみ観覧
棟方志功展	6月29日(金)～8月29日(水)	13回	424人
田園に謳う	9月7日(金)～11月7日(水)	1回	11人 *コレクション・ギャラリーのみ観覧
オブ・アート展	9月7日(金)～11月7日(水)	17回	555人
ベル・エポックのポスター	11月16日(金)～1月16日(水)	5回	91人
山に魅せられた画家たち	1月25日(金)～3月24日(日)	3回	168人

セルフガイド（クイズ）

コレクション・ギャラリーおよび主展示室で開催中の展覧会について、出品作品数点に関するクイズを作成し、希望する観覧者に配布した。それぞれの設問は、主として小学校中学年を対象とし、作品の主題や技法に注意を喚起することで、作品鑑賞の一助となるように努めた。

平成23年度

開催展覧会	展覧会会期	会 場	利用者数
顔・かお・カオ	4月1日(金)～4月13日(休)	コレクション・ギャラリー	27人
風景に、浸る。自然と、遊ぶ。	4月1日(金)～4月13日(休)	主展示室	33人
神々の物語	4月22日(金)～6月22日(休)	コレクション・ギャラリー	1,457人
無限迷宮 M.C.エッシャーの全貌	4月22日(金)～6月22日(休)	主展示室	3,466人
自然へのまなざし	7月1日(金)～9月7日(休)	コレクション・ギャラリー	820人
十勝の美術クロニクル	7月1日(金)～9月7日(休)	主展示室	982人
美術のみ・か・た くらべてみれば…	9月16日(金)～11月7日(月)	コレクション・ギャラリー	378人
巨匠たちの饗宴	9月16日(金)～11月7日(月)	主展示室	500人
コレクションのあゆみ	11月22日(休)～3月31日(土)	コレクション・ギャラリー	574人
シャガール、パルキンとエコール・ド・パリの綺羅星たち	11月22日(休)～2月1日(休)	主展示室	764人
プリントアートの魅力	2月10日(金)～3月31日(土)	主展示室	353人

平成24年度

開催展覧会	展覧会会期	会 場	利用者数
コレクションのあゆみ	4月1日(日)～4月11日(休)	コレクション・ギャラリー	138人
プリントアートの魅力	4月1日(日)～4月11日(休)	主展示室	145人
具象と抽象	4月20日(金)～6月20日(休)	コレクション・ギャラリー	713人
画家の素顔 パレット&絵画	4月20日(金)～6月20日(休)	主展示室	734人
十勝の美術	6月29日(金)～8月29日(休)	コレクション・ギャラリー	533人
棟方志功展	6月29日(金)～8月29日(休)	主展示室	687人
田園に謳う	9月7日(金)～11月7日(休)	コレクション・ギャラリー	922人
オブ・アート展	9月7日(金)～11月7日(休)	主展示室	1,220人
拡張する“版”	11月16日(金)～3月24日(日)	コレクション・ギャラリー	738人
ベル・エポックのポスター	11月16日(金)～1月16日(休)	主展示室	186人
山に魅せられた画家たち	1月25日(金)～3月24日(日)	主展示室	332人

博物館実習

関係各大学の依頼により、学芸員資格取得希望の学生を受け入れ博物館実習を実施した。

受入の条件として、①帯広・十勝を中心とした地元出身者で、②美術（美学・美術史、美術教育、美術実技）を専攻しており、③卒業後に博物館勤務を現に希望する学生であることを原則とした。

実習内容は、実践的な学芸業務を中心としながらも、管理業務やボランティア体験など、美術館全体についてひろく知見を高めるよう留意した。

平成23年度

受入期間＝10月14日(金)～10月25日(火) ＊月曜日を除く10日間

受入人数＝2名（跡見学園女子大学、立命館大学）

実習日程

月 日	午 前 (8:45-12:00)				昼休	午 後 (13:00-17:30)				
10月14日(金)	8:45-9:30(45分) オリエンテーション	9:30-10:00(30分) 講義【美術館概要】	10:00-11:00(60分) 施設見学	11:00-12:00(60分) 展覧会見学		13:00-14:00(60分) 講義 【帯広美術館の役割】	14:00-15:00(60分) 講義【展覧会活動】	15:00-16:00(60分) 講義【作品収集活動】	16:00-17:00(60分) 講義【美術館の予算】	17:00-17:30 展示室巡回 まとめ
15日(土)	8:45-9:00 準備 展示室巡回	9:00-10:00(60分) 講義【教育普及活動】	10:00-11:00(60分) 講義 【二次資料収集活動】	11:00-12:00(60分) 講義【広報活動】		13:00-15:00(120分) 学芸実務実習【特別展、コレクション・ギャラ リー セルフガイド(クイズ)作成①】		15:00-17:00(180分) 学芸実務実習【美術講演会 補助・見学】		17:00-17:30 展示室巡回 まとめ
16日(日)	8:45-9:00 準備 展示室巡回	9:00-12:00(180分) 学芸実務実習【キャプション整理①】				13:00-17:00(240分) 美術館実務実習【ボランティア実務(ティー・ラウンジ、ミュージアム・ショップ、ライブラリー)】				17:00-17:30 展示室巡回 まとめ
17日(月)	休 日 / 休 館 日									
18日(火)	8:45-9:00 準備 展示室巡回	9:00-12:00(180分) 美術館実務実習【広報印刷物 発送準備①】				13:00-14:30(90分) 美術館実務実習【広報印刷物 発送準備②】		14:30-17:00 学芸実務実習【キャプション整理②】		17:00-17:30 展示室巡回 まとめ
19日(水)	8:45-9:00 準備 展示室巡回	9:00-12:00(180分) 学芸実務実習【特別展、コレクション・ギャラリー セルフガイド(クイ ズ)作成②】				13:00-17:00(240分) 学芸実務実習【二次資料 整理①】		17:00-17:30 展示室巡回 まとめ		
20日(木)	8:45-9:00 準備 展示室巡回	9:00-12:00(180分) 学芸実務実習【特別展、コレクション・ギャラリー セルフガイド(クイ ズ)作成③】				13:00-17:00(240分) 学芸実務実習【所蔵品図録 校正①】		17:00-17:30 展示室巡回 まとめ		
21日(金)	8:45-9:00 準備 展示室巡回	9:00-12:00(180分) 美術館実務実習【来館者案内、展示室監視】				13:00-17:00(240分) 学芸実務実習【所蔵品図録 校正②】		17:00-17:30 展示室巡回 まとめ		
22日(土)	8:45-9:00 準備 展示室巡回	9:00-12:00(180分) 学芸実務実習【二次資料 整理②】				13:00-17:00(240分) 学芸実務実習【解説パネル 原稿作成】		17:00-17:30 展示室巡回 まとめ		
23日(日)	8:45-9:00 準備 展示室巡回	9:00-12:00(180分) 学芸実務実習【年報 原稿作成】				13:00-17:00(240分) 学芸実務実習【二次資料 整理③】		17:00-17:30 展示室巡回 まとめ		
24日(月)	休 日 / 休 館 日									
25日(火)	8:45-9:00 準備 展示室巡回	9:00-12:00(180分) 学芸実務実習【二次資料 整理④】				13:00-15:00(120分) 学芸実務実習実習 【セルフガイド(クイズ)発表】		13:00-15:00(120分) 講義 【終了にあたって】	13:00-15:00(120分) 実習日誌作成、まとめ	

平成24年度

受入期間＝9月25日(火)～10月5日(金) ＊月曜日を除く10日間

受入人数＝1名（京都造形芸術大学）

実習日程

月 日	午 前 (8:45-12:00)			昼休	午 後 (13:00-17:30)				
9月25日(火)	8:45-9:30(45分) オリエンテーション	9:30-11:00(90分) 施設見学		11:00-12:00(60分) 展覧会見	13:00-14:00(60分) 講義 【帯広美術館の役割】	14:00-15:00(60分) 講義【展覧会活動】	15:00-16:00(60分) 講義【作品収集活動】	16:00-17:00(60分) 講義【美術館の予算】	17:00-17:30 展示室巡回 まとめ
26日(水)	8:45-9:00 準備 展示室巡回	9:00-10:00(60分) 講義【美術館概要】	10:00-11:00(60分) 講義 【二次資料収集活動】	11:00-12:00(60分) 講義【教育普及活動】	13:00-14:00(60分) 講義【広報活動】	14:00-17:00(180分) 学芸実務実習【教育普及事業 チラシ作成①】			17:00-17:30 展示室巡回 まとめ
27日(木)	8:45-9:00 準備 展示室巡回	9:00-11:00(120分) 学芸実務実習【教育普及事業 チラシ作成②】		11:00-12:00(60分) 学芸実務実習 【オリエンテーション見学】	13:00-14:00(60分) 学芸実務実習 【作品貸出準備】	14:00-17:00(180分) 学芸実務実習【オリエンテーション 原稿作成①】			17:00-17:30 展示室巡回 まとめ
28日(金)	8:45-9:00 準備 展示室巡回	9:00-12:00(180分) 美術館実務実習【広報印刷物 発送準備①】			13:00-17:00(240分) 学芸実務実習【オリエンテーション 原稿作成②】				17:00-17:30 展示室巡回 まとめ
29日(土)	8:45-9:00 準備 展示室巡回	9:00-12:00(180分) 学芸実務実習【オリエンテーション 原稿作成③】			13:00-15:00(120分) 学芸実務実習【ギャラリー・ツアー 補助・見学】		15:00-17:00(120分) 学芸実務実習【オリエンテーション 原稿作成④】		17:00-17:30 展示室巡回 まとめ
30日(日)	8:45-9:00 準備 展示室巡回	9:00-12:00(180分) 学芸実務実習【展覧会記録写真 整理】			13:00-17:00(240分) 学芸実務実習【オリエンテーション 原稿作成⑤】				17:00-17:30 展示室巡回 まとめ
10月1日(月)	休 日 / 休 館 日								
2日(火)	8:45-9:00 準備 展示室巡回	9:00-12:00(180分) 学芸実務実習【オリエンテーション 原稿作成⑥】			13:00-17:00(240分) 美術館実務実習【ボランティア実務（ティー・ラウンジ、ミュージアム・ショップ、ライブラリー）】				17:00-17:30 展示室巡回 まとめ
3日(水)	8:45-9:00 準備 展示室巡回	9:00-12:00(180分) 美術館実務実習【来館者案内、展示室監視】			13:00-17:00(240分) 美術館実務実習【広報印刷物 発送準備②】				17:00-17:30 展示室巡回 まとめ
4日(木)	8:45-9:00 準備 展示室巡回	9:00-12:00(180分) 学芸実務実習【コレクション・ギャラリー セルフガイド(クイズ)作成①】			13:00-17:00(240分) 学芸実務実習【コレクション・ギャラリー セルフガイド(クイズ)作成②】				17:00-17:30 展示室巡回 まとめ
5日(金)	8:45-9:00 準備 展示室巡回	9:00-12:00(180分) 学芸実務実習【コレクション・ギャラリー セルフガイド(クイズ)作成③】			13:00-15:00(120分) 学芸実務実習【セルフガイド(クイズ)発表】 【オリエンテーション発表】		15:00-15:30(30分) 講義 【終了にあたって】	15:30-17:30(120分) 実習日誌作成、まとめ	

教員研修プログラム

小学校・中学校・高等学校等の教員に長期休業期間中の自己研修の機会を提供するとともに、美術館施設を活用した学習や美術の鑑賞授業についての実践的なヒントを提供するために、教員研修プログラムを実施した。

研修内容は、当館で展覧会ごとに作成・使用しているセルフガイド（クイズ）を参加者各自が作成し相互に検証するグループワークを中心に据えた。併せて、館内諸施設の見学やボランティア活動の体験を行い、美術館活動全般について広く研修できるように留意した。

平成24年度

受入期間＝8月7日(火)～8月10日(金)

受入人数＝4名（帯広市立光南小学校、帯広市立川西中学校、北海道中札内高等養護学校）

研修日程

月 日	午前（10:00～12:00）		昼休	午後（13:00～16:30）		
8月7日(火)	10:00～10:30(30分) オリエンテーション	10:30～12:00(90分) 施設見学		13:00～14:00(60分) 講義 【棟方志功と日本の木版画】	14:00～15:00(60分) 講義【帯広美術館の活動】	15:00～16:30(90分) 展覧会見学
8日(水)	10:00～12:00(120分) 演習【セルフガイド(クイズ)の目的と構成】			13:00～15:00(120分) 演習【コレクション・ギャラリー（十勝の美術）のセルフガイド（クイズ）作成】	15:00～16:30(90分) 演習【セルフガイド(クイズ)の実践】	
9日(木)	10:00～12:00(120分) 演習【特別展(棟方志功展)のセルフガイド(クイズ)の作成】			13:00～15:00(120分) 演習【特別展(棟方志功展)のセルフガイド(クイズ)の作成】	15:00～16:30(90分) 演習【セルフガイド(クイズ)の実践】	
10日(金)	10:00～12:00(120分) ボランティア活動体験			13:00～15:00(120分) ボランティア活動体験	15:00～16:30(90分) 研修のまとめ	

出張アート教室

小学校、中学校、高等学校および特別支援学校の学校関係者に道立美術館等を学習の場として広く活用できることを認識してもらうこと、また美術館等の所蔵作品の有効利用を図ることを目的として、各道立美術館等が主催となって実施した事業。学芸員が学校に美術館の所蔵作品を持参して出向き、児童・生徒に実物をみせながらわかりやすく鑑賞の手ほどきを行った。平成24年度は下記の2校の希望校に赴いた。



帯広市立光南小学校「イメージを伝える」

平成24年度

実施日	学校名・学年	授業名・内容	人数
10月18日(木)	池田町立池田中学校第3学年2学級	郷土の美術に触れる（道東の美術に関連し、神田日勝《瘦馬》を紹介）	66人
10月31日(木)	帯広市立光南小学校第6学年2学級	イメージを伝える（プリントアートに関連し、オガロによるリトグラフ・ポスター《自転車タイヤ『ミシュラン』》を紹介）	60人

学校教育との連携

中学校や高校の「職場体験学習」などの授業を受け入れ、美術館教育と学校教育との連携を図った。各授業では美術館の施設や活動などについて、当館職員が適宜、説明や指導にあたった。また、美術館業務やボランティア活動の体験も行った。

平成23年度

日 時	学校名	授業名・内容	人 数
4月28日(木)	芽室町立上美生中学校	施設見学	14人
5月15日(日)	札幌大学	博物館見学実習	15人
5月28日(日)	帯広大谷短期大学	博物館見学実習	13人
9月7日(水)、9月8日(木)	帯広市立南町中学校	職場体験学習	3人
9月21日(水)～9月23日(金)	北海道帯広農業高等学校	インターンシップ	2人
10月12日(水)	音更町立下音更中学校	職場体験学習	1人
10月13日(木)	帯広市立翔陽中学校	職場体験学習	3人
10月20日(木)	帯広市立西陵中学校	職場体験学習	3人
10月22日(土)	帯広大谷短期大学	ボランティア実習	13人
1月26日(木)	帯広市立南町中学校	美術（雪像作り）	178人
1月28日(土)、29日(日)	帯広大谷短期大学	ボランティア実習	5人

平成24年度

日 時	学校名	授業名・内容	人 数
7月7日(土)	帯広大谷短期大学	博物館見学実習	20人
7月11日(水)	浦河町立浦河第一中学校	職場訪問	8人
7月24日(火)	音更町立共栄中学校	職場体験学習	3人
7月27日(金)	北海道造形教育連盟	全道造形教育研究大会・公開授業	76人
8月7日(火)	帯広市中学校長会	夏季研修会	13人
9月19日(水)～21日(金)	北海道大樹高等学校	インターンシップ	1人
10月25日(木)	帯広市立西陵中学校	職場体験学習	8人
10月27日(土)	池田町立池田中学校	職場体験学習	11人
11月30日(金)～2月3日(日)	帯広市立南町中学校	美術（鑑賞と制作）	204人
1月19日(土)、26日(土)、27日(日)、2月10日(日)	帯広大谷短期大学	ボランティア実習	9人
3月9日(土)	池田町立池田中学校	出張アート教室事後学習	65人

他団体との連携

帯広美術館ボランティア「しらかばの会」や地元公共機関など他団体が主催する事業に、会場提供や講師派遣など協力を行い、美術館活動の普及に努めた。

平成23年度

日 時	主催団体名	事業名・内容	人 数
5月1日(日)、3日(火)、4日(水)、5日(木)	帯広美術館ボランティア「しらかばの会」	グリーン・テラス（「無限迷宮 M.C.エッシャーの全貌」期間中、ロビーで茶菓を提供）	348人
5月21日(土)	音更町教育委員会	図書館芸術鑑賞講座「エッシャーの全貌 不思議の世界を探る」（講師＝鎌田享・当館学芸課長）	21人
8月3日(水)～5日(金)	十勝教育局	十勝教育局10年経験者研修（施設見学と美術館業務体験）	8人
8月4日(木)	帯広市教育委員会	帯広市民大学学習プラザ「美術鑑賞 十勝の美術クロニクル」（講師＝蒔部容子・当館学芸員）	31人
8月20日(土)、21日(日)	帯広美術館ボランティア「しらかばの会」	ロビー喫茶（「十勝の美術クロニクル」期間中、ロビーで茶菓を提供）	28人
9月17日(土)	北海道新聞帯広支社	秋の北海道マイホームセンターイベント「『ウッドワン美術館名品選 巨匠たちの饗宴』の秘密」（講師＝佐藤由美加・当館主任学芸員）	15人
9月23日(金・祝)～25日(日)	帯広美術館ボランティア「しらかばの会」	オープン・カフェ（「巨匠たちの饗宴」期間中、ロビーで茶菓を提供）	94人
10月7日(金)	帯広市教育委員会	帯広市民大学学習プラザ「美術鑑賞 巨匠たちの饗宴—日本近代絵画—」（講師＝佐藤由美加・当館主任学芸員）	23人
10月16日(日)	道新ぶんぶんクラブ、北海道新聞帯広支社	道新ぶんぶんクラブ特別鑑賞会「『ウッドワン美術館名品選 巨匠たちの饗宴』の秘密」	86人
10月20日(木)	とかちエルダー倶楽部	とかちエルダー倶楽部「巨匠たちの饗宴—日本近代絵画—」（講師＝佐藤由美加・当館主任学芸員）	23人
10月20日(木)	釧路芸術館ボランティアの会SOA	釧路芸術館ボランティアの会SOA「巨匠たちの饗宴—日本近代絵画—」（講師＝佐藤由美加・当館主任学芸員）	32人
12月11日(日)	帯広美術館ボランティア「しらかばの会」	オビビ・キッズ・アートフェスタ2011 つくるん・みるるん・あそぶん（工作遊びと展覧会案内）	22人
1月15日(日)	音更町教育委員会	図書館芸術鑑賞講座「シャガール、パルキン…パリに生きた画家たち」（講師＝鎌田享・当館学芸課長）	51人

平成24年度

日 時	主催団体名	事業名・内容	人 数
5月3日(火)～6日(金)	帯広美術館ボランティア「しらかばの会」	グリーン・テラス（「画家の素顔 パレット&絵画」期間中、ロビーで茶菓を提供）	93人
7月1日(日)、8日(日)、15日(日)、22日(日)、29日(日)、8月5日(日)、12日(日)、19日(日)、26日(日)	帯広美術館ボランティア「しらかばの会」	お呈茶（「棟方志功展」期間中、ロビーで茶道各流派によるお点前を披露）	400人
7月14日(土)	音更町教育委員会	図書館芸術鑑賞講座 コレクション・ギャラリー「十勝の美術」関連内容（講師＝佐藤由美加・当館主任学芸員）	20人
7月25日(水)、31日(火)、8月1日(水)	十勝教育局	十勝教育局10年経験者研修（施設見学と美術館業務体験）	24人
8月11日(土)	中谷有逸展実行委員会	中谷有逸展 ギャラリー対談（講師＝鎌田享・当館学芸課長）	60人
9月16日(日)	十勝・帯広六稜会	十勝・帯広六稜会9月研修会「オブティカル・アートについて」（講師＝石尾乃里子・当館学芸員）	16人
1月6日(日)	帯広美術館振興会	ミュージアム・インビテーション「印刷技術とデザイン」（講師＝山本正広氏・印刷技術者、田中耕三氏・グラフィックデザイナー）	17人
1月13日(日)	帯広美術館ボランティア「しらかばの会」	オビビ・キッズ・アートフェスタ2013 つくるん・みるるん・あそぶん（工作遊び）	12人
1月13日(日)	帯広美術館振興会	ミュージアム・コンサート「ミュージアム・ジャズライブ」（出演＝あすみジャズ・カルテット with 高橋康廣）	122人
1月14日(月・祝)	帯広美術館振興会	ミュージアム・インビテーション「ポスターから読み解く時代と生活」（講師＝池添博彦氏・帯広大谷短期大学名誉教授）	41人
2月7日(木)、8日(金)	十勝毎日新聞社	SALA会員限定ガイドツアー（講師＝佐藤由美加・当館主任学芸員）	11人
2月17日(日)	音更町教育委員会	図書館芸術鑑賞講座「描かれた日本の山」（講師＝佐藤由美加・当館主任学芸員）	60人

美術作品の収集

平成23年度 作品収集状況

【分野別】

	前年度末作品点数		平成23年度収集数			平成23年度末 所蔵点数		受託作品			作品総数	
			購 入	受 贈	合 計			前年度末	平成23年度	計		
油 彩	67	9.7%	0	10	10	77	11.0%	32	0	32	109	14.6%
日 本 画	8	1.2%	0	0	0	8	1.1%	1	0	1	9	1.2%
水彩・素描	31	4.5%	0	0	0	31	4.4%	10	0	10	41	5.5%
版 画	274	39.7%	0	0	0	274	39.0%	1	0	1	275	36.7%
彫 塑	13	1.9%	0	2	2	15	2.1%	2	0	2	17	2.3%
工 芸	1	0.1%	0	0	0	1	0.1%	0	0	0	1	0.1%
デ ザ イ ン	251	36.4%	0	0	0	251	35.8%	0	0	0	251	33.6%
写 真	45	6.5%	0	0	0	45	6.4%	0	0	0	45	6.0%
合 計	690	100.0%	0	12	12	702	100.0%	46	0	46	748	100.0%

【収集区分別】

	前年度末作品点数		平成23年度収集数			平成23年度末 所蔵点数		受託作品			作品総数	
			購 入	受 贈	合 計			前年度末	平成23年度	計		
道東の美術	256	37.1%	0	12	12	268	38.1%	36	0	36	304	40.6%
プリントアート	570	82.6%	0	0	0	570	81.2%	1	0	1	571	76.3%
西洋の美術	76	11.0%	0	0	0	76	10.8%	6	0	6	82	11.0%
区 分 外	12	1.7%	0	0	0	12	1.7%	4	0	4	16	2.1%

*複数の収集区分に重複する作品があるため、構成比の合計は100%を超える。

受贈

作品番号	分野	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)	寄贈者
2011001	油彩	おおとひでお	太陽をとる王様	1965 (昭和40)	油彩、紙、板	160.9×129.0	大戸秀夫氏
2011002	油彩	おおとひでお	喰魂鬼 (イ)	1977 (昭和52)	油彩、胡粉、紙、板	131.6×162.1	大戸秀夫氏
2011003	油彩	菅野 要	温室の見える風景	1941 (昭和16)	油彩、キャンバス	38.2×45.6	菅野 淳氏
2011004	油彩	熊代 弘法	シャボン玉	1964 (昭和39)	油彩、キャンバス	112.3×144.9	熊代弘法氏
2011005	油彩	熊代 弘法	ウベベサンケ山	1969 (昭和44)	油彩、キャンバス	130.7×145.7	熊代弘法氏
2011006	油彩	小林 守材	風景	1948 (昭和23)	油彩、板	58.0×79.0	中山美智子氏
2011007	油彩	佐野まさの	100本のマッチの中で最も美しい1本	1979 (昭和54)	油彩、キャンバス	130.1×161.7	佐野ひとみ氏
2011008	彫塑	佐野まさの	意識の装置	1995 (平成7)	ミクストメディア	径35.9×H14.5	佐野ひとみ氏
2011009	油彩	佐野まさの	作品	不詳	ミクストメディア、板	91.0×61.0×5.3	佐野ひとみ氏
2011010	彫塑	高橋 英双	proto plast (原形体)	1988 (昭和63)	木	45.3×92.0×15.3	高橋摂子氏
2011011	油彩	長尾 栄三	緑樹池畔	1985 (昭和60)	油彩、キャンバス	162.2×130.6	長尾フミ子氏
2011012	油彩	中西 堯昭	凍林	1988 (昭和63)	油彩、キャンバス	130.3×162.1	中西堯昭氏

*寸法は縦×横。

平成24年度 作品収集状況

【分野別】

	前年度末作品点数		平成24年度収集数			平成24年度末 所蔵点数		受託作品			作品総数	
			購 入	受贈	合 計			前年度末	平成24年度	計		
油 彩	77	11.0%	0	0	0	77	10.9%	32	0	32	109	14.5%
日 本 画	8	1.1%	0	0	0	8	1.1%	1	0	1	9	1.2%
水彩・素描	31	4.4%	0	0	0	31	4.4%	10	0	10	41	5.4%
版 画	274	39.0%	0	5	5	279	39.5%	1	0	1	280	37.2%
彫 塑	15	2.1%	0	0	0	15	2.1%	2	0	2	17	2.3%
工 芸	1	0.1%	0	0	0	1	0.1%	0	0	0	1	0.1%
デ ザ イン	251	35.8%	0	0	0	251	35.5%	0	0	0	251	33.3%
写 真	45	6.4%	0	0	0	45	6.4%	0	0	0	45	6.0%
合 計	702	100.0%	0	5	5	707	100.0%	46	0	46	753	100.0%

【収集区分別】

	前年度末作品点数		平成24年度収集数			平成24年度末 所蔵点数		受託作品			作品総数	
			購 入	受贈	合 計			前年度末	平成24年度	計		
道東の美術	268	38.1%	0	5	5	273	38.6%	36	0	36	311	41.3%
プリントアート	570	81.2%	0	5	5	575	81.3%	1	0	1	576	76.5%
西洋の美術	76	10.8%	0	0	0	76	10.7%	6	0	6	82	10.9%
区 分 外	12	1.7%	0	0	0	12	1.7%	4	0	4	16	2.1%

＊複数の収集区分に重複する作品があるため、構成比の合計は100%を超える。

受贈

作品番号	分野	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法（cm）	寄贈者
2012001	版画	中谷有逸	大地の神・碑（風に聞く）	2001（平成13）	ステンシル版、腐蝕版、アルミ板、パネル	117.0×91.0	中谷有逸氏
2012002	版画	中谷有逸	碑・古事記（二人）	2008（平成20）	ステンシル版、キャンバス	162.0×130.4	中谷有逸氏
2012003	版画	中谷有逸	碑・古事記（一つが二つ）	2008（平成20）	ステンシル版、パネル	145.7×112.0	中谷有逸氏
2012004	版画	中谷有逸	碑・古事記（アマノイワト考）	2009（平成21）	ステンシル版、パネル	145.5×112.2	中谷有逸氏
2012005	版画	中谷有逸	碑・古事記（建・御雷神）	2011（平成23）	ステンシル版、パネル	112.2×145.8	中谷有逸氏

＊寸法は縦×横。

図版目録

凡例

1. この目録には、平成23年4月1日から平成25年3月31日までに北海道立帯広美術館に収蔵された作品を収録した。
2. 各作品は材質・形状により、次の分野に分類した。
 1. 油彩
 2. 版画
 3. 彫塑
3. 作品は各分野ごとに姓の50音順に配列した。同一作家の作品が各分野に2点以上ある場合は制作年順に配列した。
4. 各作品のデータ記載事項と順序は次のとおりである。
作家名、作家名欧文、生没年、作品名、作品名欧文、制作年、技法材質、寸法、初出展覧会（開催年／会場／受賞等）、収集年度・所蔵の経緯、作品番号（収集区分）
5. データ記載事項のうち、不詳のものは表記を省略した。
6. 寸法はセンチメートルを単位とし、平面作品には縦×横、レリーフ状の作品には縦×横×奥行、立体作品には幅×奥行×高さ等を示した。また、組作品のなかには、主要な1点を選択し、その寸法を記載したものがある。
7. 収集区分は、次の3つの収集方針に基づいて分類した。
 1. 道 東 の 美 術：十勝・釧路・根室・オホーツクの北海道東部4管内にゆかりの作家・作品と関連する作品
 2. プリントアート：近現代を主とし国内外の版画やポスターを中心とした作品
 3. 西 洋 の 美 術：バルビゾン派をはじめ田園風景・農村風俗を主題とした作品
8. 収集区分の記載にあたり、複数の区分を併記したものがある。

油 彩

おおと ひでお
ÔTO Hideo
1938 (昭和13) ~

太陽をとる王様
King Catching the Sun
1965 (昭和40)
油彩、紙、板
160.9×129.0
平成23年度・大戸秀夫氏寄贈
2011001 (道東の美術)



おおと ひでお
ÔTO Hideo
1938 (昭和13) ~

喰魂鬼 (イ)
Soul Eat Damon (I)
1977 (昭和52)
油彩、胡粉、紙、板
131.6×162.1
第3回太陽美術展 (1977/東京都美術館/銅賞)
平成23年度・大戸秀夫氏寄贈
2011002 (道東の美術)



菅野 要
KANNO Kaname
1903 (明治36) ~ 1961 (昭和36)

温室の見える風景
Landscape with a Greenhouse
1941 (昭和16)
油彩、キャンバス
38.2×45.6
第17回道展 (1941/丸井今井、札幌)
平成23年度・菅野淳氏寄贈
2011003 (道東の美術)



熊代 弘法
KUMASHIRO Kōbō
1935 (昭和10) ~

シャボン玉
Soap Bubble
1964 (昭和39)
油彩、キャンバス
112.3×144.9
平成23年度・熊代弘法氏寄贈
2011004 (道東の美術)



熊代 弘法
KUMASHIRO Kōbō
1935 (昭和10) ~

ウベベサンケ山
Mt. Upepesankeyama
1969 (昭和44)
油彩、キャンバス
130.7×145.7
平成23年度・熊代弘法氏寄贈
2011005 (道東の美術)



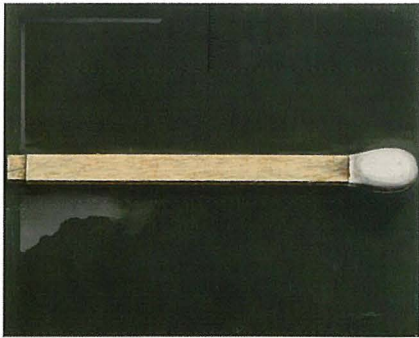
小林 守材
KOBAYASHI Moriki
1896 (明治29) ~ 1966 (昭和41)

風景
Landscape
1948 (昭和23)
油彩、板
58.0×79.0
平成23年度・中山美智子氏寄贈
2011006 (道東の美術)



佐野 まさの
SANO Masano
1948 (昭和23)～2005 (平成17)

100本のマッチの中で最も美しい1本
The Most Beautiful Match among One Hundred Matches
1979 (昭和54)
油彩、キャンバス
130.1×161.7
個展 (1979/文秀堂画廊、帯広)
平成23年度・佐野ひとみ氏寄贈
2011007 (道東の美術)



佐野 まさの
SANO Masano
1948 (昭和23)～2005 (平成17)

作品
Work
不詳
ミクストメディア、板
91.0×61.0×5.3
平成23年度・佐野ひとみ氏寄贈
2011009 (道東の美術)



長尾 栄三
NAGAO Eizō
1931 (昭和6)～1993 (平成5)

緑樹池畔
Green Trees at Pondsides
1985 (昭和60)
油彩、キャンバス
162.2×130.6
第60回道展 (1985/札幌市民ギャラリー)
平成23年度・長尾フミ子氏寄贈
2011011 (道東の美術)



中西 堯昭
NAKANISHI Gyōsyō
1932 (昭和7)～

凍林
Frozen Forest
1988 (昭和63)
油彩、キャンバス
130.3×162.1
第64回白日会展 (1988/東京都美術館)
平成23年度・中西堯昭氏寄贈
2011012 (道東の美術)



版 画

中谷 有逸
NAKAYA Yūitsu
1936(昭和11)～

大地の神・碑(風に聞く)
Monument-Earth God (Hearing in a Wind)
2001(平成13)
ステンシル版、腐蝕版、アルミ板、パネル
117.0×91.0
個展(2001/札幌時計台ギャラリー)
平成24年度・中谷有逸氏寄贈
2012001(道東の美術/プリントアート)



中谷 有逸
NAKAYA Yūitsu
1936(昭和11)～

碑・古事記(二人)
Monument-Kojiki, the Records of Ancient Matters (Two Beings)
2008(平成20)
ステンシル版、キャンバス
162.0×130.4
個展(2008/札幌時計台ギャラリー)
平成24年度・中谷有逸氏寄贈
2012002(道東の美術/プリントアート)



中谷 有逸
NAKAYA Yūitsu
1936(昭和11)～

碑・古事記(一つが二つ)
Monument-Kojiki, the Records of Ancient Matters (One Divided into Two)
2008(平成20)
ステンシル版、パネル
145.7×112.0
個展(2008/札幌時計台ギャラリー)
平成24年度・中谷有逸氏寄贈
2012003(道東の美術/プリントアート)



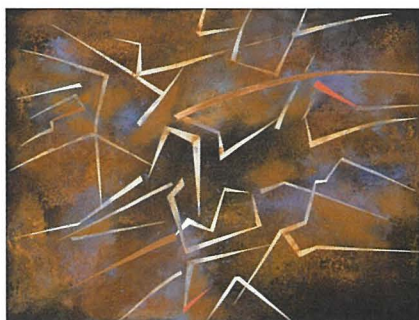
中谷 有逸
NAKAYA Yūitsu
1936(昭和11)～

碑・古事記(アマノイワト考)
Monument-Kojiki, the Records of Ancient Matters (A Thought for *Amanoiwato*)
2009(平成21)
ステンシル版、パネル
145.5×112.2
個展(2009/札幌時計台ギャラリー)
平成24年度・中谷有逸氏寄贈
2012004(道東の美術/プリントアート)



中谷 有逸
NAKAYA Yūitsu
1936(昭和11)～

碑・古事記(建・御雷神)
Monument-Kojiki, the Records of Ancient Matters (*Takemikazuchi*, the Thunder God)
2011(平成23)
ステンシル版、パネル
112.2×145.8
個展(2011/札幌時計台ギャラリー)
平成24年度・中谷有逸氏寄贈
2012005(道東の美術/プリントアート)



彫 塑

佐野 まさの
SANO Masano
1948 (昭和23) ~ 2005 (平成17)

意識の装置
Mind Device
1995 (平成7)
ミクストメディア
径35.9×高14.5
個展 (1995/六花亭ギャラリー、帯広)
平成23年度・佐野ひとみ氏寄贈
2011008 (道東の美術)



高橋 英双
TAKAHASHI Eisō
1948 (昭和23) ~ 2006 (平成18)

proto plast (原形体)
1988 (昭和63)
木
45.3×92.0×15.3
個展 (1988/勝毎サロン、帯広)
平成23年度・高橋摂子氏寄贈
2011010 (道東の美術)





美術作品の貸出

平成23年度

分野	作家名	作品名	貸出先	貸出期間	出品展覧会
デザイン	ジュール・シェレ	カフェ=コンセール「19世紀」	伊丹市立美術館、尾道市立美術館、北海道立函館美術館、八王子市夢美術館、アートインプレッション	平成23年4月6日 ～ 平成24年6月6日	「陶酔のバリ・モンマルトル1880-1910」 (平成23年4月16日～平成24年5月20日 伊丹市立美術館、尾道市立美術館、北海道立函館美術館、八王子市夢美術館の4会場にて開催)
デザイン	ジュール・シェレ	カフェ=コンセール「ジャルダン・ド・バリ」			
デザイン	アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック	デイヴァン・ジャボネ			
デザイン	ジュール・シェレ	フォリー=ベルジュール劇場のエミリエヌ・ダランソン			
デザイン	テオフィル=アレクサンドル・スタンラン	高名な「黒猫」一座近日来演			
デザイン	ジュール・シェレ	ミュージック・ホール「エルドラド」			
デザイン	ジョルジュ・ルルー	万国博覧会「光学館」-1900年の大望遠鏡			
デザイン	ジョルジュ・ド・フル	書籍「バリの暦」			
デザイン	バルドリッシュ	果物は健康食品	ハウステンボス株式会社	平成23年4月15日 ～ 平成23年6月25日	「アートになった*花*展」 (平成23年4月23日～6月19日 ハウステンボス美術館・博物館にて開催)
デザイン	アルベール・ベルジュヴァン	アヴランシユーモン・サン・ミシエル湾			
デザイン	ポール・ベルトン	ノルマンディ、ブルターニュ西武鉄道			
デザイン	ロベール・ボンフィス	アルプス=フランス国有鉄道			
デザイン	ジョルジュ・ボワスリエ	「住宅展示会」グラン・パレ			
デザイン	フィルマン・ブイセ	「ブーラン・チョコレート」			
デザイン	アルベール・ブルネ	フランスへ、シャルジュール・レユニ海運会社で(エッフェル塔)			
デザイン	アルベール・ブルネ	フランスへ、シャルジュール・レユニ海運会社で(オペラ座)			
デザイン	カッサンドル(アドルフ・ジャン・ムロン)	キナ酒「デュボネ」			
デザイン	カッサンドル(アドルフ・ジャン・ムロン)	ノルマンディー号、トランザトランティク総合会社			
デザイン	ジュール・シェレ	「ファランドール」オペラ座			
デザイン	ジュール・シェレ	ジャルダン・ド・バリ-見世物、舞踏会、コンサート			
デザイン	ジュール・シェレ	「鏡」フォリー=ベルジュール劇場			
デザイン	ジュール・シェレ	マリアーニ・ワイン			
デザイン	ジュール・シェレ	安全灯油「サクソレーヌ」			
デザイン	ジュール・シェレ	グレヴァン博物館(文字刷り前のポスター)			
デザイン	アルフレッド・シュープラク	カジノ・ド・ビアリッツ			
デザイン	フレデリック・ユゴー・ダレジ	ラ・テュルビー PLM.鉄道会社			
デザイン	ド・ロスク	ミスタンゲット			
デザイン	ジャン・ドン	ドーヴィル			
デザイン	ルイ・ガリス	アルハンブラ=ヌイイの祭			
デザイン	ウジェーヌ・グラッセ	あんず酒「アプリコティエヌ」			

分野	作家名	作品名	貸出先	貸出期間	出品展覧会
デザイン	ジュール・アレクサンドル・グリュン	雑誌「微笑み」			
デザイン	ジュール・アレクサンドル・グリュン	コンセール・ウロペアンー乗って みない？			
デザイン	ラコット	ペリエのりんご酒			
デザイン	ポール・アルペール・ロラース	万国博エジプト劇場「ラムセス」			
デザイン	リュシアン・ルフューヴル	白熱灯「エレクトリシーヌ」－赤 と白			
デザイン	ヴァルター・マーラー	ジュネーヴ、スイス			
デザイン	フレデリコ・デル・メリト・モンテ ネグロ	マルケス・デル・メリト、ワイン とコニャック			
デザイン	アルフォンス・マリア・ミュシャ	タバコ巻紙「ジョブ」			
デザイン	アルフォンス・マリア・ミュシャ	「ロレンザッチオ」ルネサンス座			
デザイン	アルフォンス・マリア・ミュシャ	タバコ巻紙「ジョブ」			
デザイン	アルフォンス・マリア・ミュシャ	「メディア」ルネサンス座			
デザイン	バル	仲買人はいない			
デザイン	ジョルジュ・ロシュグロス	国際自動車・自転車・スポーツ見 本市－グラン・パレ			
デザイン	ジャン＝パティスト・アルマン・スゴー	1900年万国博覧会			
デザイン	シャルル・ティション	自転車「メトロポール」			
デザイン	レイモン・トゥルノン	理想の浴室			
デザイン	ロジェ・ド・ヴァレリオ	シェリー酒「モーリス・シュヴァ リエ」			
デザイン	バディア・ヴィラト	最高の保養地ヴィシー			
デザイン	アンリ・ゾー	スペイン旅行の割引チケット			
デザイン	不詳	キナ入りワイン「スマルト」を一 杯どうぞ			
デザイン	不詳	最高級インド香水			
デザイン	不詳	脱毛防止剤「ベルテュイジヌ」			
デザイン	不詳	コニャック「モンタンゴン」			
版画	磯辺行久	江戸障壁			
版画	一原有徳	木の葉（柏）			
版画	一原有徳	木の葉（檜）			
版画	一原有徳	木の葉（辛夷）			
版画	太田三郎	Seed Project			
版画	小谷博貞	薔薇園の夢			
版画	小谷博貞	昨日のスタイルブック			
版画	多賀 新	秋草と鶉図			
版画	手島圭三郎	病める老馬			
版画	ロイ・リクテンスタイン	睡蓮と雲			
デザイン	栗谷川健一	ムックリを鳴らすアイヌの娘			

分野	作家名	作品名	貸出先	貸出期間	出品展覧会
デザイン	栗谷川健一	麦わら帽子			
版画	ジェームズ・ローゼンクイスト	《水の惑星によろこそ》 スカイ・ホール			
デザイン	梅津恒見	WELCOME 北海道			
デザイン	梅津恒見	WELCOME 北海道			
写真	岡本和行	Flower Garden			
写真	岡本和行	Art Nouveau			
写真	岡本和行	Bourgogne			
版画	増田 誠	セニョリータ	北海道立釧路芸術館	平成23年8月27日 }	「釧路が育んだ世界の画家 増田誠展」 (平成23年9月3日～11月7日 北海道立釧路芸術館にて開 催)
版画	増田 誠	風車とドン・キホーテ		平成24年2月10日	
版画	増田 誠	公園 *			
版画	増田 誠	ギリシャ神話			
版画	増田 誠	旧約聖書			
油彩	能勢真美	春近き日	神田日勝記念美術館	平成23年9月21日 } 平成24年2月22日	「神田日勝、画家デビューの 頃～early 1960's」 (平成23年5月31日～6月26 日 神田日勝記念美術館にて 開催)
油彩	神田日勝	瘦馬 *	財団法人 馬事文化財 団	平成23年9月11日 }	「神田日勝 北の大地からー 馬と歩んだ画業」 (平成23年9月17日～10月16日 馬の博物館にて開催)
油彩	神田日勝	画室 E *		平成23年10月25日	
油彩	寺島春雄	無題	帯広百年記念館	平成23年10月26日 } 平成23年11月29日	「魂の画家 寺島春雄の世界」 (平成23年10月29日～11月23 日 帯広百年記念館にて開 催)

*は寄託作品

平成24年度

分野	作家名	作品名	貸出先	貸出期間	出品展覧会
版画	佐藤克教	夜の箱	札幌芸術の森美術館	平成24年9月21日 }	「札幌美術展 パラレルワールド冒険譚」 (平成24年9月29日～11月4日 札幌芸術の森美術館にて開催)
版画	佐藤克教	愚者の船 (一)		平成24年11月7日	
版画	佐藤克教	囲われた1日			
版画	佐藤克教	不毛の翳り			
版画	佐藤克教	土色の午後			
版画	佐藤克教	冥い海			
版画	佐藤克教	土色の午後			
版画	北岡文雄	祖国への旅－渴き	神田日勝記念美術館	平成24年10月12日 }	「神田日勝と新具象の画家たち」 (平成24年10月23日～12月9日 神田日勝記念美術館にて開催)
版画	北岡文雄	祖国への旅－太車の旅		平成24年12月11日	
デザイン	パディア・ヴィラト	最高の保養地ヴィシー	北海道立近代美術館	平成24年9月7日 }	「エコール・ド・パリの古典流儀」 (平成24年9月15日～平成25年1月20日 北海道立近代美術館にて開催)
デザイン	カッサンドル (アドルフ・ジャン・ムロン)	ノルマンディー号ートランザトラ ンティック総合会社		平成25年1月31日	
デザイン	カッサンドル (アドルフ・ジャン・ムロン)	北方急行－フランス北部鉄道			
デザイン	カッサンドル (アドルフ・ジャン・ムロン)	パリ			
デザイン	ジャン・コクトー	オルフェの遺言			
デザイン	クロード・ガドゥー	ワイン「ローマ軍」－赤・ロゼ・白			
デザイン	ジョルジュ・ファーヴル	ビール「ティタン」			
版画	矢柳 剛	心の太陽	北海道立近代美術館	平成24年11月1日 }	「A★MUSE★LAND★ TOMORROW2013 サークル ○オブ○アート アートあ つまる◎ココロあったまる」 (平成24年11月22日～平成25 年1月20日 北海道立近代美 術館にて開催)
版画	矢柳 剛	子供の夢		平成25年1月31日	
版画	矢柳 剛	地球人間			
版画	矢柳 剛	みえる鏡を拒否する僕			
版画	矢柳 剛	あなたのハートがであうとき			
写真	デヴィッド・ホックニー	グランド・キャニオンの北側を見 る 1982年9月			
写真	ニルス＝ウド	ロードデンドロンの葉、松葉／フ ランス、リムーザン地方、ヴァシ ヴィエール湖、1987年			
版画	一原有徳	木の葉 (柏)			
版画	一原有徳	木の葉 (檜)			
版画	一原有徳	木の葉 (辛夷)			
版画	太田三郎	Seed Project (10点組)			

分野	作家名	作品名	貸出先	貸出期間	出品展覧会
版画	ジェームズ・ローゼンクイスト	《水の惑星にようこそ》 頭蓋のスナップ			
版画	ジェームズ・ローゼンクイスト	《水の惑星にようこそ》 頭蓋のスナップ、ステートⅠ			
彫塑	富谷道信	マントル対流 *			
油彩	梅田マサノリ	compensation of balance #6 *	帯広市教育委員会、美術で見る帯広130年の歴史展実行委員会	平成24年12月4日	「美術で見る帯広130年の歴史展」 (平成24年12月6日～12月25日 帯広市民ギャラリーにて開催)
油彩	村元俊郎	セニョリータ		平成24年12月26日	
油彩	おおとひでお	喰魂鬼(イ)			
版画	國安孝昌	Wind Field Project - 石狩灯台			
版画	渋谷栄一	H8-B			
版画	多賀 新	双壁			
彫塑	岡沼淳一	far away			
彫塑	富谷道信	アデラの記憶			
彫塑	高橋英双	proto plast			
油彩	檜原武正	作品“赤”			
油彩	神田日勝	画室E *			
日本画	六郎田天鈴	春暁崇座献「エベレスト鈴湖生誕寿舞曲」 *			

*は寄託作品



美術作品の修復

平成24年度

修復作品 菅野 要
「温室の見える風景」
1941(昭和16)年作
油彩、キャンバス
38.2×45.6cm
所蔵品番号2011003

修復年月日 平成24年12月19日～平成25年3月13日

修復者 藤野いづみ

修復状況 昭和10年代の作品で、油絵具の艶が失われ、キャンバスと木枠それぞれに劣化が生じ、またキャンバスの張りが不均衡であり変形もしていた。絵具全面に経年劣化による亀裂、剥離剥落があり、画面、裏面に汚損、異物の付着が見られた。

処置にあたっては、異物を除去、絵具の亀裂・剥離部分に仮止めを施し、木枠からキャンバスを外し、キャンバスの変形部分を平らに矯正、裏面の汚れを除去、折り跡を平らに矯正した。作品は裏打ちしてキャンバスを張り直し、画面に油分を浸透させ、油絵具の艶を戻した。木枠のシールを剥がし、汚れと黴後を洗浄。絵具の剥離部分に充填剤を入れた後、モデリングペーストで絵具の筆跡、キャンバスの織り目を再現。側面保護のため紙テープを張り回した。



修復前の作品状態



修復作業（異物の除去）



特別観覧

平成23年度

内 訳	撮 影	複 写	熟 覧	原版使用	画像データ使用	その他	合 計
件 数	2	0	0	4	2	1	9

平成24年度

内 訳	撮 影	複 写	熟 覧	原版使用	画像データ使用	その他	合 計
件 数	0	0	0	2	3	0	5



名 簿

北海道立帯広美術館協議会委員名簿（平成25年3月31日現在）

役職名	氏 名	現 職
会 長	岡庭 義行	帯広大谷短期大学教授
副会長	小笠原洋子	北海道立帯広美術館ボランティア「しらかばの会」会長
委 員	井口 五子	中標津町更生保護女性会会長
委 員	河合 文宏	帯広商工会議所産業振興部長
委 員	後藤 秀彦	十勝管内博物館学芸職員協議会顧問
委 員	神野 光男	士幌町教育委員会教育長 (十勝管内教育委員会連絡協議会教育長部会長)
委 員	鈴木 弥子	釧路市女性団体協議会副会長
委 員	辻 敦郎	帯広市立第五中学校長
委 員	堀江 威光	日本放送協会帯広放送局長
委 員	本間 文子	大空町社会教育委員の会副委員長
委 員	山名 万里	(一般公募)

※委員の任期は平成23年6月27日から平成25年6月26日まで

北海道立帯広美術館職員名簿

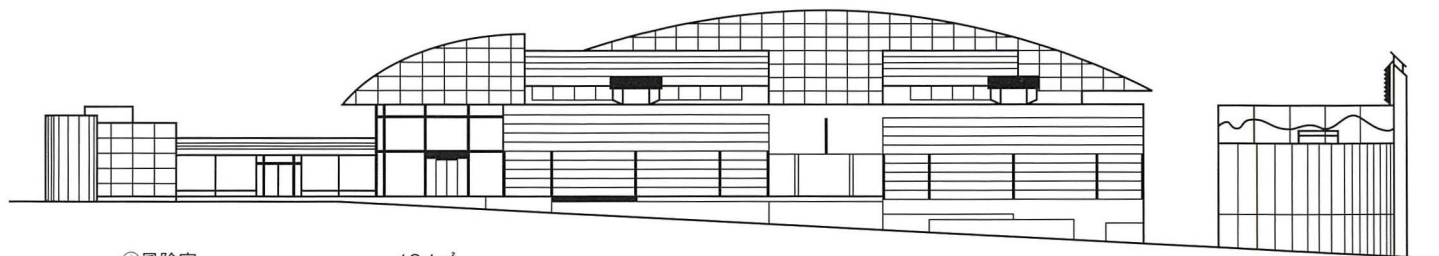
平成23年度（平成24年3月31日現在）

職 名	氏 名	発令年月日
館長（非常勤）	吉井 亮	平成19年6月1日
副館長兼総務課長	久田 利憲	平成23年4月1日
主査	石崎 幸男	平成22年4月1日
主任	佐々木亜希子	平成22年4月1日
学芸課長	鎌田 享	平成20年4月1日
主任学芸員	佐藤由美加	平成22年4月1日
学芸員	蘭部 容子	平成18年4月1日
主事（非常勤）	菊地 美雪	平成7年4月1日
主事（非常勤）	伊藤 昭子	平成9年4月1日
主事（非常勤）	高田 佳子	平成9年11月1日
主事（非常勤）	山川 千里	平成14年3月1日
主事（非常勤）	中村 桂子	平成17年4月1日

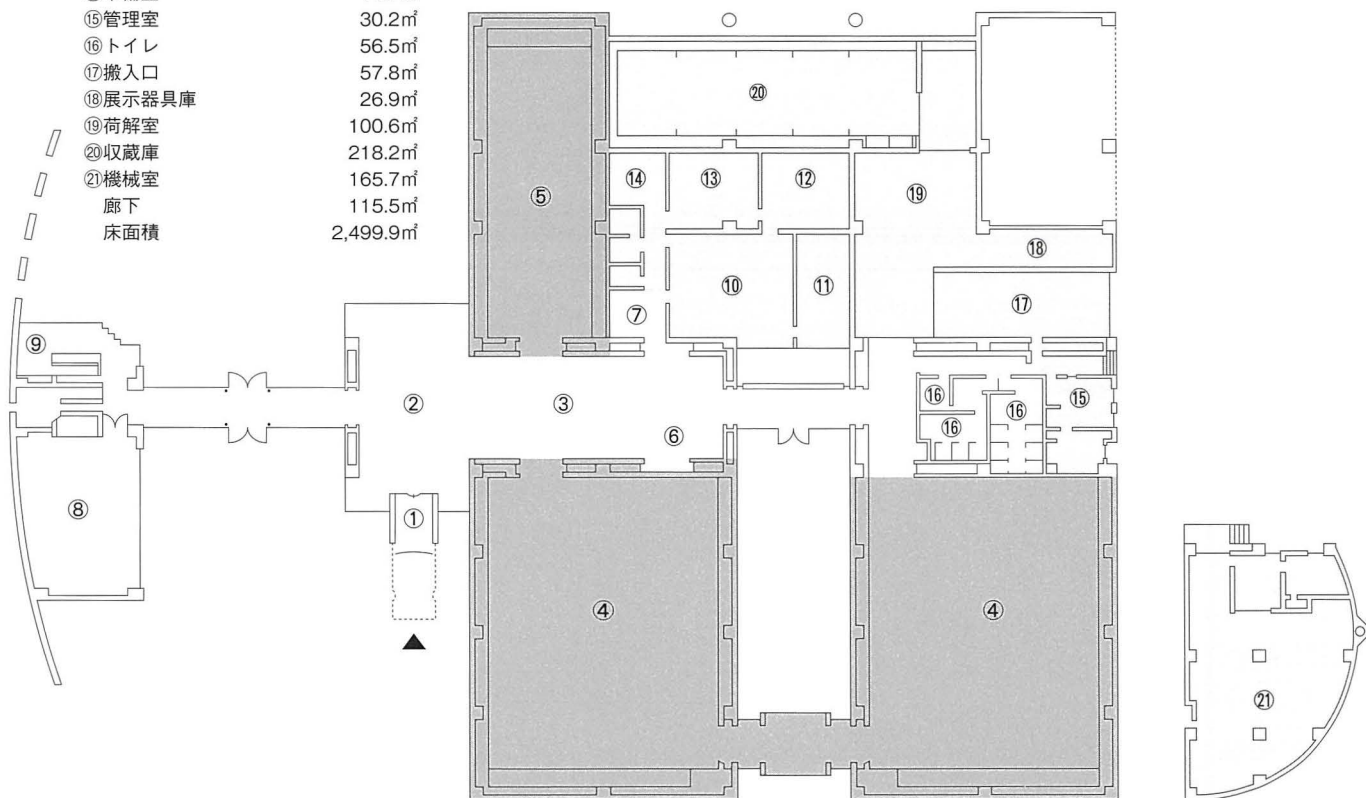
平成24年度（平成25年3月31日現在）

職 名	氏 名	発令年月日
館長（非常勤）	吉井 亮	平成19年6月1日
副館長兼総務課長	久田 利憲	平成23年4月1日
主査	川窪 誠	平成24年4月1日
主任	佐々木亜希子	平成22年4月1日
学芸課長	鎌田 享	平成20年4月1日
主任学芸員	佐藤由美加	平成22年4月1日
学芸員	石尾乃里子	平成24年4月1日
主事（非常勤）	菊地 美雪	平成7年4月1日
主事（非常勤）	伊藤 昭子	平成9年9月1日
主事（非常勤）	高田 佳子	平成9年11月1日
主事（非常勤）	山川 千里	平成14年3月1日
主事（非常勤）	中村 桂子	平成17年4月1日

館内案内図



①風除室	12.1㎡
②ロビー	123.1㎡
③ホール	209.9㎡
④主展示室	841.9㎡
⑤コレクション・ギャラリー (特別展示室)	209.5㎡
⑥ミュージアム・ショップ	
⑦授乳コーナー	5.3㎡
⑧講堂	98.4㎡
⑨ティー・ラウンジ	36.7㎡
⑩事務室	72.3㎡
⑪館長室	32.9㎡
⑫資料室	36.0㎡
⑬会議室	35.7㎡
⑭準備室	14.7㎡
⑮管理室	30.2㎡
⑯トイレ	56.5㎡
⑰搬入口	57.8㎡
⑱展示器具庫	26.9㎡
⑲荷解室	100.6㎡
⑳収蔵庫	218.2㎡
㉑機械室	165.7㎡
廊下	115.5㎡
床面積	2,499.9㎡



展示部門 ■■■■
管理・事務部門 □□□□

建築概要

●位 置	帯広市緑ヶ丘2番地1
●構想設計	アトリエアク（公開設計競技最優秀）
●基本設計	アトリエアク・太洋共同企業体
●実施設計	アク・日本設計・谷津共同企業体
●工事施工者	
建 設	宮坂・萩原・曽根・市川・大道共同企業体（1、2期）
電気設備	相互電業㈱（1期）
空調調和衛生設備	森設備工業㈱（1期）
電力設備	相互・柴野・誠和・テーエス・長島共同企業体（2期）
通信設備	北口・アサヒ・振興・扶桑・樋口共同企業体（2期）
衛星設備	フジ・梶山・中林共同企業体（2期）
空調調和設備	森・三洋・勝平・道東・浅岡共同企業体（2期）
●総工事費	約13億4千700万円
●工 期	起工 平成元年10月9日 竣工 平成3年3月25日
●敷地面積	7,000 m ²
●建物面積	建面積 2,499.99 m ² 延面積 3,521.60 m ²
●構造概要	鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）
●仕 上	
〔外 装〕	
外 壁	大理石（ライムストーン） コンクリート打放し小叩仕上げ アルミパネル
屋 根	アルミ亜鉛メッキ銅板葺
屋 上	露出アスファルト防水トップコート仕上
〔内 装〕	
ロビーホール床	テラゾーブロック
主展示室床	フローリング
特別展示室床	タイルカーペット
ロビーホール壁	大理石（ライムストーン） 合成樹脂系軽量骨材吹付
展示室壁	石膏ボード、一部ラワン合板下地クロスEP仕上
ロビーホール天井	合成樹脂系軽量骨材吹付
展示室天井	岩綿吸収板EP仕上

設備概要

●電気設備	
受変電設備	受電電圧 6.6 KV 変圧器容量 450 KVA
非常電源設備	ディーゼル機関 123 PS 3,000 RPH 発電機 98 KVA 3相 200 V
動力設備	防災用動力 排煙機 11 KW × 3 消火ポンプ 5.5 KW × 3
電灯設備	主展示室 LED照明（調光式） 特別展示室 退色防止蛍光灯（調光式）、ハロゲンランプ ロビー LED照明 講 堂 LED照明
電話設備	電子ボタン電話
放送設備	防災一般兼用アンプ 160 W
テレビ共聴設備	OCTV（帯広ケーブルTV）による共聴
火災報知設備	P1級受信機
視聴覚設備	上降式スクリーン 1式 音声・映像ラック 1式 映写設備（16mmフィルム、35mmスライド） 1式 液晶プロジェクター 1式
●機械設備	
空調調和設備	
設定温湿度	
特別展示室、主展示室	
夏	24℃（21～25℃）55%（50～60%）
冬	23℃（21～24℃）50%（45～55%）
収蔵庫、展示ケース	
年間	22℃（20～24℃）55%（40～60%）
*（ ）内は可変調節範囲、設定精度は温度±1℃ 湿度±3%	
熱源機器	
空冷チリングユニット	冷却能力 240,000 Kcal/H
吸収式冷温水発生器	冷却能力 100 USRT 暖房能力 253,000 Kcal/H
温水器	暖房能力 500,000 Kcal/H
空調調和機	
主展示室	2系統
特別展示室、荷解室	1系統
展示ケース	1系統
収蔵庫	1系統
ロビー、ホール	1系統
管理諸室	1系統
衛生設備	
給水設備	市水道使用
排水設備	市下水道放流
給湯設備	電気温水機
消火設備	屋内消火栓設備、ハロン消火設備



沿革

昭和62年 7 月	道東地域道立地方美術館設置調査費計上
昭和63年 2 月	帯広市への道立地方美術館設置を決定
昭和63年 4 月	北海道立帯広美術館設置基本構想策定
昭和63年 5 月	北海道立帯広美術館構想設計競技実施
昭和63年10月	北海道立帯広美術館構想設計競技入選作品決定
平成元年 3 月	北海道立帯広美術館基本設計完了
平成元年 8 月	北海道立帯広美術館実施設計完了
平成元年10月	北海道立帯広美術館建設工事着工
平成 3 年 3 月	北海道立帯広美術館建設工事竣工
平成 3 年 4 月	北海道立美術館条例の一部改正により、北海道立帯広美術館設置 北海道立帯広美術館職員を発令、組織発足 初代館長 室田浩志 発令
平成 3 年 9 月	北海道立帯広美術館落成、開館記念式、屋外彫刻除幕（平成 3 年 9 月21日） 一般公開（平成 3 年 9 月22日）
平成 4 年 5 月	日本建築学会北海道支部第17回北海道建築賞受賞（平成 4 年 5 月21日授賞式）
平成 4 年 6 月	照明学会照明普及賞受賞（平成 4 年 6 月18日授賞式）
平成 4 年12月	第 9 回帯広市都市景観賞（建物）受賞（平成 4 年12月 4 日授賞式）
平成 6 年 4 月	第 2 代館長 阿部皎 発令
平成 7 年12月	公共建築賞北海道優秀賞受賞（平成 7 年12月 7 日授賞式）
平成 8 年 6 月	入館者50万人達成（平成 8 年 6 月11日）
平成 9 年 1 月	開館5周年記念式（平成 9 年 1 月17日）
平成 9 年 4 月	第 3 代館長 長谷川吉廣 発令
平成11年 7 月	第 4 代館長 上原脩平 発令
平成13年 4 月	第 5 代館長 小野寺浩 発令
平成13年10月	開館10周年記念式（平成13年10月31日）
平成16年 9 月	入館者100万人達成（平成16年 9 月26日）
平成19年 1 月	開館15周年記念展開催
平成19年 6 月	第 6 代館長 吉井亮 発令
平成23年11月	開館20周年記念式（平成23年11月21日）
平成25年 2 月	主展示室照明LED化工事（新エネルギー等率先導入推進事業）

観覧者数一覧

平成23年度

展 覧 会 名	会 期 (開催日数)	観覧者数 A = F + G (1日あたり)	個 人				団 体／前 売／リピーター				優 待 割 引				共 通 券			有料入館者計 F = B + C + D + E (／A)	無料招待免除 G (／A)
			一 般 (／B)	高大生 (／B)	小中生 (／B)	計 B	一 般 (／C)	高大生 (／C)	小中生 (／C)	計 C	一 般 (／D)	高大生 (／D)	小中生 (／D)	計 D	一 般 (／E)	高大生 (／E)	計 E		
コレクション・ギャラリー	4月1日 ～ 3月31日 (270日)	26,085人 (97人)	3,019人 (98%)	69人 (2%)		3,088人	489人 (75%)	157人 (25%)		643人					6,186人 (96%)	283人 (4%)	6,469人	10,200人 (39%)	15,885人 (68%)
特 別 展	風景に、没る。自然と、遊ぶ。 4月1日 ～ 4月13日 (11日)	572人 (52人)	35人 (97%)	1人 (3%)		36人	23人 (100%)	0人 (0%)		23人	86人 (98%)	2人 (2%)		88人	122人 (98%)	3人 (2%)	125人	272人 (48%)	300人 (52%)
	無限迷宮 M.C.エッシャーの全貌 4月22日 ～ 6月22日 (53日)	19,948人 (377人)	3,146人 (93%)	168人 (5%)	67人 (2%)	3,381人	2,314人 (83%)	131人 (5%)	336人 (12%)	2,781人	2,784人 (92%)	202人 (7%)	33人 (1%)	3,019人	2,779人 (95%)	145人 (5%)	2,924人	12,105人 (61%)	7,843人 (39%)
	十勝の美術クロニクル 7月1日 ～ 9月7日 (59日)	5,246人 (89人)	499人 (93%)	13人 (2%)	28人 (5%)	540人	358人 (51%)	28人 (4%)	310人 (45%)	696人	415人 (93%)	12人 (3%)	19人 (4%)	446人	1,018人 (97%)	30人 (3%)	1,048人	2,730人 (52%)	2,516人 (48%)
	巨匠たちの饗宴 9月16日 ～ 11月7日 (46日)	9,843人 (214人)	2,098人 (98%)	27人 (1%)	7人 (1%)	2,132人	1,937人 (90%)	33人 (2%)	164人 (8%)	2,134人	1,668人 (97%)	39人 (2%)	7人 (1%)	1,714人	1,183人 (98%)	26人 (2%)	1,209人	7,189人 (73%)	2,654人 (27%)
	シャガール、パスキンと エコール・ド・パリの 綺羅星たち 11月22日 ～ 2月1日 (57日)	4,457人 (78人)	421人 (96%)	17人 (4%)		438人	387人 (93%)	27人 (7%)		414人	679人 (98%)	17人 (2%)		696人	716人 (97%)	23人 (3%)	739人	2,287人 (51%)	2,170人 (49%)
	プリントアートの魅力 2月10日 ～ 3月31日 (44日)	2,192人 (50人)	155人 (92%)	15人 (8%)		170人	70人 (97%)	2人 (3%)		72人	351人 (91%)	34人 (9%)		385人	434人 (87%)	63人 (13%)	497人	1,124人 (51%)	1,068人 (49%)
	計	6回 (270日)	42,258人 (157人)	6,354人 (95%)	241人 (3%)	102人 (2%)	6,697人 (83%)	5,089人 (4%)	221人 (13%)	6,120人	5,983人 (94%)	306人 (5%)	59人 (1%)	6,348人	6,252人 (95%)	290人 (5%)	6,542人	25,707人 (61%)	16,551人 (39%)
合 計		68,343人 (254人)	9,373人 (96%)	310人 (3%)	102人 (1%)	9,785人	5,575人 (82%)	378人 (6%)	810人 (12%)	6,763人	5,983人 (94%)	306人 (5%)	59人 (1%)	6,348人	12,438人 (95%)	573人 (5%)	13,011人	35,907人 (53%)	32,436人 (47%)

平成24年度

展 覧 会 名		会 期 (開催日数)	観覧者数 A = F + G (1日あたり)	個 人				団 体／前 売／リピーター				優 待 割 引				共 通 券			有料入館者計 F = B + C + D + E (／A)	無料招待免除 G (／A)
				一 般 (／B)	高大生 (／B)	小中生 (／B)	計 B	一 般 (／C)	高大生 (／C)	小中生 (／C)	計 C	一 般 (／D)	高大生 (／D)	小中生 (／D)	計 D	一 般 (／E)	高大生 (／E)	計 E		
コレクション・ギャラリー		4月1日 ↓ 3月24日 (268日)	18,856人 (71人)	797人 (95%)	39人 (5%)		836人	439人 (69%)	194人 (31%)		633人				0人	4,713人 (96%)	163人 (4%)	4,876人	6,345人 (34%)	12,520人 (66%)
特 別 展	プリントアートの魅力	4月1日 ↓ 4月11日 (9日)	624人 (70人)	57人 (95%)	3人 (5%)		60人	22人 (96%)	1人 (4%)		23人	90人 (92%)	8人 (8%)	0人 (0%)	98人	145人 (94%)	9人 (6%)	154人	335人 (54%)	289人 (46%)
	画家の素顔 パレット&絵画	4月20日 ↓ 6月20日 (53日)	3,561人 (68人)	378人 (96%)	15人 (3%)	1人 (1%)	394人	145人 (34%)	103人 (24%)	182人 (42%)	430人	343人 (98%)	8人 (2%)	0人 (0%)	351人	849人 (98%)	19人 (2%)	868人	2,043人 (57%)	1,518人 (43%)
	榎方志功展	6月29日 ↓ 8月29日 (53日)	8,753人 (166人)	1,419人 (93%)	46人 (3%)	68人 (4%)	1,533人	631人 (68%)	39人 (4%)	254人 (28%)	924人	1,666人 (97%)	33人 (2%)	25人 (1%)	1,724人	1,471人 (96%)	58人 (4%)	1,529人	5,710人 (65%)	3,043人 (35%)
	オブ・アート展	9月7日 ↓ 11月7日 (54日)	5,337人 (99人)	647人 (94%)	33人 (5%)	8人 (1%)	688人	377人 (42%)	34人 (4%)	480人 (54%)	891人	722人 (96%)	27人 (3%)	5人 (1%)	754人	710人 (96%)	28人 (4%)	738人	3,071人 (58%)	2,266人 (42%)
	ベル・エポックのポスター	11月16日 ↓ 1月16日 (48日)	1,752人 (37人)	173人 (95%)	8人 (5%)		181人	73人 (80%)	18人 (20%)		91人	192人 (95%)	10人 (5%)		202人	425人 (95%)	22人 (5%)	447人	921人 (53%)	831人 (47%)
	山に魅せられた画家たち	1月25日 ↓ 3月24日 (51日)	9,231人 (181人)	1,730人 (97%)	41人 (2%)	12人 (1%)	1,783人	1,808人 (85%)	17人 (1%)	300人 (14%)	2,125人	1,437人 (98%)	23人 (1%)	3人 (1%)	1,463人	1,137人 (98%)	27人 (2%)	1,164人	6,535人 (71%)	2,696人 (29%)
	計	6回 (268日)	29,258人 (110人)	4,404人 (95%)	146人 (3%)	89人 (2%)	4,639人	3,056人 (68%)	212人 (5%)	1,216人 (27%)	4,484人	4,450人 (97%)	109人 (2%)	33人 (1%)	4,592人	4,737人 (97%)	163人 (3%)	4,900人	18,615人 (64%)	10,643人 (36%)
合 計			48,123人 (181人)	5,201人 (95%)	185人 (3%)	89人 (2%)	5,475人	3,495人 (68%)	406人 (8%)	1,216人 (24%)	5,117人	4,450人 (97%)	109人 (2%)	33人 (1%)	4,592人	9,450人 (97%)	326人 (3%)	9,776人	24,960人 (52%)	23,163人 (48%)

平成23年－24年度
北海道立帯広美術館年報

発行日 平成26年3月14日

発行者 北海道立帯広美術館
〒080-0846

帯広市緑ヶ丘2番地

Tel. (0155) 22-6963

印刷所 ソーゴー印刷株式会社

